



# 位置図

令和5年度 市営住宅追分団地C棟・集会所 外壁・屋根改修工事



1:2,500

0 45 90 180 m

# 現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

## 1. 件名（工事名称）

令和5年度 市営住宅追分団地C棟・集会所 外壁・屋根改修工事

## 2. 工事場所： 安曇野市 市営住宅追分団地

## 3. 工事概要： 市営住宅追分団地C棟・集会所の外壁・屋根等の改修工事

- ・外壁・屋根改修工事（外壁・屋根塗装、外部防水）
- ・外構部材改修工事（自転車置場・外灯）
- ・出入口段差解消スロープ 改修工事
- ・鳥除けネット、鳥除けピン設置工事
- ・網戸車交換工事 ほか

## 4. 工事期間： 契約日 から 令和5年12月18日まで

## 5. 一般事項について

### (1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

### (2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

### (3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

### (4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

## 6. 本工事における特記事項

### (1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地
現場事務所	同上敷地

### (2) 住宅利用者の安全に十分配慮すること。また、B棟入居者に対して、工程連絡調整を随時おこなうこと。

- (3) 工事着手前に事前のお知らせをおこなうこと。また看板等を設置して、工事内容の周知を行うこと。
- (4) 日・祝日は基本休工とする。休日、夜間に作業を行う場合は事前に協議をすること。  
ただし、入居者に事前に了解が得られた場合はその限りではない。
- (5) 施設利用者及び周辺住民の安全に十分配慮すること。
- (5) 感染症対策は十分に講じること。
- (6) 各官公庁手続きについて、  
事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

#### 7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

#### ・本工事に近接・競合する工事の予定

発注機関				

・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。

・この工事は執務並行型の工事である。

#### 8. 安全対策関係

##### ① 交通誘導警備員

~~受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。~~

##### ② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予期することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときには設計変更の対象とする。

#### 9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

#### 10. その他

火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。



## 特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

### 1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明書に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

### 2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

### 3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

### 4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

### 5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

### 6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

- ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
- ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合

## 7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

## 8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

## 9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

## 10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働

きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

#### 11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

#### 12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

#### 13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~

#### 14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

#### 15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

#### 16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- (1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するように努めること。
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

#### 17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

#### 18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について

受注者は、Ⅰ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議する。

#### 19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

#### 20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

#### 21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

#### 22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する事ができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

#### 23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	令和5年度 市営住宅追分団地C棟・集会所 外壁・屋根改修工事						
	内 訳 書						
	共通仮設費	率仮設	式	1.0			
		積上仮設	式	1.0			
	直接工事費		式	1.0			
	純工事費計						
	現場管理費		式	1.0			
	工事原価						
	一般管理費等		式	1.0			
	工事価格						
	消費税相当額		式	1.0			10%
	工事費合計						

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	共通仮設費						
	率仮設						
	準 備 費	┐					
	仮 設 物 費						
	電力用水光熱費						
	工 事 施 設 費						
	環 境 安 全 費	└──	式	1.0			
	機 械 器 具 費						
	屋外整理清掃費						
	その他 試験調査費等	┘					
	積上仮設						
	仮囲い	ガードフェンス程度 28基	式	1.0			
	キャスターゲート	W3000*H1800 片開き 5ヶ月	箇所	1.0			
	小計						





[illegible]

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
1	直接仮設工事						
1-1	C棟 直接仮設工事						
	外部足場	くさび緊結式足場 W=900 持出し足場共 3ヶ月	m2	547.0			西出入口安全確保工事共
	中棧手摺	3ヶ月	m	77.4			
	昇降設備		ヶ所	4.0			
	巾木	躯体側のみ	m	77.4			
	外部メッシュシート	3ヶ月	m2	547.0			
	壁つなぎ施工費		m2	547.0			
	内部足場	脚立足場 存置1ヵ月	m2	115.0			
		階段棚足場 存置1ヵ月	m2	24.3			
	整理清掃片付		m2	139.0			
	内部工事区画	仮間仕切り、カラーコン、バー程度	m2	139.0			
	仮設資材運搬荷揚費		式	1.0			
	計						
1-2	集会所 直接仮設工事						
	外部足場	くさび緊結式足場 W=900 持出し足場共 3ヶ月	m2	248.0			
	中棧手摺	3ヶ月	m	46.0			
	昇降設備		ヶ所	2.0			
	巾木	躯体側のみ	m	46.0			
	外部メッシュシート	3ヶ月	m2	248.0			
	壁つなぎ施工費		m2	248.0			
	計						
	小 計						

[illegible]

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
2-1	屋根塗装等工事						
2-1-1	C棟 屋根塗装等工事						
	高圧洗浄	屋根 高圧ポンプ10～15Mpa程度	m2	390.0			
	金属屋根塗り替え用 低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料	大屋根・ポーチ屋根・階段屋根 SK化研 クールタイトF法 同等	m2	390.0			
	〃 下地処理 C-1	亜鉛めっき鋼面 下地調整RC種 棟押え共	m2	390.0			
	〃 下地処理	亜鉛めっき鋼面 変性エポキシ樹脂系錆止めB種 棟押え共	m2	390.0			
	耐候性フッ素樹脂塗料塗り	北南2段 雪止めアングル 系幅200mm以下 上塗り 2回 ローラー塗り	m2	16.8			
	〃 下地処理	亜鉛めっき鋼面下地調整RB種	m2	16.8			
	〃 下地処理	亜鉛めっき鋼面変性エポキシ樹脂系錆止めB種	m2	16.8			
	合成樹脂調合ペイント塗り	亜鉛めっき鋼面 SOP A種 細幅250mm程度 軒樋	m2	52.5			
	〃 下地処理	亜鉛めっき鋼面下地調整RB種	m2	52.5			
	〃 下地処理	亜鉛めっき鋼面変性エポキシ樹脂系錆止めB種	m2	52.5			
	計						
2-1-2	集会所 屋根塗装等工事						
	高圧洗浄	屋根 高圧ポンプ10～15Mpa程度	m2	191.0			
	金属屋根塗り替え用 低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料	大屋根・ポーチ屋根・階段屋根 SK化研 クールタイトF法 同等	m2	191.0			
	〃 下地処理 C-1	亜鉛めっき鋼面 下地調整RC種 棟押え共	m2	191.0			
	〃 下地処理	亜鉛めっき鋼面変性エポキシ樹脂系錆止めB種 棟押え共 北南2段 雪止めアングル 系幅200mm以下	m2	191.0			
	耐候性フッ素樹脂塗料塗り	上塗り 2回 ローラー塗り	m2	4.9			
	〃 下地処理	亜鉛めっき鋼面下地調整RB種	m2	4.9			
	〃 下地処理	亜鉛めっき鋼面変性エポキシ樹脂系錆止めB種	m2	4.9			
	合成樹脂調合ペイント塗り	亜鉛めっき鋼面 SOP A種 細幅250mm程度 軒樋	m2	30.7			
	〃 下地処理	亜鉛めっき鋼面下地調整RB種	m2	30.7			
	〃 下地処理	亜鉛めっき鋼面変性エポキシ樹脂系錆止めB種	m2	30.7			
	計						
	小 計						

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
2-2	外壁塗装等工事						
2-2-1	C棟 外壁塗装等工事						
	外壁点検	外壁・軒裏 外観調査 (目視や打診による確認、計測、報告書共)	m <sup>2</sup>	587.0			
	外壁高圧洗浄	外壁・軒裏高圧ポンプ10～15Mpa程度	m <sup>2</sup>	587.0			
	ひび割れ部処理	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	m	34.1			
	欠損部処理・発錆・鉄筋露出部処理・塗膜浮剥がれ	研り埋戻し モルタル塗り改修工法φ5*50	カ所	36.0			
	アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材	トップコート スーパーW 外壁・軒裏 JIS A 6021 規格品 ローラー塗り 東面	m <sup>2</sup>	71.2			
		トップコート スーパーW 外壁・軒裏 JIS A 6021 規格品 ローラー塗り 北面	m <sup>2</sup>	225.0			
		トップコート スーパーW 外壁・軒裏 JIS A 6021 規格品 ローラー塗り 西面	m <sup>2</sup>	76.5			
		トップコート スーパーW 外壁・軒裏 JIS A 6021 規格品 ローラー塗り 南面	m <sup>2</sup>	116.0			
		トップコート スーパーW 外壁・軒裏 JIS A 6021 規格品 ローラー塗り 2F軒天	m <sup>2</sup>	98.5			
		トップコート スーパーW 外壁・軒裏 JIS A 6021 規格品 ローラー塗り 階段室壁	m <sup>2</sup>	83.6			
	水性反応硬化形軒天専用仕上塗材	1F北側軒裏+南側バルコニー軒天+階段室天井 リシン吹き面 軒天・階段室軒天	m <sup>2</sup>	84.0			
	合成樹脂調合ペイント塗り	SOP A種 鋼製建具面	m2	36.0			
	〃 下地処理	RB種 全面下地処理(けれん・錆止めを含む)	m2	36.0			
	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	階段室 蹴上・巾木下地処理含む	m2	7.1			
	〃 下地処理	下地調整RB種(モルタル面)	m2	7.1			
	計						









番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
3	C棟 外構部材改修工事(自転車置場一部・外灯)		式	3.0			別紙明盛1
4	C棟 出入口段差解消スロープ改修工事	既存撤去処分共 下地砕石敷き再利用	カ所	1.0			別紙明細2
5	C棟 鳥除けネット工事	ポリエチレン難燃/無結節 防鳥ネット張り	カ所	4.0			別紙明細3
6	鳥除けピン設置工事						
6-1	C棟 鳥除けピン設置工事						
	鳥除けピン 排気用		ヶ所	50.0			
	取り付け費		ヶ所	50.0			
	計						
6-2	集会場 鳥除けピン設置工事						
	鳥除けピン 排気用		ヶ所	15.0			
	取り付け費		ヶ所	15.0			
	計						
	小 計						

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
7	網戸戸車交換工事						
7-1	C棟 網戸戸車交換工事						
	ビル用サッシ 網戸戸車		個	24.0			
	戸車交換及び調整費 2本/部屋		ヶ所	6.0			
	計						
7-2	集会所 網戸戸車交換工事						
	ビル用サッシ 網戸戸車		個	12.0			
	戸車交換及び調整費 2本/部屋		ヶ所	2.0			
	計						
	小 計						
8	集会場 サッシ網戸交換工事						
	茶会室 北側 掃出しサッシ 網戸	1650*2000	1枚	窓	2.0		
	茶会室 北側 欄間サッシ 網戸	1650*500	1枚	窓	2.0		
	施工費	1.62㎡以下		窓	4.0		
	計						
	和室 南側 サッシ 網戸	1650*1500	1枚	窓	2.0		
	施工費	1.62㎡以下		窓	2.0		
	計						
	小 計						



番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
11	雪止めバレーガード設置工事						
11-1	C棟 雪止めバレーガード設置工事						
	バレーガード設置工事 北側	ドブメッキ 瓦棒用特注品 塗装色付け加工品 材工	ヶ所	49.0			
	計						
11-2	集会所 雪止めバレーガード設置工事						
	バレーガード設置工事 北側	ドブメッキ 瓦棒用特注品 塗装色付け加工品 材工	ヶ所	30.0			
	計						
	小 計						
12	A棟 追加改修工事						
	洗浄便座取替工事	TOTO TCF6623同等	台	16.0			
	既存便座撤去	処分共	台	16.0			
	新規便座取付費		台	16.0			
	小 計						
13	C棟 隔て板塗り替え工事						
	合成樹脂エマルジョンペイント塗り		m2	8.9			
	〃 下地処理	下地調整RB種(ボード面)	m2	8.9			
	文字入れ施工手間(既存型紙利用)	塗装工	人工	0.5			
	小 計						

[illegible]



番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	別紙明細2						
4	出入口段差解消スロープ改修工事	既存撤去処分共 下地碎石敷き再利用					
	研り工事	既存スロープRC研り撤去 h=450	m3	2.3			
	根切	機械	m3	2.0			
	埋戻し	機械	m3	0.2			
	残土処分	場内敷きならし	m3	1.8			
	碎石地業	基礎下t=50 再生材	m3	0.3			
	基礎コンクリート	24-N-18	m3	0.3			
	人力打設	特殊作業員 歩掛り	m3	0.3			
		器材費	式	1.0			
		その他 25%	式	1.0			
	型枠	曲面 普通型枠	m2	1.9			
	型枠運搬費		m2	1.9			
	鉄筋 D10		kg	21.6			
	鉄筋 D13		kg	14.1			
	差筋アンカー 外部	BD-10*450 壁	本	19.0			
	鉄筋加工	加工組立て	kg	52.7			
	鉄筋運搬費		kg	52.7			
	コンクリート同時コテ押え		m2	0.8			
	面木	標準20mm程度	m	10.0			
	高強度ウレタン塗膜防水仕上	ダイフレックス エバーコートZero-1H 同等 割増在り	m <sup>2</sup>	5.2			
	解体材積込 コンクリート塊 h=450 人力	再生処分	m3	2.3			
	解体材処分費 コンクリート塊 h=450	再生処分	m3	2.3			
	合 計						





番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
別紙明細4							
14-1	木製ベンチ塗装工事	ベンチ*2+テーブル					
	木部素地ごしらえ 糸幅100程度 A種	1800*4 10本	m	86.4			
	木材保護塗料塗り WP		m	86.4			
	鉄鋼面素地ごしらえ 糸幅100程度 C種		m	29.4			
	鉄鋼面SOP塗り A種		m	29.4			
	合 計						
別紙明細5							
14-2	木製ドーナッツ型ベンチ塗装工事						
	木部素地ごしらえ 糸幅100程度 A種	482*4 88本	m	219.0			
	木材保護塗料塗り WP		m	219.0			
	鉄鋼面素地ごしらえ 糸幅100程度 C種		m	60.7			
	鉄鋼面SOP塗り A種		m	60.7			
	ベンチ不良板取替 25枚	桧 60・90*36*482	m3	0.03			
	加工取付施工費	大工手間	人工	2.0			
	合 計						

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
別紙明細6							
14-3	水場解体撤去芝張り工事						
	研り工事	RC研り撤去	m3	3.8			
	分別・集積・積込【コンクリート】	RC 2.45t/m3	t	9.3			
	解体材運搬費	コンクリート塊	m3	3.8			
	解体処分費	コンクリート塊	m3	3.8			
	分別・集積・積込【金属】	手押しポンプ撤去解体 普通作業員	人工	0.5			
	解体材運搬費		m3	0.5			
	鉄スクラップ ヘビー H3	手押しポンプ 10kg	t	0.01			
	解体処分費		m3	0.5			
	埋戻し	砕石路盤 機械	m3	5.7			
	埋戻し	芝張り用客土	m3	1.4			
	芝貼り		m <sup>2</sup>	12.0			
	仮囲い	ガードフェンス程度 10基	式	1.0			
	合 計						
別紙明細7							
14-4	スチール製小バーゴラ木製床塗装工事						
	木部素地ごしらえ 糸幅100程度 A種	1530*4 24本	m	176.0			
	木材保護塗料塗り WP		m	176.0			
	鉄鋼面素地ごしらえ 糸幅100程度 C種		m	40.3			
	鉄鋼面SOP塗り A種		m	40.3			
	合 計						

番号	名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	別紙明細8						
14-5	休憩用バーゴラ木部及びRC円柱塗装工事						
	木部素地ごしらえ 糸幅100程度 A種	1530*4 24本	m	430.0			
	木材保護塗料塗り WP		m	430.0			
	鉄鋼面素地ごしらえ 糸幅100程度 C種		m	203.0			
	鉄鋼面SOP塗り A種		m	203.0			
	分別・集積・積込【プラ】	1kg/m <sup>2</sup>	t	0.02			
	解体材運搬費		m3	0.02			
	解体処分費		m3	0.02			
	ガラス繊維強化プラスチック板		m <sup>2</sup>	10.9			
	合 計						
	別紙明細9						
14-6	公園内器具木部固定用ボルトキャップ取替						
	ボルトキャップ	φ25	ヶ	252.0			
	加工取付施工費	普通作業員	人工	2.0			
	合 計						









令和 5 年度

市営住宅追分団地 C 棟・集会所外壁・屋根改修工事











6  
内装  
改修  
工事

7. 防蟻・防蟻処理

行う箇所（ ）  
防蟻処理 ※行う（※図示 ）  
防蟻処理 ※行う（※図示 ）  
防蟻、防蟻処理の種類、品質  
表面処理用木材保存（防蟻、防蟻）剤は、監督職員の承諾するものとする。  
クロルピリホスを含むものを添加しないこと。

8. 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床 (表6.5.11)  
※無し  
下張り用床板  
・有り  
・板張り  
床板  
※単層フローリング (標仕19.5.2による)  
・縁甲板  
ホルムアルデヒド放散量の等級  
※規制対象外  
・第三種  
ホルムアルデヒド放散量の等級  
※規制対象外  
・第三種  
※ひのき

9. 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 (6.6.2) (表6.6.1)  
屋外（・19型 ※25型） 屋内（※19型 ・25型）  
既存の理込インサート ・使用する ・使用しない (6.6.3) (6.6.4)  
あと施工アンカーの引抜き試験 ※行う ・行わない (6.6.4)  
※天井ふところ1.5m以上の場合は吊りボルトの補強を行う  
耐震性を考慮した補強 ※図示  
屋外軒天井及びピロティー天井等における耐風圧性を考慮した補強 ※図示

10. 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・ (6.7.3) (表6.7.1)

11. ビニル床シート張り

種類 JISの記号 色 柄 厚さ(mm)  
※発泡層のないもの ※JIS A 5705 ※無地 ・マーブル柄 ・柄物 ※2.5 ・2.8  
・発泡層のあるもの ※柄物 ・無地  
・  
工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ） (6.8.3)

12. ビニル床タイル張り

種類 JISの記号 厚さ(mm) 備 考  
※コンポジションビニル床タイル(半硬質) C T ※2  
・コンポジションビニル床タイル(軟質) C T S  
・ホモジニアスビニル床タイル H T  
・

13. 帯電防止床タイル張り

種類 厚さ(mm) 性 能  
・コンポジションビニル床タイル ※2 ・ 体積抵抗値(JIS K6911による)1.0×10<sup>9</sup>Ω以下、  
・ホモジニアスビニル床タイル ※4.0又は4.5 または、 漏えい抵抗値(JIS A1454による)1.0  
・ ×10<sup>10</sup>Ω未満

14. 視覚障害者用床タイル (誘導用及び 注意喚起用床材)

ブロックパターンはJIS T 9251による (6.8.2)  
色彩は黄色を原則とする  
屋 内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はせっ器質タイル(※300 ・ )  
・レジンコンクリート製  
屋 外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル(※300 ・ )

15. ビニル幅木

高さ (mm) ・60 ・75 ・100 (6.8.2)

16. 合成樹脂塗床

種類 厚さ(mm) 性 能  
・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ  
・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜剥し膜仕上げ  
・厚膜剥し膜仕上げ(※平滑 ・防滑)  
・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防滑)  
・防滑仕上げ

17. フローリング張り

種類 材 種 工 法 仕上げ塗装等 備 考  
※天然木化粧合板70・リッパ ※なら ※釘め工法(C種) ※塗装品  
・単層フローリング ・ひのき ・無塗装品  
・  
・  
・  
ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種

18. 畳敷き

下地の種類 畳の種類  
改修標仕表6.5.9)による床組 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種( )  
ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロ) ※C種 ・D種( )  
畳表及び畳床は採発発生有機化合物含有量が少ないものとする  
・床暖房専用畳表及び、国産畳表とする

19. 8' リソレフォーム床下地材

畳下地 厚さ(mm) ※40 ・65 ・80 (不燃)  
70・リッパ 厚さ(mm) ※80 ・95 (不燃)

20. カーペット敷き

・織じゅうたん (6.9.2) (6.9.3) (表6.9.1)  
種 別 バイル形状 色 柄 備 考  
・A種 ・カットバイル ※単一色(無地)  
・B種 ・ループバイル ・柄物(標準品)  
・C種 ・カット、ループバイル併用  
帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・  
・タフテッドカーベット (6.9.2) (6.9.3) (表6.9.2)  
バイル形状 バイル長 (mm) 工 法 備 考  
・カットバイル ※5〜7 ・ ※全面接着工法  
・ループバイル ※4〜6 ・ ・グリッパー工法  
・カット、ループ併用  
帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・  
・タイルカーベット (6.9.2) (6.9.3) (表6.9.2)  
バイル形状 種 類 種 類 総厚さ(mm) 備 考  
※ループバイル ※第一種 ※500×500 ・ ※6.5  
・第二種  
・カットバイル  
・カット、ループ併用  
帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 (71-77kV707数設範囲)

21. セっこうボードその他  
ボード張り

(6.13.2) (表6.13.1)  
種 類 JISの記号 厚さ (mm) 、規格等  
・硬質木毛セメント板 HW ・15 ・20 ・25 ・  
・普通木毛セメント板 NW ・15 ・20 ・25 ・  
・硬質木片セメント板 NF ・15 ・20 ・25 ・  
・けい酸カシウム板 0.8FK タイプ2 (無石棉) ・6 ・8  
・ロックウール化粧吸音板 (内部用) DR ※フラットタイプ (※9(不燃) ・12 ・ )  
・凹凸タイプ (※12(不燃) ・15 ・19 ・ )  
・ロックウール化粧吸音板 (外部用) ※フラットタイプ (※9(不燃) ・12 ・ )  
・凹凸タイプ (※12(不燃) ・15 ・19 ・ )  
・せっこうボード GB-R ・9.5 (準不燃) ・12.5 (不燃)  
・不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用)  
化粧有 (トラバーチン模様)  
・シーシングせっこうボード GB-S 12.5 (不燃)  
・強化せっこうボード GB-F ・12.5 (不燃) ・15.0 (不燃)  
・せっこうラスボード GB-L 9.5  
・化粧せっこうボード GB-D 9.5 (不燃)  
12.5 (不燃) 幅440程度  
模様 (※柱目 ・板目) 専用下地材付き  
・普通合板 (難燃処理) ・生地、透明塗料塗 (ラワン合板程度)  
・不透明塗料塗 (しな合板程度)  
・メラミン樹脂化粧板 ― JIS K6903による 厚さ1.2  
・3' 4' 5' 6' 7' 8' 9' 10' 11' 12' 13' 14' 15' 16' 17' 18' 19' 20' 21' 22' 23' 24' 25' 26' 27' 28' 29' 30' 31' 32' 33' 34' 35' 36' 37' 38' 39' 40' 41' 42' 43' 44' 45' 46' 47' 48' 49' 50' 51' 52' 53' 54' 55' 56' 57' 58' 59' 60' 61' 62' 63' 64' 65' 66' 67' 68' 69' 70' 71' 72' 73' 74' 75' 76' 77' 78' 79' 80' 81' 82' 83' 84' 85' 86' 87' 88' 89' 90' 91' 92' 93' 94' 95' 96' 97' 98' 99' 100' 101' 102' 103' 104' 105' 106' 107' 108' 109' 110' 111' 112' 113' 114' 115' 116' 117' 118' 119' 120' 121' 122' 123' 124' 125' 126' 127' 128' 129' 130' 131' 132' 133' 134' 135' 136' 137' 138' 139' 140' 141' 142' 143' 144' 145' 146' 147' 148' 149' 150' 151' 152' 153' 154' 155' 156' 157' 158' 159' 160' 161' 162' 163' 164' 165' 166' 167' 168' 169' 170' 171' 172' 173' 174' 175' 176' 177' 178' 179' 180' 181' 182' 183' 184' 185' 186' 187' 188' 189' 190' 191' 192' 193' 194' 195' 196' 197' 198' 199' 200' 201' 202' 203' 204' 205' 206' 207' 208' 209' 210' 211' 212' 213' 214' 215' 216' 217' 218' 219' 220' 221' 222' 223' 224' 225' 226' 227' 228' 229' 230' 231' 232' 233' 234' 235' 236' 237' 238' 239' 240' 241' 242' 243' 244' 245' 246' 247' 248' 249' 250' 251' 252' 253' 254' 255' 256' 257' 258' 259' 260' 261' 262' 263' 264' 265' 266' 267' 268' 269' 270' 271' 272' 273' 274' 275' 276' 277' 278' 279' 280' 281' 282' 283' 284' 285' 286' 287' 288' 289' 290' 291' 292' 293' 294' 295' 296' 297' 298' 299' 300' 301' 302' 303' 304' 305' 306' 307' 308' 309' 310' 311' 312' 313' 314' 315' 316' 317' 318' 319' 320' 321' 322' 323' 324' 325' 326' 327' 328' 329' 330' 331' 332' 333' 334' 335' 336' 337' 338' 339' 340' 341' 342' 343' 344' 345' 346' 347' 348' 349' 350' 351' 352' 353' 354' 355' 356' 357' 358' 359' 360' 361' 362' 363' 364' 365' 366' 367' 368' 369' 370' 371' 372' 373' 374' 375' 376' 377' 378' 379' 380' 38

耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事	8-1	①鉄筋の種類	<table><tr><td colspan="2">(8.2.1)(表8.2.1)</td></tr><tr><td>種類の記号</td><td>呼び名(mm)</td></tr><tr><td>・SD295A</td><td>ⓓ16以下</td></tr><tr><td>・SD345</td><td>ⓓ19以上</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table>	(8.2.1)(表8.2.1)		種類の記号	呼び名(mm)	・SD295A	ⓓ16以下	・SD345	ⓓ19以上	・		22.耐火被覆材	<table><tr><td colspan="2">(8.17.2～8.17.7)</td></tr><tr><td>種 別</td><td>所要性能及び適用構造区分</td></tr><tr><td>・ラス張りモルタル塗り</td><td></td></tr><tr><td>・耐火材</td><td>・乾式吹付けロックウール</td></tr><tr><td>吹付け</td><td>・半乾式吹付けロックウール</td></tr><tr><td>・</td><td>・湿式ロックウール</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・耐火板張り</td><td></td></tr></table>	(8.17.2～8.17.7)		種 別	所要性能及び適用構造区分	・ラス張りモルタル塗り		・耐火材	・乾式吹付けロックウール	吹付け	・半乾式吹付けロックウール	・	・湿式ロックウール	・		・耐火板張り		4.連続繊維シート巻き	<table><tr><td colspan="2">(8.2.11)</td></tr><tr><td>材料・形状</td><td>採用した工法の規定を満足するもの</td></tr><tr><td>材質</td><td></td></tr><tr><td>引張り強度(含浸硬化後)</td><td></td></tr><tr><td>・2500N/mm<sup>2</sup>以上</td><td>・3000N/mm<sup>2</sup>以上</td></tr><tr><td>ヤング係数(含浸硬化後)</td><td></td></tr><tr><td>・2.35×10<sup>9</sup>N/mm<sup>2</sup>程度</td><td>・2.00×10<sup>9</sup>N/mm<sup>2</sup>程度</td></tr><tr><td>工法</td><td></td></tr><tr><td>※(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr><tr><td>下地調整</td><td></td></tr><tr><td>仕上モルタルの除去</td><td></td></tr><tr><td>※行う</td><td>・行わない</td></tr><tr><td>柱の隅角部の面取り</td><td></td></tr><tr><td>※工法の評価内容による</td><td></td></tr></table>	(8.2.11)		材料・形状	採用した工法の規定を満足するもの	材質		引張り強度(含浸硬化後)		・2500N/mm <sup>2</sup> 以上	・3000N/mm <sup>2</sup> 以上	ヤング係数(含浸硬化後)		・2.35×10 <sup>9</sup> N/mm <sup>2</sup> 程度	・2.00×10 <sup>9</sup> N/mm <sup>2</sup> 程度	工法		※(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法		・		下地調整		仕上モルタルの除去		※行う	・行わない	柱の隅角部の面取り		※工法の評価内容による		10	1.工事現場の環境改善について	工事現場のイメージアップ ・仮囲い周辺の美化  地域住民への情報提供 ・完成予想図の設置 ・情報掲示板の設置 ・パンフレットの作成  地域住民とのコミュニケーション ・現場見学会の開催  住民に対する災害防止関係 ・現場出入口周辺への誘導員の配備																																																																																		
	(8.2.1)(表8.2.1)																																																																																																																																																			
	種類の記号	呼び名(mm)																																																																																																																																																		
	・SD295A	ⓓ16以下																																																																																																																																																		
	・SD345	ⓓ19以上																																																																																																																																																		
	・																																																																																																																																																			
	(8.17.2～8.17.7)																																																																																																																																																			
	種 別	所要性能及び適用構造区分																																																																																																																																																		
	・ラス張りモルタル塗り																																																																																																																																																			
	・耐火材	・乾式吹付けロックウール																																																																																																																																																		
	吹付け	・半乾式吹付けロックウール																																																																																																																																																		
	・	・湿式ロックウール																																																																																																																																																		
	・																																																																																																																																																			
	・耐火板張り																																																																																																																																																			
	(8.2.11)																																																																																																																																																			
	材料・形状	採用した工法の規定を満足するもの																																																																																																																																																		
	材質																																																																																																																																																			
	引張り強度(含浸硬化後)																																																																																																																																																			
	・2500N/mm <sup>2</sup> 以上	・3000N/mm <sup>2</sup> 以上																																																																																																																																																		
	ヤング係数(含浸硬化後)																																																																																																																																																			
・2.35×10 <sup>9</sup> N/mm <sup>2</sup> 程度	・2.00×10 <sup>9</sup> N/mm <sup>2</sup> 程度																																																																																																																																																			
工法																																																																																																																																																				
※(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法																																																																																																																																																				
・																																																																																																																																																				
下地調整																																																																																																																																																				
仕上モルタルの除去																																																																																																																																																				
※行う	・行わない																																																																																																																																																			
柱の隅角部の面取り																																																																																																																																																				
※工法の評価内容による																																																																																																																																																				
2.溶接金網	<table><tr><td colspan="2">(8.2.2)</td></tr><tr><td>網目の形状、寸法及び鉄線の径</td><td>鉄線の径または呼び(mm)</td></tr><tr><td>網目の形状、寸法(たて×よこ)</td><td>規格</td></tr><tr><td>※100×100</td><td>JIS G3551による</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table>	(8.2.2)		網目の形状、寸法及び鉄線の径	鉄線の径または呼び(mm)	網目の形状、寸法(たて×よこ)	規格	※100×100	JIS G3551による	・		23.既存コンクリート面の目直し	<table><tr><td colspan="2">(8.19.3)(8.20.3)</td></tr><tr><td>適用範囲</td><td></td></tr><tr><td>※既存コンクリートとの打継ぎ面</td><td></td></tr><tr><td>※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr><tr><td>目直ししの範囲</td><td></td></tr><tr><td>※柱・梁面</td><td>打継ぎ面又は接合面全面の3／4以上</td></tr><tr><td>※壁面</td><td>打継ぎ面又は接合面全面の1／3程度</td></tr><tr><td>目直ししの程度</td><td></td></tr><tr><td>※平均深さ5～10mm(最大深さ10～15mm)程度の凹部を施す</td><td></td></tr></table>	(8.19.3)(8.20.3)		適用範囲		※既存コンクリートとの打継ぎ面		※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面		・		目直ししの範囲		※柱・梁面	打継ぎ面又は接合面全面の3／4以上	※壁面	打継ぎ面又は接合面全面の1／3程度	目直ししの程度		※平均深さ5～10mm(最大深さ10～15mm)程度の凹部を施す		5.スリットの施工	<table><tr><td colspan="2">(8.22.2)</td></tr><tr><td>スリット部の配管等の探査</td><td></td></tr><tr><td>※探査機により探査し、配管等の位置の墨出を行う</td><td></td></tr><tr><td>・はつり出し</td><td></td></tr></table>	(8.22.2)		スリット部の配管等の探査		※探査機により探査し、配管等の位置の墨出を行う		・はつり出し		14001関係	3.再生資源利用促進計画書等について	「再生資源の利用の促進に関する法律」(以下「リサイクル法」という。))に基づき、請負者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を提出し、監督員の承諾を受けること。また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること。																																																																																																						
(8.2.2)																																																																																																																																																				
網目の形状、寸法及び鉄線の径	鉄線の径または呼び(mm)																																																																																																																																																			
網目の形状、寸法(たて×よこ)	規格																																																																																																																																																			
※100×100	JIS G3551による																																																																																																																																																			
・																																																																																																																																																				
(8.19.3)(8.20.3)																																																																																																																																																				
適用範囲																																																																																																																																																				
※既存コンクリートとの打継ぎ面																																																																																																																																																				
※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充填部の接合面																																																																																																																																																				
・																																																																																																																																																				
目直ししの範囲																																																																																																																																																				
※柱・梁面	打継ぎ面又は接合面全面の3／4以上																																																																																																																																																			
※壁面	打継ぎ面又は接合面全面の1／3程度																																																																																																																																																			
目直ししの程度																																																																																																																																																				
※平均深さ5～10mm(最大深さ10～15mm)程度の凹部を施す																																																																																																																																																				
(8.22.2)																																																																																																																																																				
スリット部の配管等の探査																																																																																																																																																				
※探査機により探査し、配管等の位置の墨出を行う																																																																																																																																																				
・はつり出し																																																																																																																																																				
5.各部の配筋	<table><tr><td colspan="2">(図8.3.4)</td></tr><tr><td>柱の配筋</td><td></td></tr><tr><td>帯筋の組立ての形の種別</td><td>・H形</td></tr><tr><td></td><td>・W-I形</td></tr><tr><td></td><td>※W-II形</td></tr></table>	(図8.3.4)		柱の配筋		帯筋の組立ての形の種別	・H形		・W-I形		※W-II形	24.モルタル及びグラウト材	<table><tr><td colspan="2">[7.10.3][表7.10.2](8.2.10)</td></tr><tr><td>柱底等の均しモルタル</td><td>・標丈表7.10.2によるB種</td></tr><tr><td>※無収縮モルタル</td><td>・</td></tr><tr><td>グラウト材</td><td>※無収縮グラウト材</td></tr><tr><td>無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による</td><td></td></tr><tr><td>無収縮グラウト材</td><td>グラウト及び現場調合形</td></tr><tr><td>混和材</td><td>セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。</td></tr><tr><td>セメント</td><td>JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。</td></tr><tr><td>砂</td><td>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。</td></tr></table>	[7.10.3][表7.10.2](8.2.10)		柱底等の均しモルタル	・標丈表7.10.2によるB種	※無収縮モルタル	・	グラウト材	※無収縮グラウト材	無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による		無収縮グラウト材	グラウト及び現場調合形	混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。	セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。	砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。	9	①ISO 14001関係	(1)現場で使用する機械は、低騒音、低振動、低排ガス型施工機械とすること。 (2)夜間、早朝等の稼働を避けること。ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートの選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。 (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。 (4)地盤改良によって、周辺への水質、土壌など地下水に影響を与えるおそれがある場合は監督職員と協議を行うこと。 「参考資料」：平成12年3月24日付、建設省技調第49号、同第28号第10号(改正平成13年4月20日)「セメント及びセメント系固相化材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置について」 (5)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。																																																																																																																		
(図8.3.4)																																																																																																																																																				
柱の配筋																																																																																																																																																				
帯筋の組立ての形の種別	・H形																																																																																																																																																			
	・W-I形																																																																																																																																																			
	※W-II形																																																																																																																																																			
[7.10.3][表7.10.2](8.2.10)																																																																																																																																																				
柱底等の均しモルタル	・標丈表7.10.2によるB種																																																																																																																																																			
※無収縮モルタル	・																																																																																																																																																			
グラウト材	※無収縮グラウト材																																																																																																																																																			
無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による																																																																																																																																																				
無収縮グラウト材	グラウト及び現場調合形																																																																																																																																																			
混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。																																																																																																																																																			
セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。																																																																																																																																																			
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。																																																																																																																																																			
6.ガス圧接	<table><tr><td colspan="2">(8.3.9)</td></tr><tr><td>圧接部の確認試験</td><td>※超音波探傷試験</td></tr><tr><td>・引張試験</td><td></td></tr></table>	(8.3.9)		圧接部の確認試験	※超音波探傷試験	・引張試験		24.モルタル及びグラウト材	<table><tr><td colspan="2">(8.2.10)</td></tr><tr><td>グラウト材</td><td>※無収縮グラウト材</td></tr><tr><td>無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による</td><td></td></tr><tr><td>無収縮グラウト材</td><td>グラウト及び現場調合形</td></tr><tr><td>混和材</td><td>セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。</td></tr><tr><td>セメント</td><td>JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。</td></tr><tr><td>砂</td><td>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。</td></tr></table>	(8.2.10)		グラウト材	※無収縮グラウト材	無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による		無収縮グラウト材	グラウト及び現場調合形	混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。	セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。	砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。	1.アスベスト含有分析調査	<table><tr><td colspan="2">(9.1.1)</td></tr><tr><td>材 料 名</td><td>調査方法</td></tr><tr><td></td><td>(1材料あたりの試料数)</td></tr><tr><td></td><td>※定性分析(※3)</td></tr><tr><td></td><td>・定量分析(※3)</td></tr><tr><td></td><td>・仕上表による</td></tr><tr><td></td><td>※定性分析(※3)</td></tr><tr><td></td><td>・定量分析(※3)</td></tr><tr><td></td><td>・仕上表による</td></tr></table>	(9.1.1)		材 料 名	調査方法		(1材料あたりの試料数)		※定性分析(※3)		・定量分析(※3)		・仕上表による		※定性分析(※3)		・定量分析(※3)		・仕上表による	2.アスベスト粉じん濃度測定	<table><tr><td colspan="2">(9.1.1)</td></tr><tr><td>アスベスト粉じん濃度測定</td><td></td></tr><tr><td>測定場所</td><td>※図示</td></tr><tr><td>測定点</td><td>※図示</td></tr></table>	(9.1.1)		アスベスト粉じん濃度測定		測定場所	※図示	測定点	※図示	3.71バシ含有吹付け材の除去(レベル1)	<table><tr><td colspan="2">(9.1.3)</td></tr><tr><td>アスベスト含有吹付け材の除去方法</td><td></td></tr><tr><td>解体共仕6.3.2)によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。</td><td></td></tr><tr><td>除去物及び汚染物質等</td><td></td></tr><tr><td>※密封処理(二重袋梱包)</td><td></td></tr><tr><td>隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。</td><td></td></tr></table>	(9.1.3)		アスベスト含有吹付け材の除去方法		解体共仕6.3.2)によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。		除去物及び汚染物質等		※密封処理(二重袋梱包)		隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。		4.71バシ含有保温材等の除去(レベル2)	<table><tr><td colspan="2">(9.1.4)</td></tr><tr><td>アスベスト含有保温材等の除去方法</td><td></td></tr><tr><td>解体共仕6.4.2)によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。</td><td></td></tr><tr><td>除去物及び汚染物質等</td><td></td></tr><tr><td>※密封処理(二重袋梱包)</td><td></td></tr><tr><td>隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。</td><td></td></tr></table>	(9.1.4)		アスベスト含有保温材等の除去方法		解体共仕6.4.2)によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。		除去物及び汚染物質等		※密封処理(二重袋梱包)		隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。		5.71バシ含有成形板の除去(レベル3)	<table><tr><td colspan="2">(9.1.5)</td></tr><tr><td>アスベスト含有成形板の除去方法</td><td></td></tr><tr><td>解体共仕6.5.2)によるものとする。</td><td></td></tr></table>	(9.1.5)		アスベスト含有成形板の除去方法		解体共仕6.5.2)によるものとする。		6.外断熱改修工事	<table><tr><td colspan="2">(9.3.2)</td></tr><tr><td>断熱材の種類</td><td></td></tr><tr><td>・ビーズ法®リフォーム(ノゾビ)</td><td>・押出法®リフォーム(ノゾビ)</td></tr><tr><td>・硬質ウレタンフォーム(ノゾビ)</td><td>・ポリウレタン</td></tr><tr><td>・ウレタン</td><td>・グラスウール</td></tr></table>	(9.3.2)		断熱材の種類		・ビーズ法®リフォーム(ノゾビ)	・押出法®リフォーム(ノゾビ)	・硬質ウレタンフォーム(ノゾビ)	・ポリウレタン	・ウレタン	・グラスウール	7.ガラス改修工事	<table><tr><td colspan="2">(9.4.2)</td></tr><tr><td>複層ガラスの厚さ</td><td>建具表による</td></tr><tr><td>断熱性・日射遮蔽性による区分</td><td>※U3-1</td></tr><tr><td></td><td>・U3-2</td></tr></table>	(9.4.2)		複層ガラスの厚さ	建具表による	断熱性・日射遮蔽性による区分	※U3-1		・U3-2	8.屋上緑化改修工事	<table><tr><td colspan="2">(9.6.1)</td></tr><tr><td>植栽基盤及び材料</td><td></td></tr><tr><td>・屋上緑化軽量システム</td><td></td></tr><tr><td>芝及び地被類の樹根並びに種類等</td><td>※図示</td></tr></table>	(9.6.1)		植栽基盤及び材料		・屋上緑化軽量システム		芝及び地被類の樹根並びに種類等	※図示	9.透水性アスファルト舗装改修工事	<table><tr><td colspan="2">(9.7.4)(表9.7.5)</td></tr><tr><td>舗装材料</td><td></td></tr><tr><td>※再生クラッシャーラン(RC-40)</td><td></td></tr><tr><td>・クラッシャーラン(C-40)又はクラッシャーランスラグ(CS-40)</td><td></td></tr><tr><td>透水性の高いものを使用する</td><td></td></tr><tr><td>遮断層及び凍上抑制層の材料</td><td></td></tr><tr><td>・遮断層</td><td>※川砂、海砂及び良質な山砂</td></tr><tr><td></td><td>厚さは図示</td></tr><tr><td>・凍上抑制層</td><td>※再生クラッシャーラン・クラッシャーラン・切り込み砂利</td></tr><tr><td></td><td>・砂</td></tr><tr><td></td><td>厚さは図示</td></tr></table>	(9.7.4)(表9.7.5)		舗装材料		※再生クラッシャーラン(RC-40)		・クラッシャーラン(C-40)又はクラッシャーランスラグ(CS-40)		透水性の高いものを使用する		遮断層及び凍上抑制層の材料		・遮断層	※川砂、海砂及び良質な山砂		厚さは図示	・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン・クラッシャーラン・切り込み砂利		・砂		厚さは図示	11	①保険等	(1)本建築引渡しまで請負者は工事目的物、工事材料等について火災保険を掛けなければならない。 (2) 工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者とする。 (1)暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。 (2) 工事請負総が500万円以上の工事については、工事実績情報(工事カルテ)の登録をすること。 (ただし工事請負代金500万円以上2,500万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。) 登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に(財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。 なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。 ① 工事受注時 契約締結後10日以内 ② 登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内 ③ 工事完成時 工事完成後10日以内 (連絡先：(財)日本建設情報総合センター ☎03-3505-2973 ) (3)下請負契約締結後、速やかに下請人通知書を提出すること。 (4)現場施行体制において、請負者は施工体制台帳を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、監督職員に写しを提出すること。 また、工事現場における施工の分担関係を明示した「施工体系図」を作成し、これを工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。 ※施工体制台帳に記載すべき内容 ・建設業法施行規則 第14条の2第1項に掲げる事項 ・安全衛生推進者名、安全衛生推進者名、雇用管理責任者名 (5)下記業種等については、建設工事に関連性をもち、元請負人の指揮、調整のもと行われるものであるため施工体制台帳、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下記業種間等と考えられるものについても、同様に整備すること。 ・交通整理員、ガードマン ・産業廃棄物処理業者 ・ダンプ運転(1人親方のダンプ運転手) ・1日で完了する請負契約、小規模な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約 ・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの ・クレーン等の重機オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合 ・他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合(臨時雇用関係である場合を除く)
(8.3.9)																																																																																																																																																				
圧接部の確認試験	※超音波探傷試験																																																																																																																																																			
・引張試験																																																																																																																																																				
(8.2.10)																																																																																																																																																				
グラウト材	※無収縮グラウト材																																																																																																																																																			
無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による																																																																																																																																																				
無収縮グラウト材	グラウト及び現場調合形																																																																																																																																																			
混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。																																																																																																																																																			
セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。																																																																																																																																																			
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。																																																																																																																																																			
(9.1.1)																																																																																																																																																				
材 料 名	調査方法																																																																																																																																																			
	(1材料あたりの試料数)																																																																																																																																																			
	※定性分析(※3)																																																																																																																																																			
	・定量分析(※3)																																																																																																																																																			
	・仕上表による																																																																																																																																																			
	※定性分析(※3)																																																																																																																																																			
	・定量分析(※3)																																																																																																																																																			
	・仕上表による																																																																																																																																																			
(9.1.1)																																																																																																																																																				
アスベスト粉じん濃度測定																																																																																																																																																				
測定場所	※図示																																																																																																																																																			
測定点	※図示																																																																																																																																																			
(9.1.3)																																																																																																																																																				
アスベスト含有吹付け材の除去方法																																																																																																																																																				
解体共仕6.3.2)によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。																																																																																																																																																				
除去物及び汚染物質等																																																																																																																																																				
※密封処理(二重袋梱包)																																																																																																																																																				
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。																																																																																																																																																				
(9.1.4)																																																																																																																																																				
アスベスト含有保温材等の除去方法																																																																																																																																																				
解体共仕6.4.2)によるほか、部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様で監督職員の承諾するものとする。																																																																																																																																																				
除去物及び汚染物質等																																																																																																																																																				
※密封処理(二重袋梱包)																																																																																																																																																				
隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタ等についても密封処理を行う。																																																																																																																																																				
(9.1.5)																																																																																																																																																				
アスベスト含有成形板の除去方法																																																																																																																																																				
解体共仕6.5.2)によるものとする。																																																																																																																																																				
(9.3.2)																																																																																																																																																				
断熱材の種類																																																																																																																																																				
・ビーズ法®リフォーム(ノゾビ)	・押出法®リフォーム(ノゾビ)																																																																																																																																																			
・硬質ウレタンフォーム(ノゾビ)	・ポリウレタン																																																																																																																																																			
・ウレタン	・グラスウール																																																																																																																																																			
(9.4.2)																																																																																																																																																				
複層ガラスの厚さ	建具表による																																																																																																																																																			
断熱性・日射遮蔽性による区分	※U3-1																																																																																																																																																			
	・U3-2																																																																																																																																																			
(9.6.1)																																																																																																																																																				
植栽基盤及び材料																																																																																																																																																				
・屋上緑化軽量システム																																																																																																																																																				
芝及び地被類の樹根並びに種類等	※図示																																																																																																																																																			
(9.7.4)(表9.7.5)																																																																																																																																																				
舗装材料																																																																																																																																																				
※再生クラッシャーラン(RC-40)																																																																																																																																																				
・クラッシャーラン(C-40)又はクラッシャーランスラグ(CS-40)																																																																																																																																																				
透水性の高いものを使用する																																																																																																																																																				
遮断層及び凍上抑制層の材料																																																																																																																																																				
・遮断層	※川砂、海砂及び良質な山砂																																																																																																																																																			
	厚さは図示																																																																																																																																																			
・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン・クラッシャーラン・切り込み砂利																																																																																																																																																			
	・砂																																																																																																																																																			
	厚さは図示																																																																																																																																																			
③鉄筋の継手	<table><tr><td colspan="2">(8.3.4)(表8.3.3)</td></tr><tr><td>継手方法</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>継手方法</td><td>呼び名(mm)</td></tr><tr><td>・ガス圧接</td><td></td></tr><tr><td>ⓓ重ね継手</td><td></td></tr></table>	(8.3.4)(表8.3.3)		継手方法	適用箇所	継手方法	呼び名(mm)	・ガス圧接		ⓓ重ね継手		24.モルタル及びグラウト材	<table><tr><td colspan="2">(8.2.10)</td></tr><tr><td>グラウト材</td><td>※無収縮グラウト材</td></tr><tr><td>無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による</td><td></td></tr><tr><td>無収縮グラウト材</td><td>グラウト及び現場調合形</td></tr><tr><td>混和材</td><td>セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。</td></tr><tr><td>セメント</td><td>JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。</td></tr><tr><td>砂</td><td>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。</td></tr></table>	(8.2.10)		グラウト材	※無収縮グラウト材	無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による		無収縮グラウト材	グラウト及び現場調合形	混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。	セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。	砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。	環境配慮(グリーン)改修工事	2.アスベスト粉じん濃度測定	②その他	(2) 工事請負総が500万円以上の工事については、工事実績情報(工事カルテ)の登録をすること。 (ただし工事請負代金500万円以上2,500万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。) 登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に(財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。 なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。 ① 工事受注時 契約締結後10日以内 ② 登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内 ③ 工事完成時 工事完成後10日以内 (連絡先：(財)日本建設情報総合センター ☎03-3505-2973 ) (3)下請負契約締結後、速やかに下請人通知書を提出すること。 (4)現場施行体制において、請負者は施工体制台帳を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、監督職員に写しを提出すること。 また、工事現場における施工の分担関係を明示した「施工体系図」を作成し、これを工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。 ※施工体制台帳に記載すべき内容 ・建設業法施行規則 第14条の2第1項に掲げる事項 ・安全衛生推進者名、安全衛生推進者名、雇用管理責任者名 (5)下記業種等については、建設工事に関連性をもち、元請負人の指揮、調整のもと行われるものであるため施工体制台帳、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下記業種間等と考えられるものについても、同様に整備すること。 ・交通整理員、ガードマン ・産業廃棄物処理業者 ・ダンプ運転(1人親方のダンプ運転手) ・1日で完了する請負契約、小規模な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約 ・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの ・クレーン等の重機オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合 ・他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合(臨時雇用関係である場合を除く)																																																																																																																					
(8.3.4)(表8.3.3)																																																																																																																																																				
継手方法	適用箇所																																																																																																																																																			
継手方法	呼び名(mm)																																																																																																																																																			
・ガス圧接																																																																																																																																																				
ⓓ重ね継手																																																																																																																																																				
(8.2.10)																																																																																																																																																				
グラウト材	※無収縮グラウト材																																																																																																																																																			
無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による																																																																																																																																																				
無収縮グラウト材	グラウト及び現場調合形																																																																																																																																																			
混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。																																																																																																																																																			
セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。																																																																																																																																																			
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。																																																																																																																																																			
③鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ	<table><tr><td colspan="2">(8.3.5)(表8.3.6)</td></tr><tr><td>最小かぶり厚さは目地底から算定する。 ・耐力性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。</td><td></td></tr><tr><td>施 工 箇 所</td><td>改修標丈表8.3.6の値に加える寸法(mm)</td></tr><tr><td>柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面</td><td>※10</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table>	(8.3.5)(表8.3.6)		最小かぶり厚さは目地底から算定する。 ・耐力性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。		施 工 箇 所	改修標丈表8.3.6の値に加える寸法(mm)	柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※10	・		24.モルタル及びグラウト材	<table><tr><td colspan="2">[7.10.3][表7.10.2](8.2.10)</td></tr><tr><td>柱底等の均しモルタル</td><td>・標丈表7.10.2によるB種</td></tr><tr><td>※無収縮モルタル</td><td>・</td></tr><tr><td>グラウト材</td><td>※無収縮グラウト材</td></tr><tr><td>無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による</td><td></td></tr><tr><td>無収縮グラウト材</td><td>グラウト及び現場調合形</td></tr><tr><td>混和材</td><td>セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。</td></tr><tr><td>セメント</td><td>JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。</td></tr><tr><td>砂</td><td>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。</td></tr></table>	[7.10.3][表7.10.2](8.2.10)		柱底等の均しモルタル	・標丈表7.10.2によるB種	※無収縮モルタル	・	グラウト材	※無収縮グラウト材	無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による		無収縮グラウト材	グラウト及び現場調合形	混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。	セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。	砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。	9	2.アスベスト粉じん濃度測定	③過積載の禁止	資機材の運搬にあたっては、運搬車両の最大積載量を把握し過積載を行わないよう計画すること。また、飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。																																																																																																																	
(8.3.5)(表8.3.6)																																																																																																																																																				
最小かぶり厚さは目地底から算定する。 ・耐力性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。																																																																																																																																																				
施 工 箇 所	改修標丈表8.3.6の値に加える寸法(mm)																																																																																																																																																			
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面	※10																																																																																																																																																			
・																																																																																																																																																				
[7.10.3][表7.10.2](8.2.10)																																																																																																																																																				
柱底等の均しモルタル	・標丈表7.10.2によるB種																																																																																																																																																			
※無収縮モルタル	・																																																																																																																																																			
グラウト材	※無収縮グラウト材																																																																																																																																																			
無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による																																																																																																																																																				
無収縮グラウト材	グラウト及び現場調合形																																																																																																																																																			
混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。																																																																																																																																																			
セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通又は早強ポルトランドセメントとする。																																																																																																																																																			
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用させる砂の乾燥状態については規定しない。																																																																																																																																																			
10.無筋コンクリート	<table><tr><td colspan="2">[6.14.3]</td></tr><tr><td>種 類</td><td>設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>)</td></tr><tr><td>※普通コンクリート</td><td>※18</td></tr><tr><td>・軽量コンクリート</td><td>・</td></tr></table>	[6.14.3]		種 類	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	※普通コンクリート	※18	・軽量コンクリート	・	24.モルタル及びグラウト材	<table><tr><td colspan="2">(8.2.5)(8.5.8)</td></tr><tr><td>混和材料</td><td></td></tr><tr><td>混和材料の種類</td><td>※混和剤</td></tr><tr><td></td><td>・混和材</td></tr></table>	(8.2.5)(8.5.8)		混和材料		混和材料の種類	※混和剤		・混和材	5.71バシ含有成形板の除去(レベル3)	6.外断熱改修工事	断熱材の種類	<table><tr><td colspan="2">(9.3.2)</td></tr><tr><td>材料名</td><td>厚さ(mm)</td></tr><tr><td>・ビーズ法®リフォーム(ノゾビ)</td><td>・押出法®リフォーム(ノゾビ)</td></tr><tr><td>・硬質ウレタンフォーム(ノゾビ)</td><td>・ポリウレタン</td></tr><tr><td>・ウレタン</td><td>・グラスウール</td></tr></table>	(9.3.2)		材料名	厚さ(mm)	・ビーズ法®リフォーム(ノゾビ)	・押出法®リフォーム(ノゾビ)	・硬質ウレタンフォーム(ノゾビ)	・ポリウレタン	・ウレタン	・グラスウール	外装材の種類	<table><tr><td colspan="2">(9.3.2)</td></tr><tr><td></td><td>防火性能</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table>	(9.3.2)			防火性能	・		既存外装の仕上材の撤去	・有り	・なし																																																																																																								
[6.14.3]																																																																																																																																																				
種 類	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )																																																																																																																																																			
※普通コンクリート	※18																																																																																																																																																			
・軽量コンクリート	・																																																																																																																																																			
(8.2.5)(8.5.8)																																																																																																																																																				
混和材料																																																																																																																																																				
混和材料の種類	※混和剤																																																																																																																																																			
	・混和材																																																																																																																																																			
(9.3.2)																																																																																																																																																				
材料名	厚さ(mm)																																																																																																																																																			
・ビーズ法®リフォーム(ノゾビ)	・押出法®リフォーム(ノゾビ)																																																																																																																																																			
・硬質ウレタンフォーム(ノゾビ)	・ポリウレタン																																																																																																																																																			
・ウレタン	・グラスウール																																																																																																																																																			
(9.3.2)																																																																																																																																																				
	防火性能																																																																																																																																																			
・																																																																																																																																																				
11.高い強度のコンクリート	<table><tr><td colspan="2">(8.9.1)(8.9.2)(8.9.4)</td></tr><tr><td>設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>)</td><td></td></tr><tr><td>・27</td><td>・30</td></tr><tr><td>・33</td><td>・36</td></tr><tr><td>適用箇所( )</td><td></td></tr><tr><td>混和材料</td><td></td></tr><tr><td>※混和剤(※高性能AE減水剤標準形又は遅延形)</td><td></td></tr></table>	(8.9.1)(8.9.2)(8.9.4)		設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )		・27	・30	・33	・36	適用箇所( )		混和材料		※混和剤(※高性能AE減水剤標準形又は遅延形)		24.モルタル及びグラウト材	<table><tr><td colspan="2">(8.2.4)</td></tr><tr><td>あと施工アンカーの材料</td><td></td></tr><tr><td>・金属系アンカー(耐震補強用)</td><td></td></tr><tr><td>※接着系アンカー</td><td></td></tr><tr><td>接着剤の品質</td><td>※有機系</td></tr><tr><td>アンカー筋の種類</td><td>※鉄筋コンクリート用棒鋼</td></tr><tr><td>カプセル型の施工による分類</td><td>・金ネジボルト</td></tr><tr><td></td><td>※回転・打撃式</td></tr><tr><td></td><td>・打込み式</td></tr></table>	(8.2.4)		あと施工アンカーの材料		・金属系アンカー(耐震補強用)		※接着系アンカー		接着剤の品質	※有機系	アンカー筋の種類	※鉄筋コンクリート用棒鋼	カプセル型の施工による分類	・金ネジボルト		※回転・打撃式		・打込み式	7.ガラス改修工事	<table><tr><td colspan="2">(9.4.2)</td></tr><tr><td>複層ガラスの厚さ</td><td>建具表による</td></tr><tr><td>断熱性・日射遮蔽性による区分</td><td>※U3-1</td></tr><tr><td></td><td>・U3-2</td></tr></table>	(9.4.2)		複層ガラスの厚さ	建具表による	断熱性・日射遮蔽性による区分	※U3-1		・U3-2	8.屋上緑化改修工事	<table><tr><td colspan="2">(9.6.1)</td></tr><tr><td>植栽基盤及び材料</td><td></td></tr><tr><td>・屋上緑化軽量システム</td><td></td></tr><tr><td>芝及び地被類の樹根並びに種類等</td><td>※図示</td></tr></table>	(9.6.1)		植栽基盤及び材料		・屋上緑化軽量システム		芝及び地被類の樹根並びに種類等	※図示	9.透水性アスファルト舗装改修工事	<table><tr><td colspan="2">(9.7.4)(表9.7.5)</td></tr><tr><td>舗装材料</td><td></td></tr><tr><td>※再生クラッシャーラン(RC-40)</td><td></td></tr><tr><td>・クラッシャーラン(C-40)又はクラッシャーランスラグ(CS-40)</td><td></td></tr><tr><td>透水性の高いものを使用する</td><td></td></tr><tr><td>遮断層及び凍上抑制層の材料</td><td></td></tr><tr><td>・遮断層</td><td>※川砂、海砂及び良質な山砂</td></tr><tr><td></td><td>厚さは図示</td></tr><tr><td>・凍上抑制層</td><td>※再生クラッシャーラン・クラッシャーラン・切り込み砂利</td></tr><tr><td></td><td>・砂</td></tr><tr><td></td><td>厚さは図示</td></tr></table>	(9.7.4)(表9.7.5)		舗装材料		※再生クラッシャーラン(RC-40)		・クラッシャーラン(C-40)又はクラッシャーランスラグ(CS-40)		透水性の高いものを使用する		遮断層及び凍上抑制層の材料		・遮断層	※川砂、海砂及び良質な山砂		厚さは図示	・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン・クラッシャーラン・切り込み砂利		・砂		厚さは図示	11	③その他	(2) 工事請負総が500万円以上の工事については、工事実績情報(工事カルテ)の登録をすること。 (ただし工事請負代金500万円以上2,500万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。) 登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に(財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。 なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。 ① 工事受注時 契約締結後10日以内 ② 登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内 ③																																																																		
(8.9.1)(8.9.2)(8.9.4)																																																																																																																																																				
設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )																																																																																																																																																				
・27	・30																																																																																																																																																			
・33	・36																																																																																																																																																			
適用箇所( )																																																																																																																																																				
混和材料																																																																																																																																																				
※混和剤(※高性能AE減水剤標準形又は遅延形)																																																																																																																																																				
(8.2.4)																																																																																																																																																				
あと施工アンカーの材料																																																																																																																																																				
・金属系アンカー(耐震補強用)																																																																																																																																																				
※接着系アンカー																																																																																																																																																				
接着剤の品質	※有機系																																																																																																																																																			
アンカー筋の種類	※鉄筋コンクリート用棒鋼																																																																																																																																																			
カプセル型の施工による分類	・金ネジボルト																																																																																																																																																			
	※回転・打撃式																																																																																																																																																			
	・打込み式																																																																																																																																																			
(9.4.2)																																																																																																																																																				
複層ガラスの厚さ	建具表による																																																																																																																																																			
断熱性・日射遮蔽性による区分	※U3-1																																																																																																																																																			
	・U3-2																																																																																																																																																			
(9.6.1)																																																																																																																																																				
植栽基盤及び材料																																																																																																																																																				
・屋上緑化軽量システム																																																																																																																																																				
芝及び地被類の樹根並びに種類等	※図示																																																																																																																																																			
(9.7.4)(表9.7.5)																																																																																																																																																				
舗装材料																																																																																																																																																				
※再生クラッシャーラン(RC-40)																																																																																																																																																				
・クラッシャーラン(C-40)又はクラッシャーランスラグ(CS-40)																																																																																																																																																				
透水性の高いものを使用する																																																																																																																																																				
遮断層及び凍上抑制層の材料																																																																																																																																																				
・遮断層	※川砂、海砂及び良質な山砂																																																																																																																																																			
	厚さは図示																																																																																																																																																			
・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン・クラッシャーラン・切り込み砂利																																																																																																																																																			
	・砂																																																																																																																																																			
	厚さは図示																																																																																																																																																			





案内図

公園内劣化部等改修工事

- ①木製ベンチ塗装工事 ベンチ\*2+テーブル : 3組  
②木製ドーナツ型ベンチ塗装工事 : 1個  
③水場解体撤去芝張り工事 : 1式  
④スチール製小パーゴラ木製床塗装工事 : 1式  
⑤休憩用パーゴラ木部及びRC円柱塗装工事  
日除け用波板ポリカ取替共 : 1式  
⑥公園内器具木部固定用ボルトキャップ取替 : 150個



①



②



③



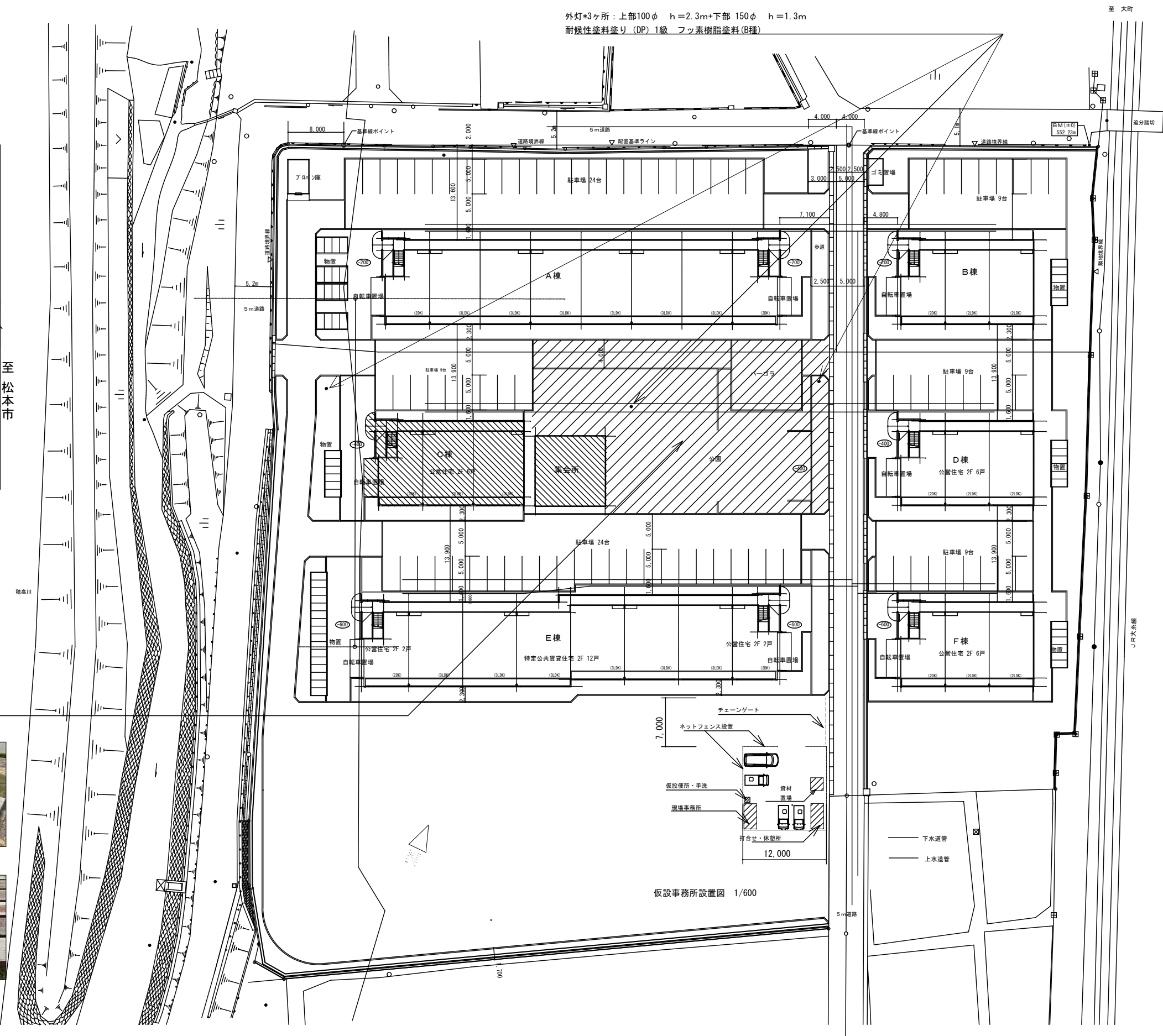
④



⑤



⑥



全体配置計画図 1/600

○200 BMからの計画レベルを示す



PR NAME

令和5年度 市営住宅追分団地 C棟・集会所外壁・屋根改修工事



DW NAME

配置・案内図（仮設事務所設置図）  
公園内劣化部等改修概要図

DATA

SCALE

1/600

DW NO.

A-06

改修外部仕上及び工事区分表（※：C棟及び集会場 共通仕様）

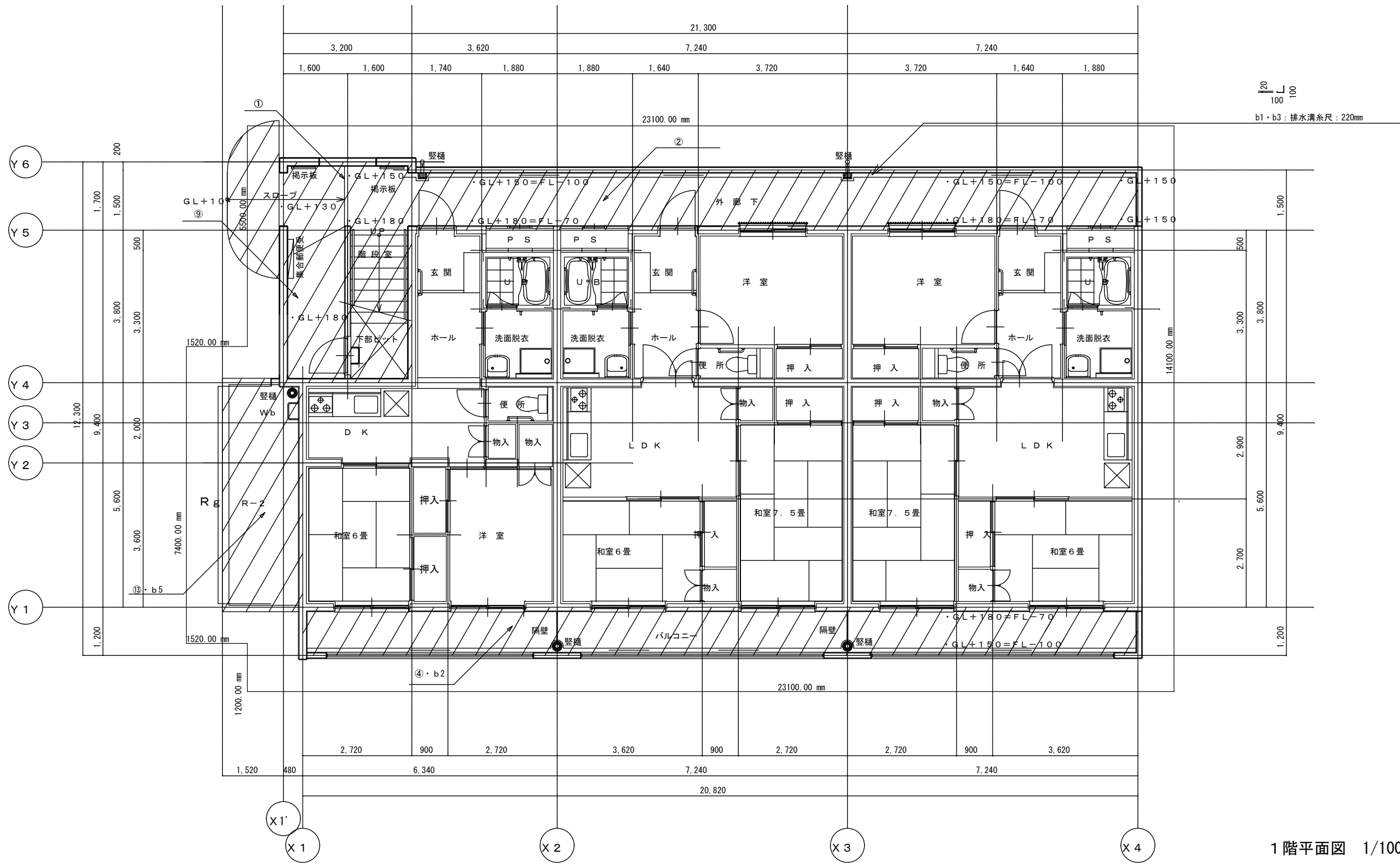
部 位	記 号	既存仕上	改修仕上（改修項目 参考・同等品）	備 考
基礎	H-1	見え掛かり：合板型枠コンクリート打放し		
※外壁	W-1	合板型枠コンクリート打放し＋複層塗材 E 一部色替え	アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材 ローラー仕上	ハーバスHP-R工法同等
	W-1 a	一部：化粧目地切 同上材色替	一部：化粧目地切 同上材色替（現況参照）	
	W1	合板型枠コンクリート打放し＋防水型複層塗材 E		
	W a	小屋裏換気孔：換気フード アルミ製 150φ 防虫網付		
	W b	ステンスタラップ		
	W c	縦 樋：ステンレス鋼管 76.3φ t=2.0 HL		
	W d	棟番号表示：ステンレス箱文字 h300×w300 HL		
※屋根	R-1	嵌合式 折版葺き 亜鉛・アルミ合金メッキ鋼板 t=0.6	低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料 ローラー仕上	クールタイムF法同等
		働き幅≒420～450、H≒53～66 裏面：ポリスチレンフォーム t=4 張り		
	R a	棟換気システム	低汚染・超耐久型ふっ素樹脂系屋根用遮熱塗料 ローラー仕上	クールタイムF法同等
	R b	雪止アングル：50×50×6 溶融亜鉛メッキ＋AS塗装	耐候性フッ素樹脂塗料 ローラー仕上	グリーンマイルド'フッソST同等
	R c	軒 樋：耐酸被覆鋼板（既製品、W=200 心材 t=0.4）	亜鉛めっき鋼面 SOP A種	
		樋受金物：ステンレス製上吊り型、既製品@420～450（屋根折版山毎）		
			雪止めバレーガード（新規設置：北側折板谷水下面のみ・特注着色仕様）C棟49ヶ所・集会場30ヶ所	※新規設置
※軒天井	C-1	合板型枠コンクリート打放し＋外装薄塗塗材 E	アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材 ローラー仕上（天井伏図記載No：①②⑦⑧）	ハーバスHP-R工法同等
			水性反応硬化形軒天専用仕上塗材 ローラー仕上（天井伏図記載No：③⑤⑥ 既存リシン吹き面）	ノキフレッシュ同等
	S d	軒裏換気孔 アルミ 平型 ステンレスメッシュ φ150		
外 廊 下	床	防塵塗床 排水溝：塗膜防水 下地：防水モルタル金鍍 t=30	特化物無配合1成分型ウレタン塗膜防水	ZHOR-200工法同等
	巾木	防塵塗床 下地：防水モルタル金鍍	特化物無配合1成分型ウレタン塗膜防水	ZHOR-200工法同等
	壁	複層塗材 E 下地：合板型枠コンクリート打放し	アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材 ローラー仕上	ハーバスHP-R工法同等
	天井	外装用薄塗塗材 E 下地：合板型枠コンクリート打放し	アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材 ローラー仕上	ハーバスHP-R工法同等
	R d	鋳鉄製横引きドレイン 75φ（塗膜防水用）		
	W d	アルミ面格子（BL認定品）シルバー		
バルコニー	床	防塵塗床 排水溝：塗膜防水 下地：防水モルタル金鍍 t=30	高粘性環境対応型ウレタン塗膜防水（既存防水層撤去共）	GOD-2V 密着工法同等
	巾木	防塵塗床 下地：防水モルタル金鍍	高粘性環境対応型ウレタン塗膜防水（既存防水層撤去共）	GOD-2V 密着工法同等
	壁	複層塗材 E 下地：合板型枠コンクリート打放し	アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材 ローラー仕上	ハーバスHP-R工法同等
	天井	外装用薄塗塗材 E 下地：合板型枠コンクリート打放し	アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材 ローラー仕上（天井伏図記載No：④）	ハーバスHP-R工法同等
			水性反応硬化形軒天専用仕上塗材 ローラー仕上（天井伏図記載No：⑨ 既存リシン吹き面）	ノキフレッシュ同等
	R e	鋳鉄製中継ドレイン 75φ（塗膜防水用）		
	B a	アルミ製手摺（BL認定同等品）シルバー		
	B b	アルミ製自在物干金物		
	B c	アルミ枠隔壁（FB t=5+EPI 避難ステッカー貼り）		
	S a	換気レジスターφ150		
	S b	エアコン用スリーブ（グラスウール充填・キャップ兼用型）		
	S c	FF用スリーブ（グラスウール充填・キャップ兼用型）		
	B d	非難ハッチ 600角 ステンレス製 梯子内蔵型（B棟のみ）		
※開口部（鉄部）	—	スチール玄関ドア（BL認定品）	亜鉛めっき鋼面 SOP A種	
	—	アルミサッシ（BL認定同等品）シルバー	ベランダ掃き出しビル用サッシ網戸戸車：取り換え 6室計24個	
自転車置場	R-2	屋 根：コンクリート同時金ゴテ押え＋露出シート防水	高粘性環境対応型ウレタン塗膜防水（既存防水層撤去共）	GOD-2V 密着工法同等
	C-1	天 井：合板型枠コンクリート打放し＋外装薄塗塗材 E	天 井：アクリルゴム系透湿型壁面防水化粧材 ローラー仕上	ハーバスHP-R工法同等
	F-3	床 ：コンクリート同時金ゴテ押え		
	R f	鋳鉄製中継ドレイン 75φ（シート防水用）		
	R g	アルミ既製防水押え笠木		
	R h	アルミ既製水切		
出入口 スロープ	—		高強度ウレタン塗膜防水 防滑仕上げ	ZHM-300工法粗面仕上同等
	—			

共通事項

- ※ 鳥除けピン（樹脂製トゲシート）取付工事：外部ベントキャップ上端面 計65カ所
- ※ 外灯取替工事（LED化） 計3カ所・軒天用通路灯一般型 計6カ所・非常灯型 計1カ所・階段非常灯型 計1カ所・出入口外灯1ヶ所
- ※ 公園内劣化部等改修工事（仕様等図面参照）
- ※ 網戸戸車交換工事 C棟24個・集会場12個

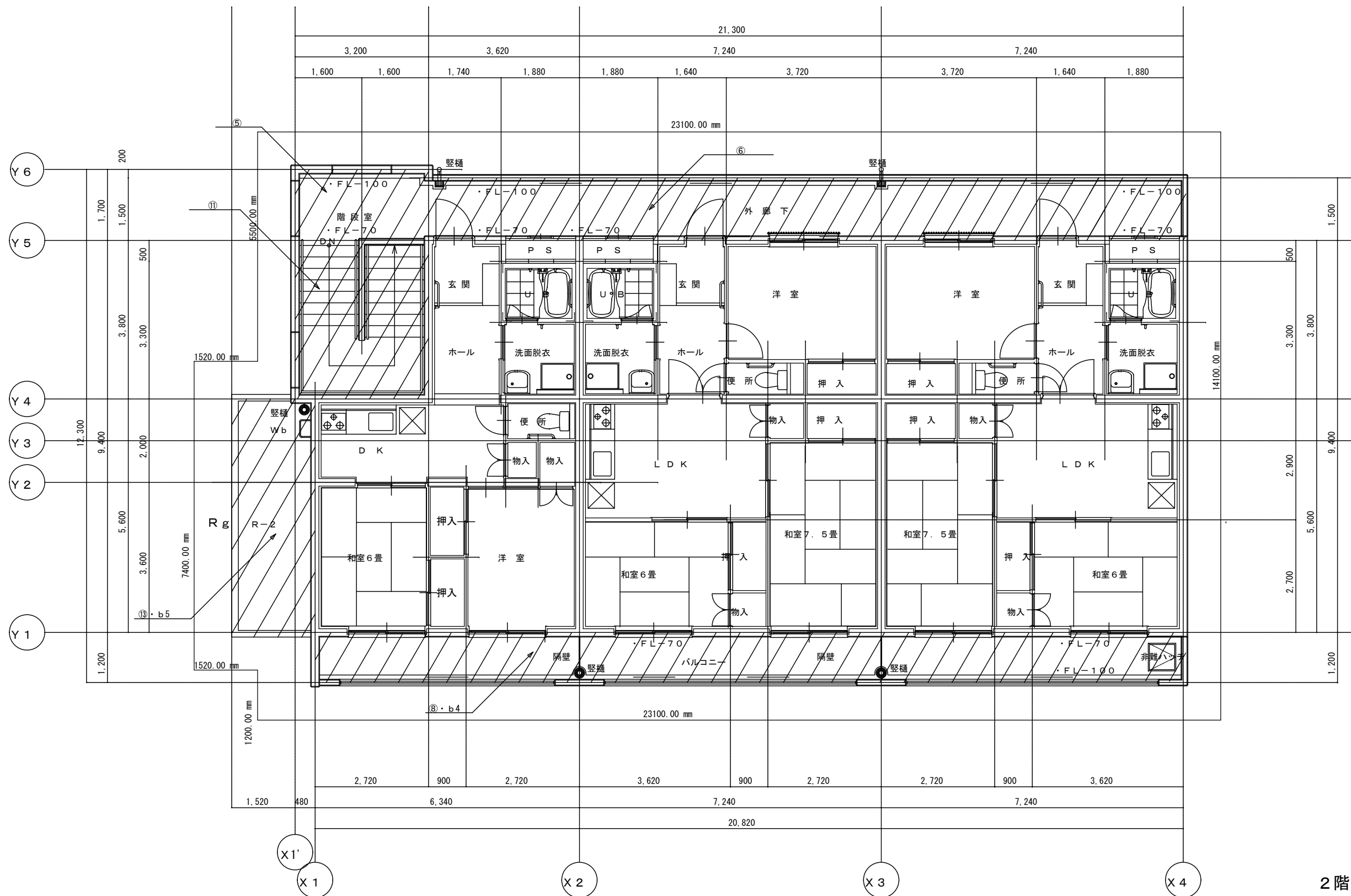
- ※ 排気用ベントキャップ防虫網取り換え工事 計13カ所
- ※ 洗浄便座取替工事 計6カ所
- ※ 隔て板塗り替え工事（文字入れ共）
- ※ /改修工事対象外項目を示す

<input type="checkbox"/> PR NAME 令和5年度 市営住宅追分団地 C棟・集会所外壁・屋根改修工事	<input type="checkbox"/> DW NAME 改修外部仕上及び工事区分表	<input type="checkbox"/> DATA	<input type="checkbox"/> SCALE	<input type="checkbox"/> DW NO. A-07	
--	---	-------------------------------	--------------------------------	---	--

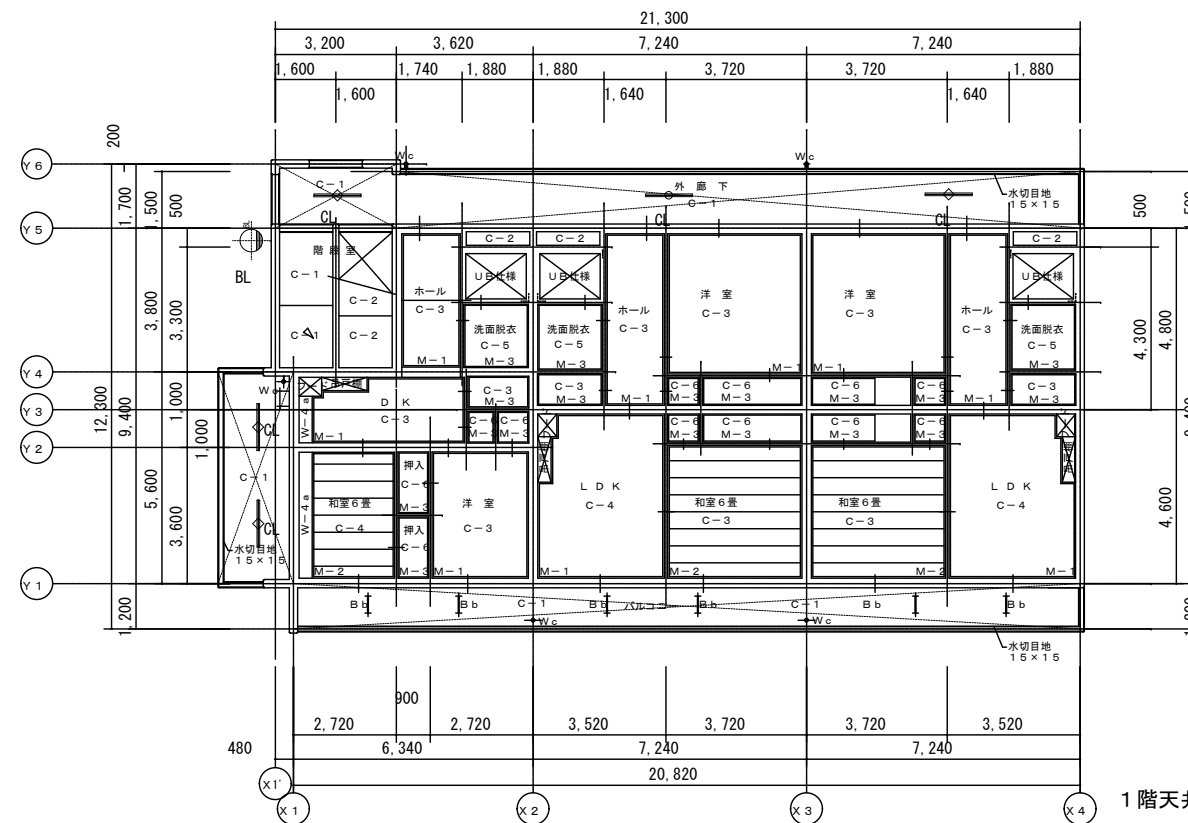
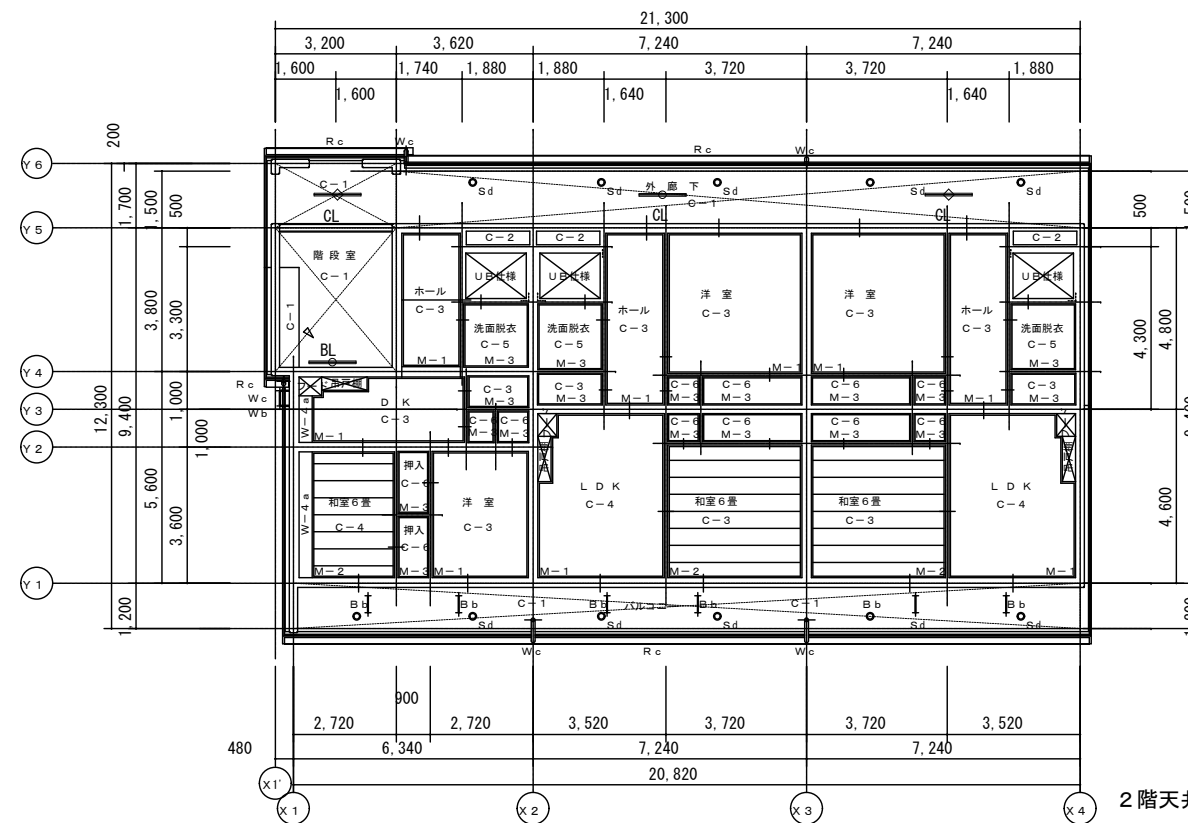
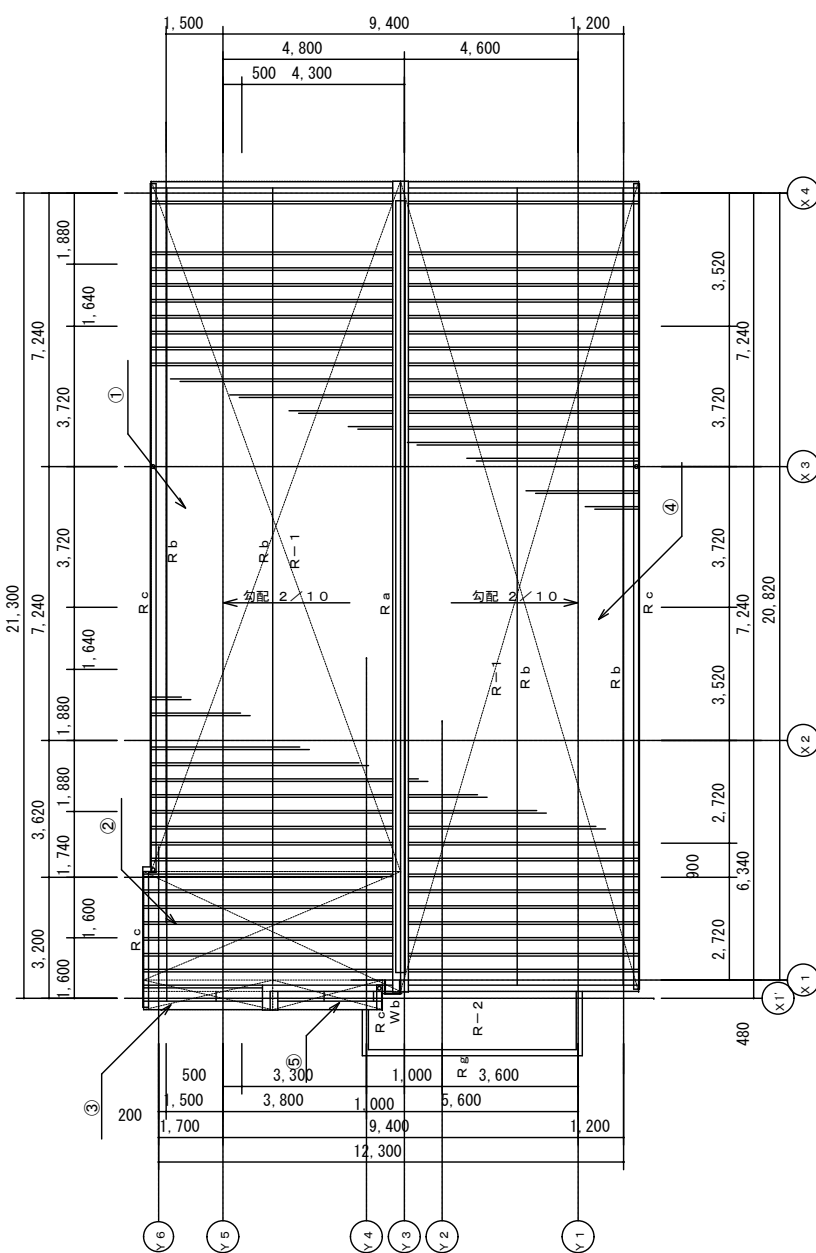


1階平面図 1/100





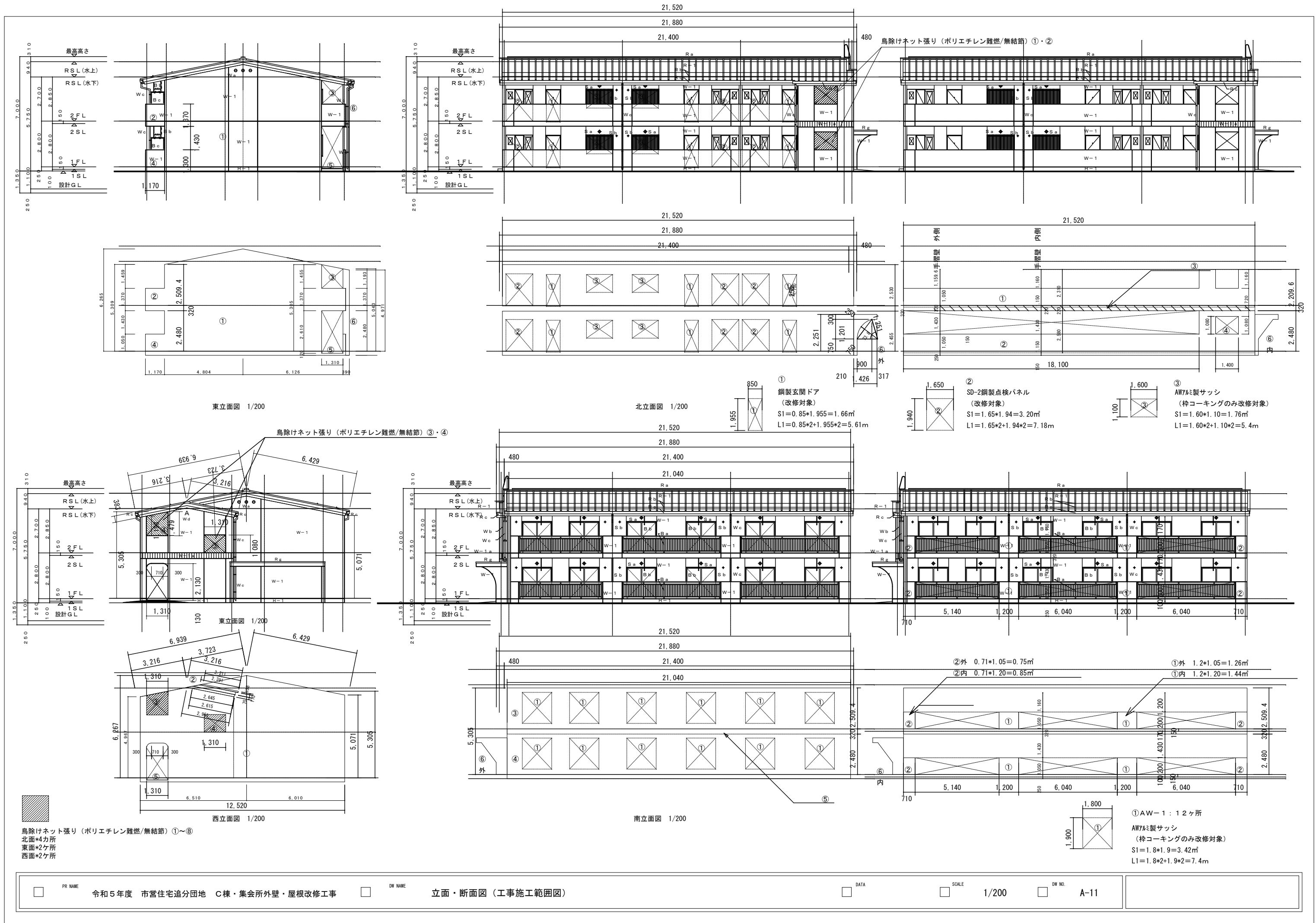
2階平面図 1/100

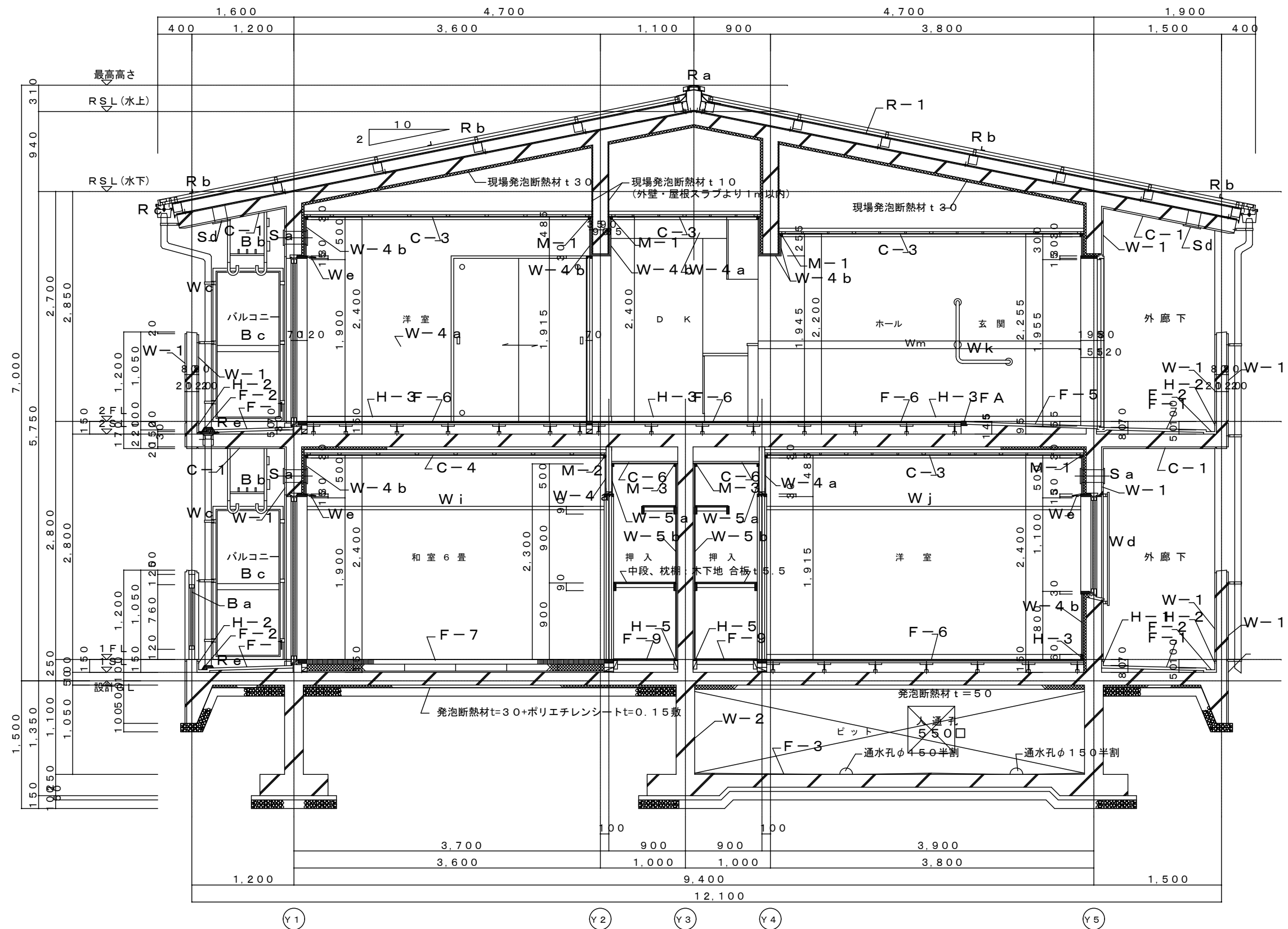


室 名	天井仕上材		天井高 (凡一床高付)	廻り縁	備 考
ホール	準不燃化粧石膏ボード	厚さ 9.5mm	2200	木製QL H=30	
D K・LDK	準不燃化粧石膏ボード	厚さ 9.5mm	2400	木製QL H=30	一部下がり壁有り
洋室	準不燃化粧石膏ボード	厚さ 9.5mm	2400	木製QL H=30	
和室6畳	準不燃化粧石膏ボード(和風)	厚さ 9.5mm		木製ワナズ H=30	一部下がり壁有り
洗面脱衣	耐水石膏ボード E P塗装	厚さ 9.5mm	2200	塩ビ製 (窓付)	一部下がり壁有り
便所	準不燃化粧石膏ボード	厚さ 9.5mm	2200	塩ビ製 (窓付)	一部下がり壁有り
物入・押入	押入用化粧石膏ボード	厚さ 9.5mm	2300	塩ビ製 (窓付)	

	天井仕上材	備 考
外廊下	コンクリート打放し 外装用薄塗	水切り目地
バルコニー	コンクリート打放し 外装用薄塗	水切り目地 物干金物
階段C-1	コンクリート打放し 外装用薄塗	
階段C-2	コンクリート打放し	
PS	コンクリート打放し	

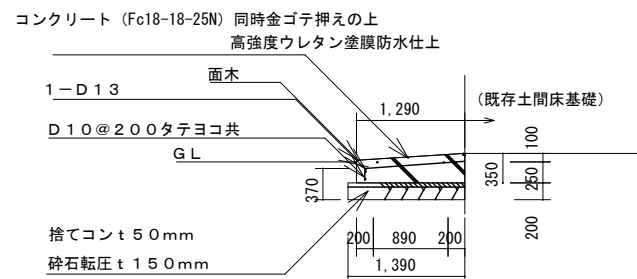
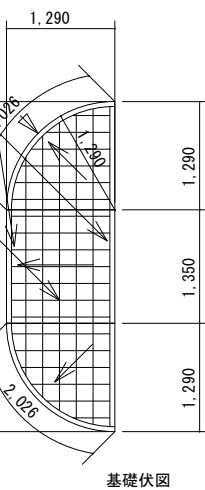
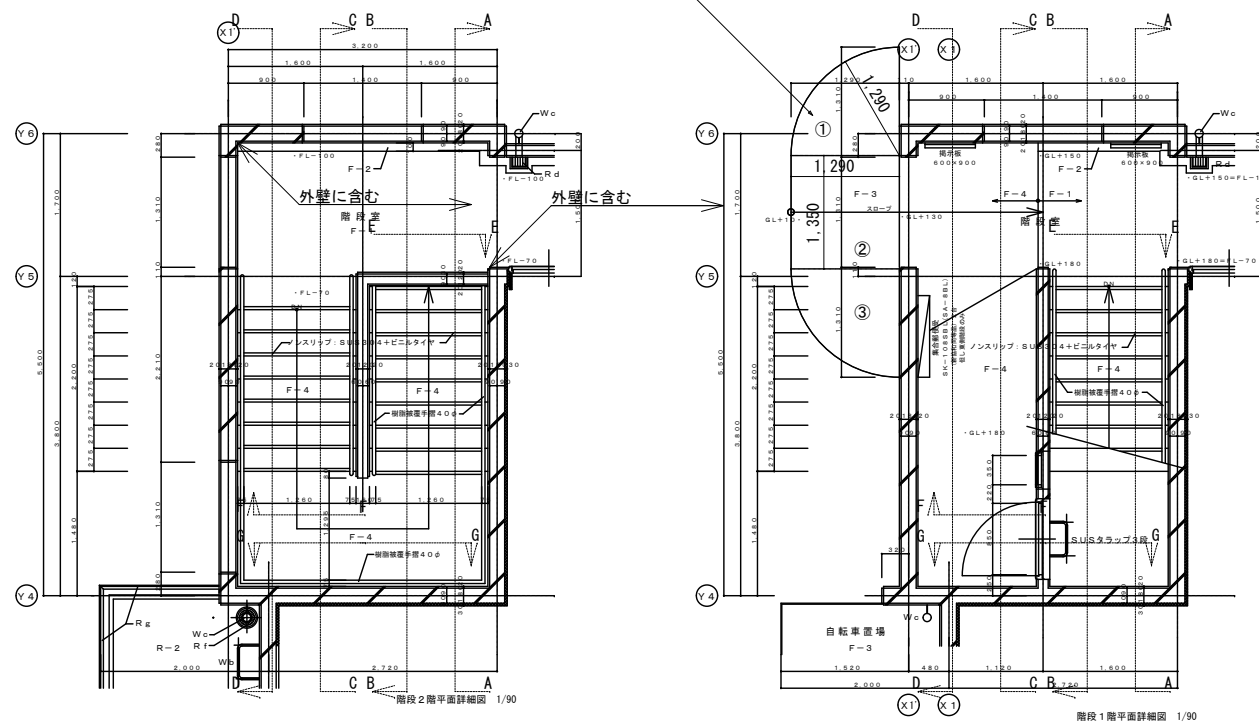
 下がり壁



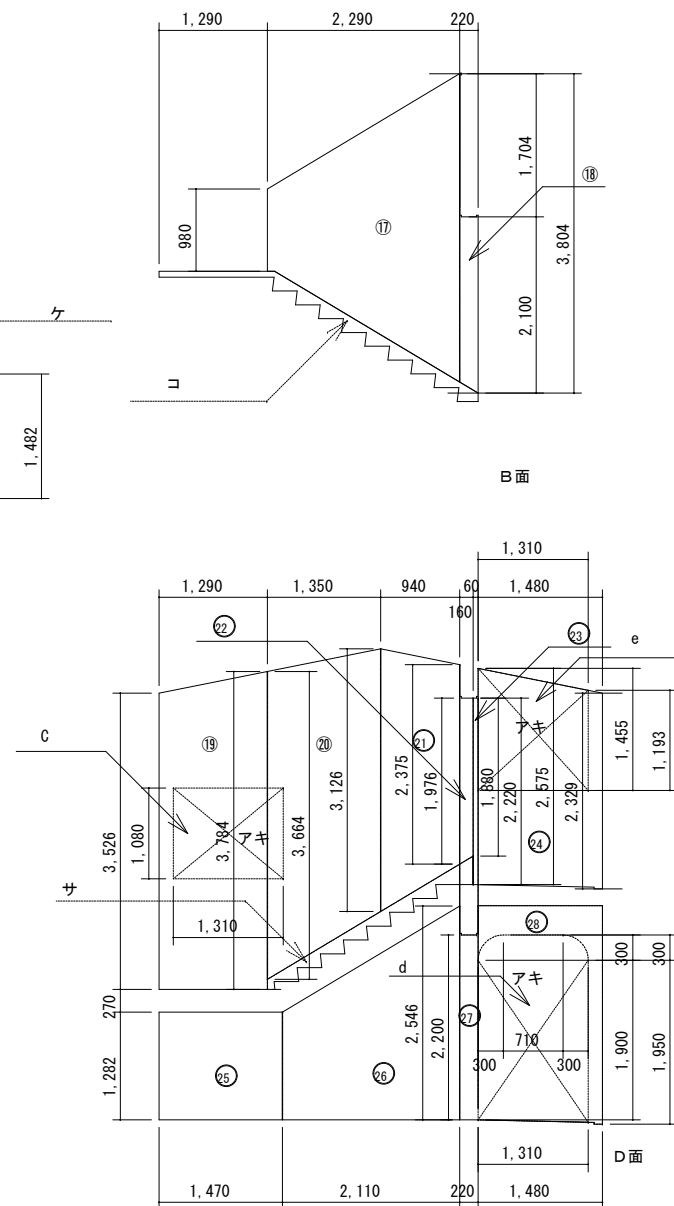
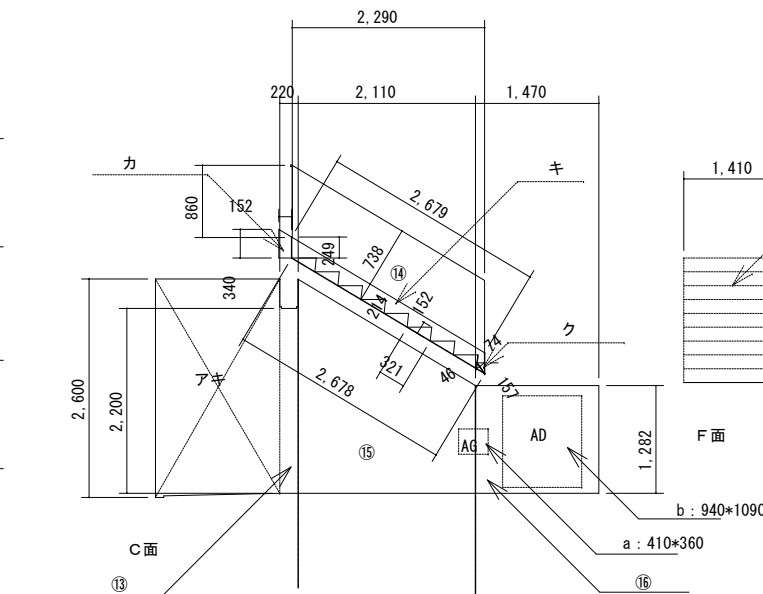


矩計図 1/50

スロープ改修工事：既存コンクリート研り撤去の上、新規コンクリートt=150打設の上、  
高耐久性防汚塗装仕上げ



出入口段差解消スロープ改修基礎図 S=1/90（建築工事）



PR NAME

令和5年度 市営住宅追分団地 C棟・集会所外壁・屋根改修工事



DW NAME

階段平面・断面図（工事施工範囲図）

DATA

SCALE

1/90

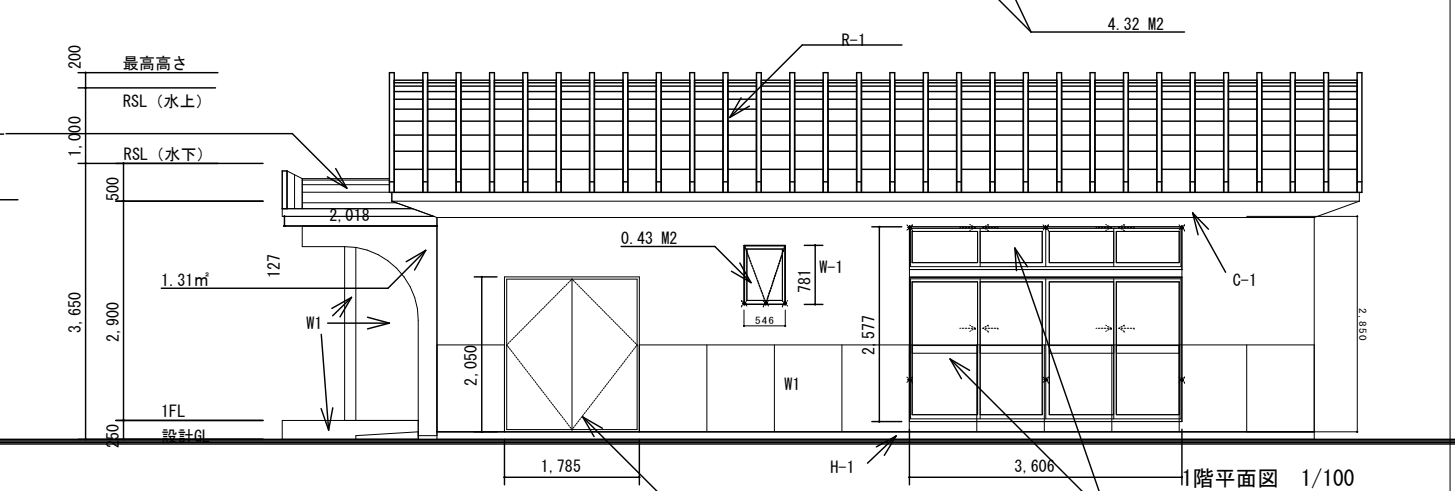
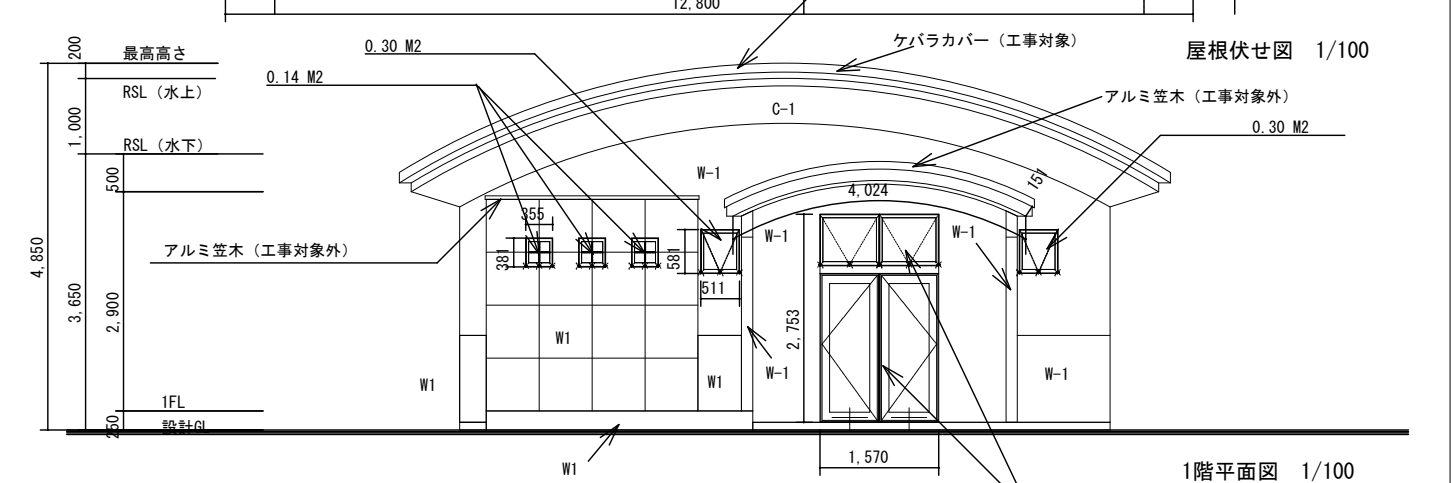
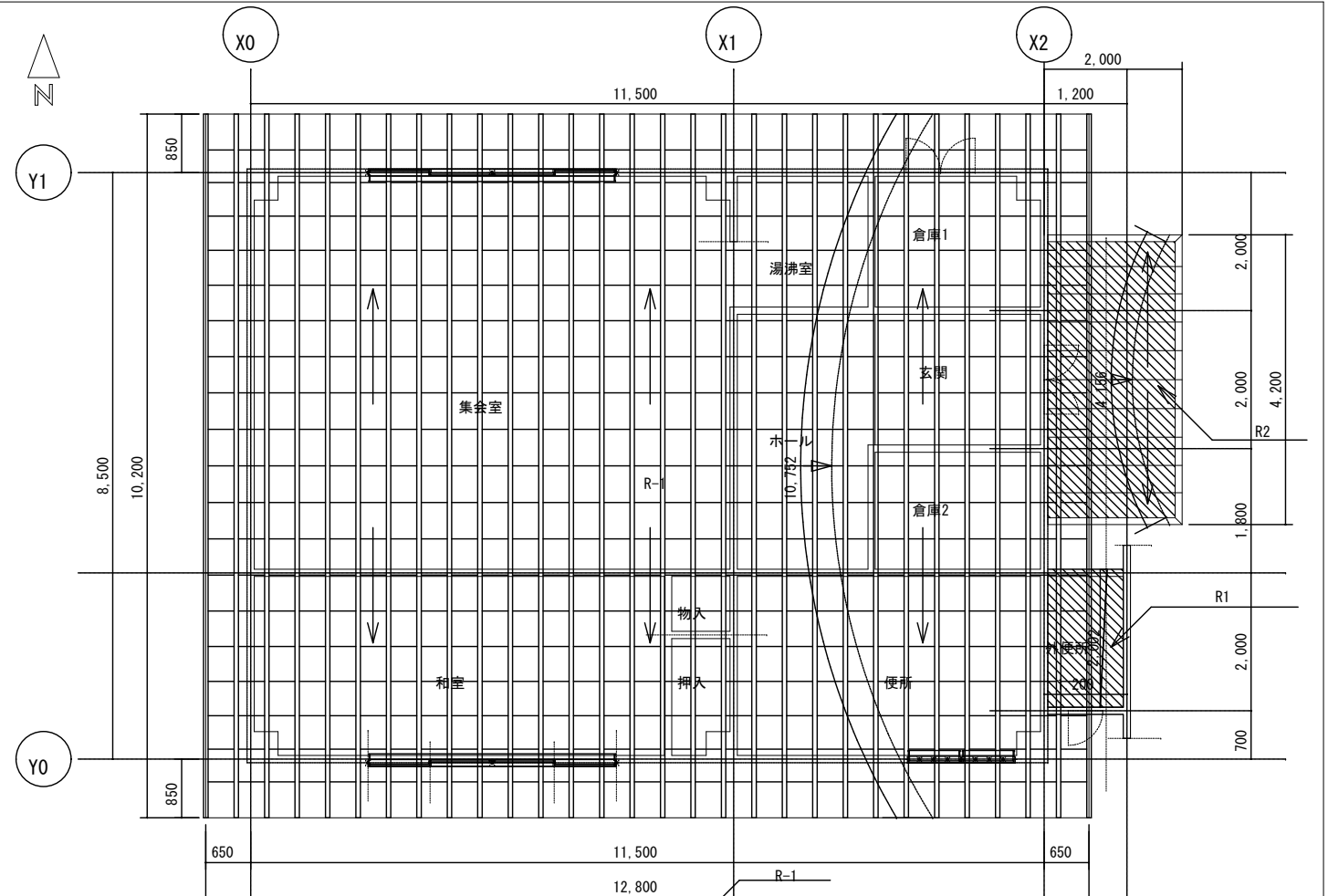
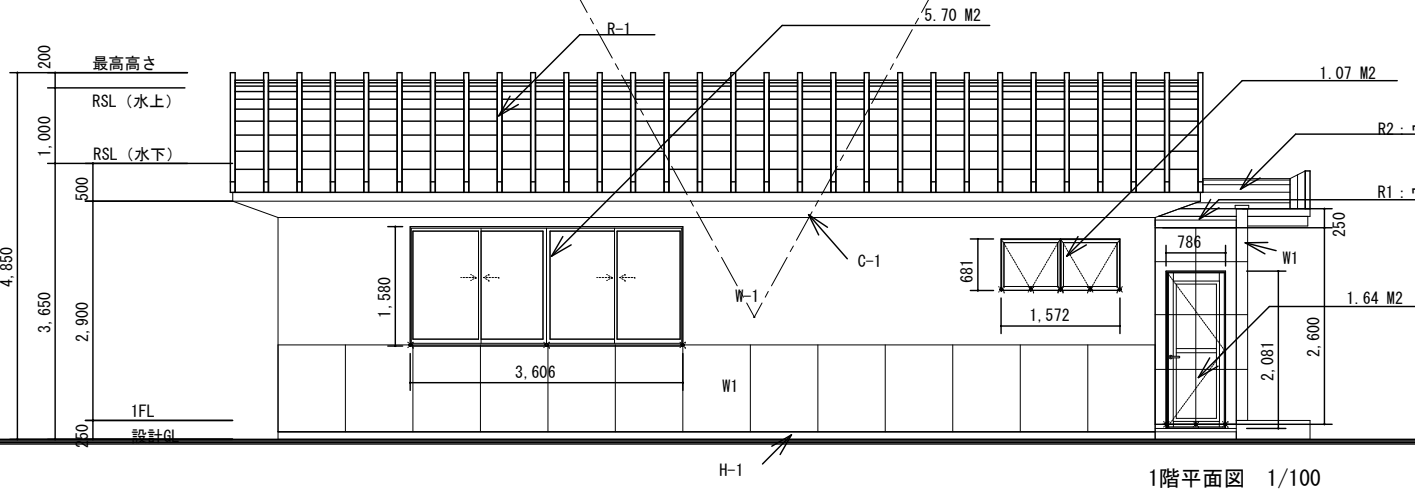
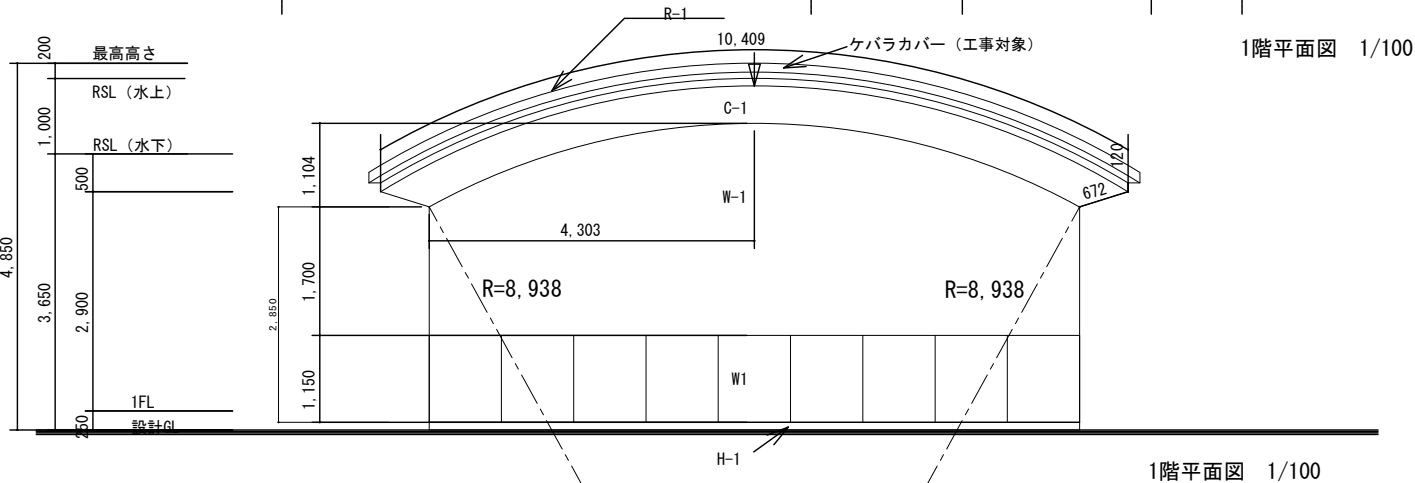
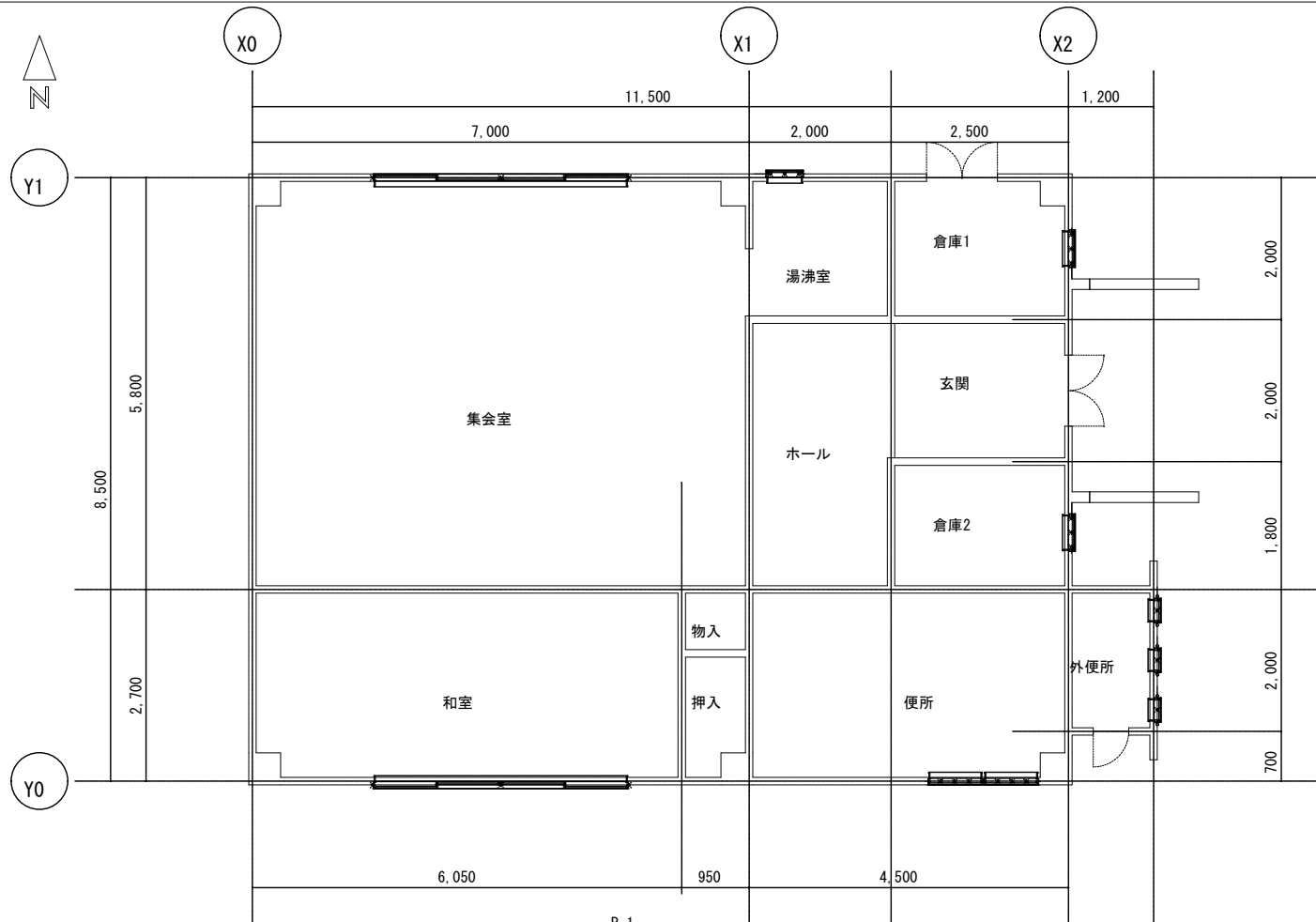
DW NO.

A-13

記号・形式		AW-1	引き違いテラス窓	AW-2	引き違いテラス窓	AW-3	引き違い窓
位置・数量		2DK	2ヶ所	3LDK	4ヶ所	3LDK	4ヶ所
形状・寸法		<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div>シーリング撤去/新設対象 変性シリコン15*10</div><div>1.900</div><div>1.800</div></div><div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div>シーリング撤去/新設対象 変性シリコン15*10</div><div>1.900</div><div>2.000</div></div><div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div>シーリング撤去/新設対象 変性シリコン15*10</div><div>1.100</div><div>800</div><div>1.800</div><div>FL</div></div></div></div></div>					
仕上枠 見込扉		アルミアルマイト シルバー仕上げ	70	アルミアルマイト シルバー仕上げ	70	アルミアルマイト シルバー仕上げ	70
		アルミアルマイト シルバー仕上げ	—	アルミアルマイト シルバー仕上げ	—	アルミアルマイト シルバー仕上げ	—
硝子		FL3+A6+FL3		FL3+A6+FL3		網入型板6.8+A6+型4	
金物		引手・戸車・クレセント(ロック機構付)		引手・戸車・クレセント(ロック機構付)		引手・戸車・クレセント(ロック機構付)	
		アルミアングル・結露受け		アルミアングル・結露受け		アルミアングル・結露受け・外部アルミ面格子	
備考		その他付属金物一式 SUS網戸付		その他付属金物一式 SUS網戸付		その他付属金物一式 SUS網戸付	

記号・形式		SD-1	片開き扉	SD-2・2'	PS点検扉	SD-3	ピット点検扉
位置・数量		各住戸玄関	6ヶ所	各住戸PS	SD-2 6ヶ所	階段室	1ヶ所
形状・寸法		<div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div>鋼製建具面 合成樹脂調合ペイント塗り SOP A種</div><div>シーリング撤去/新設対象 変性シリコン15*10</div><div>1.900</div><div>1.955</div><div>850</div><div>FL</div></div><div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div>鋼製建具面 合成樹脂調合ペイント塗り SOP A種</div><div>給気孔</div><div>シーリング撤去/新設対象 変性シリコン15*10</div><div>25</div><div>1.890</div><div>1.940</div><div>25</div><div>FL</div><div>540</div><div>10</div><div>25</div><div>500</div><div>25</div><div>540</div><div>10</div><div>1.650</div><div>※SD-2'は消火器ボックス付 及び消化器本体(3単位)共</div></div><div><div><div><div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div><div><div></div><div></div></div></div><div>鋼製建具面 合成樹脂調合ペイント塗り SOP A種</div><div>シーリング撤去/新設対象 変性シリコン15*10</div><div>1.000</div><div>45</div><div>850</div><div>FL</div></div></div></div></div>					
仕上枠 見込扉		垂鉛メッキ鋼板 t 1.6 SOP	80	垂鉛メッキ鋼板 t 1.6 SOP	30	垂鉛メッキ鋼板 t 1.6 SOP	80
		化粧鋼板 t 0.8	36	化粧鋼板 t 0.8	25	垂鉛メッキ鋼板 t 0.8 SOP	30
硝子		—		給気孔-SUSパンチングメタル		—	
金物		電気錠にレバーハンドル・サムターン取付		軸吊丁番・点検口錠・アオリ止		軸吊丁番・点検口錠・アオリ止	
		丁番・ドアチェック・ドアガード・スコープ		裏補強アングル・角パイプ・パネル開口補強			
備考		その他付属金物一式 断熱材充填 郵便受箱付		その他付属金物一式 設備機器取合い有り		その他付属金物一式 設備機器取合い有り	

①アルミ製建具：シーリング撤去/新設  
②鋼製建具：合成樹脂調合ペイント塗り  
SOP A種  
シーリング撤去/新設対象  
変性シリコン15\*10  
※ 改修外部仕上及び工事区分表 参照  
※ 集会所開口部は集会所立面図 参照



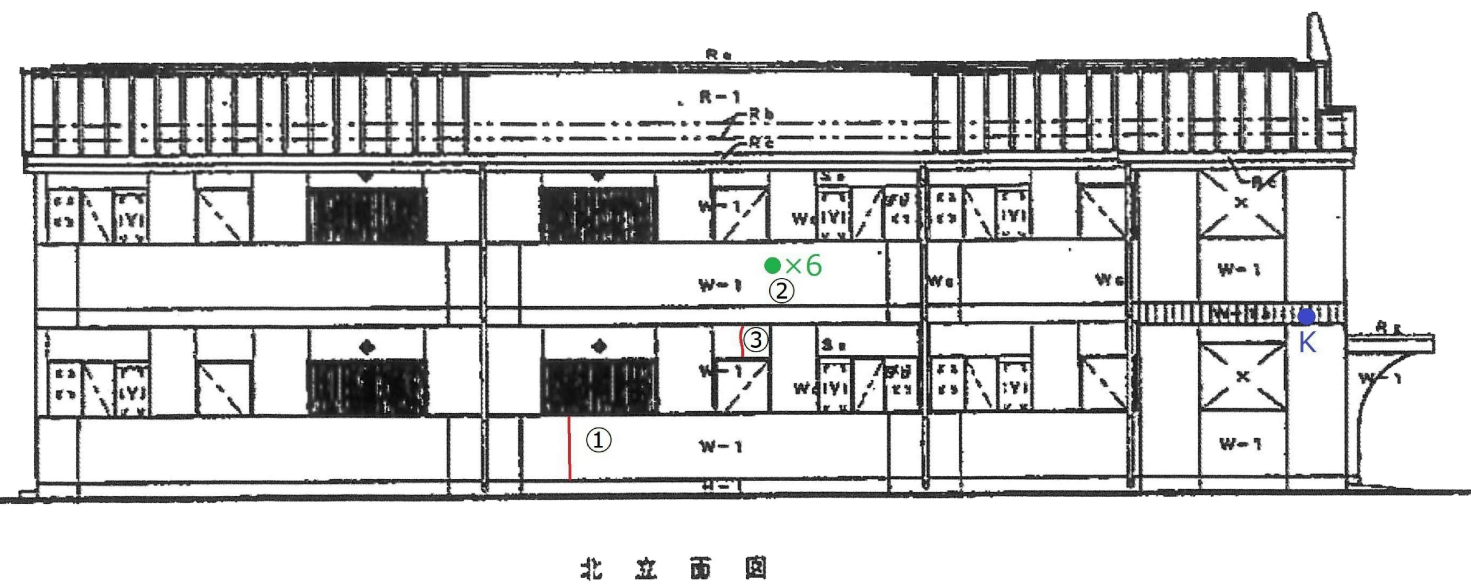
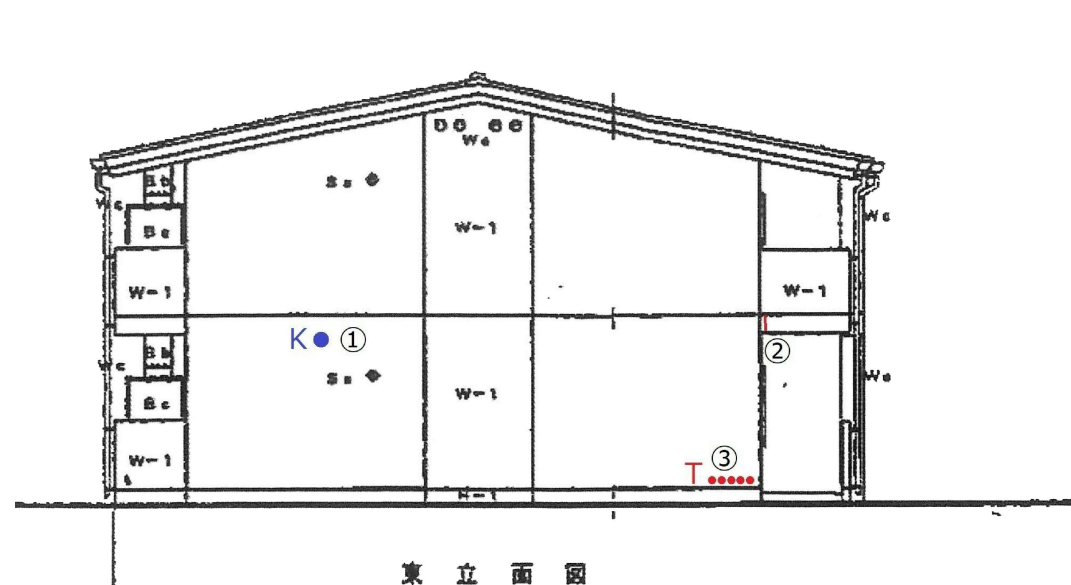
安曇野市営住宅追分団地C棟・集会所 下地補修明細

C棟							集会所							調査結果からの予想数量 (割増率20%)		
	東 面	西 面	南 面	北 面	合 計			東 面	西 面	南 面	北 面	合 計				
ひび割れ 外壁	0.2	4.0	—	1.3	5.5	m	ひび割れ	—	2.5	3.3	2.5	8.3	m	16.6	44.0	m
ひび割れ 手摺り内壁	—	—	—	5.5	5.5	m								6.6		
ひび割れ 手摺り外壁	—	—	9.3	8.1	17.4	m								20.9		
欠 損	1	3	4	7	15	箇所	欠 損	1	—	—	—	1	箇所	20.0		箇所
鉄筋腐食	5	—	—	—	5	箇所	鉄筋腐食	—	1	—	—	1	箇所	8.0		箇所
塗膜の浮き、剥がれ	—	1	4	11	16	箇所	塗膜の浮き、剥がれ	2	—	2	—	4	箇所	24.0		箇所

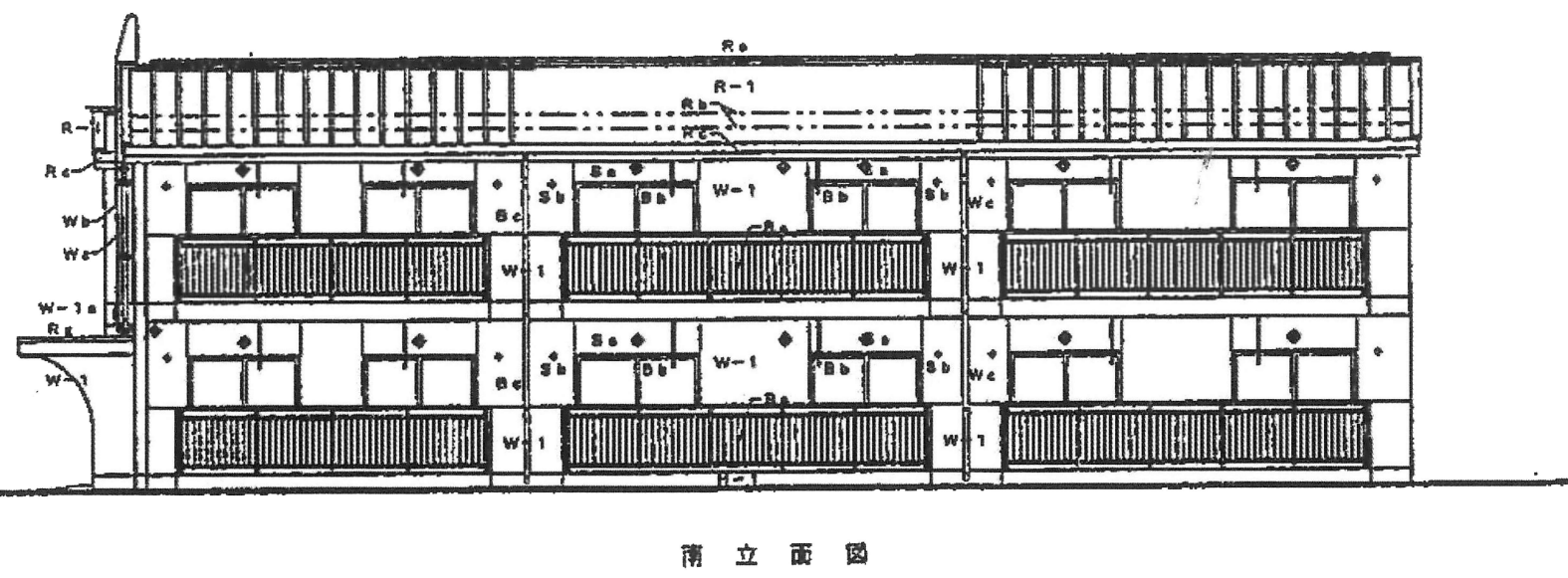
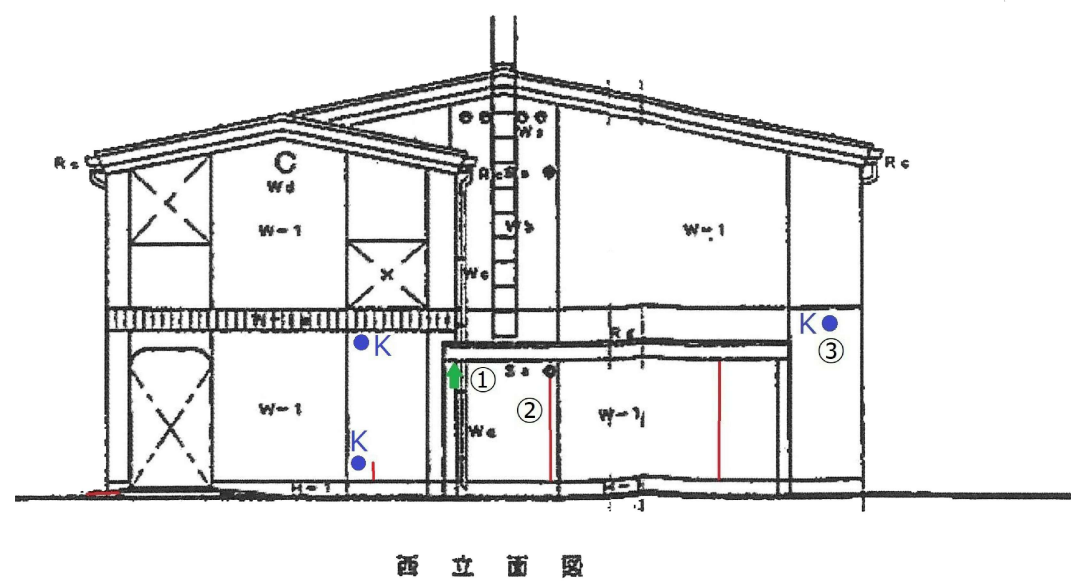


安曇野市営住宅追分団地C棟・集会所 ひび割れ部集計表

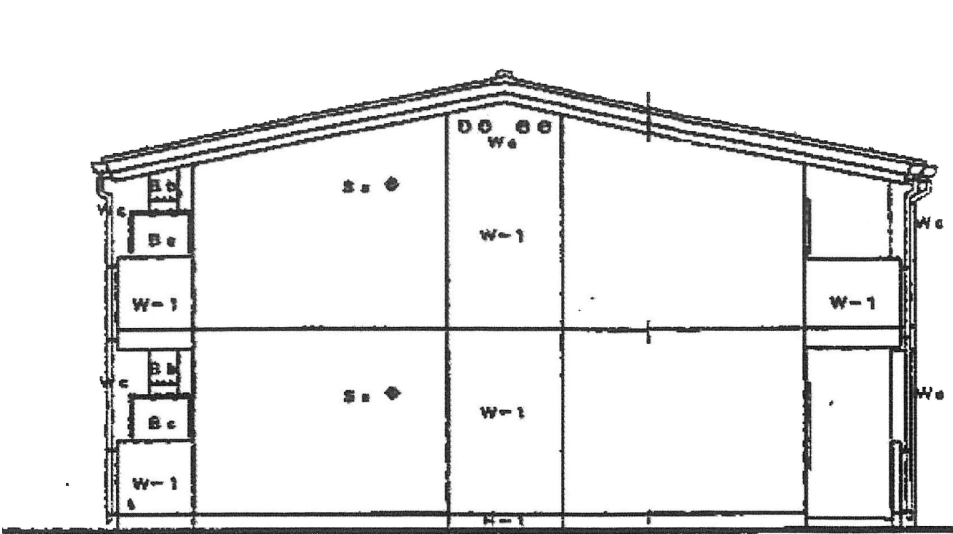
C棟																集会所									
外壁								北面手摺内側・外側								外壁									
東面	数量 (m)	西面	数量 (m)	南面	数量 (m)	北面		北面 手摺り壁 内側	数量 (m)	北面 手摺り 壁外側	数量 (m)		数量 (m)		数量 (m)	西 面	数量 (m)	南 面	数量 (m)	北 面	数量 (m)				
1F	0.2	1F	0.2 1.9 1.9	1F	0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	1F	0.5 0.8	1F	1.1 1.1 1.1 1.1	1F	1.3 1.3 1.3 1.3 1.4	2F					2.5		0.2 0.1 0.9 0.8 0.3 0.5 0.5	0.2 0.3 0.3 0.2 0.2 0.8 0.8 0.5					
				軒天	1.2 1.2 1.2 1.2					2F	1.1	2F	1.5												
				立上り	0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2																				
小計	0.2	小計	4.0	小計	9.3		1.3	小計	5.5	小計	8.1	小計	0.0	小計	0.00	小計	2.5	小計	3.3	小計	2.5	小計	0.00		
				計		14.8 (m)		計						13.6 (m)		計						8.3 (m)			
								合計						28.4 (m)		合計				21.9 (m)					
								総 計		割増率20%				34.1 (m)		総 計		割増率20%		26.3 (m)					
								総 合 計		60.4 (m)															



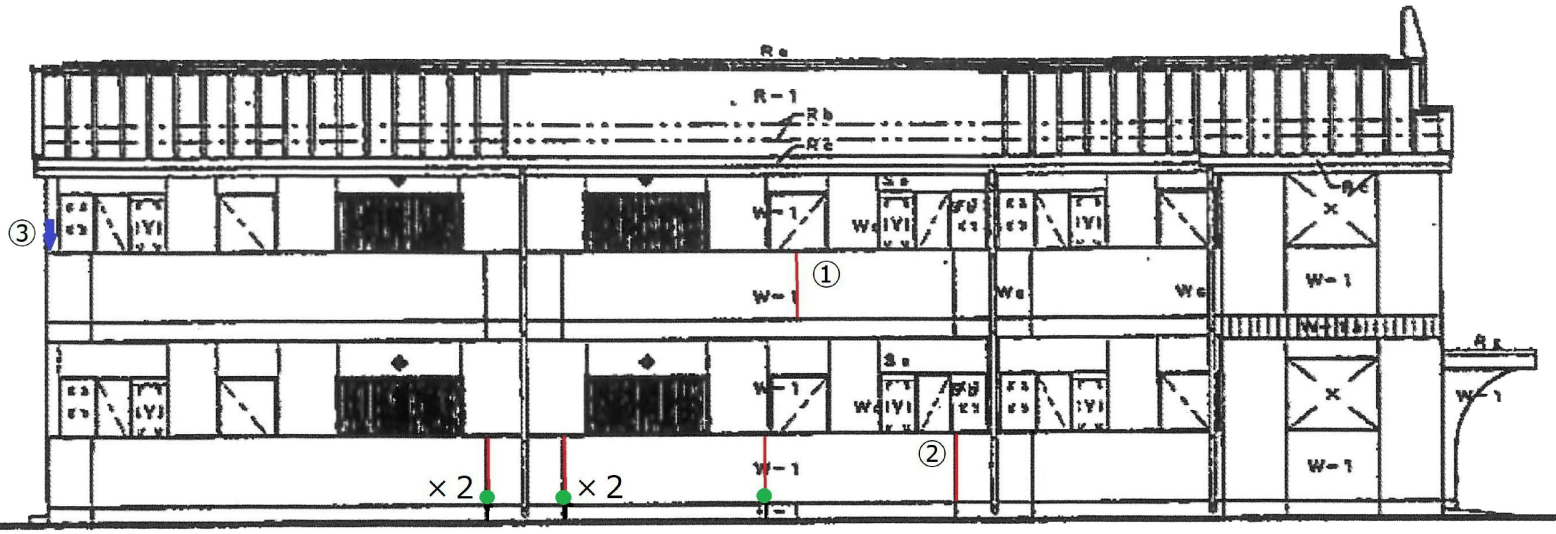
凡 例	
	ひび割れ発生部
	欠損部
	内部鉄筋爆裂部
	塗膜剥離部
①	写真 No.





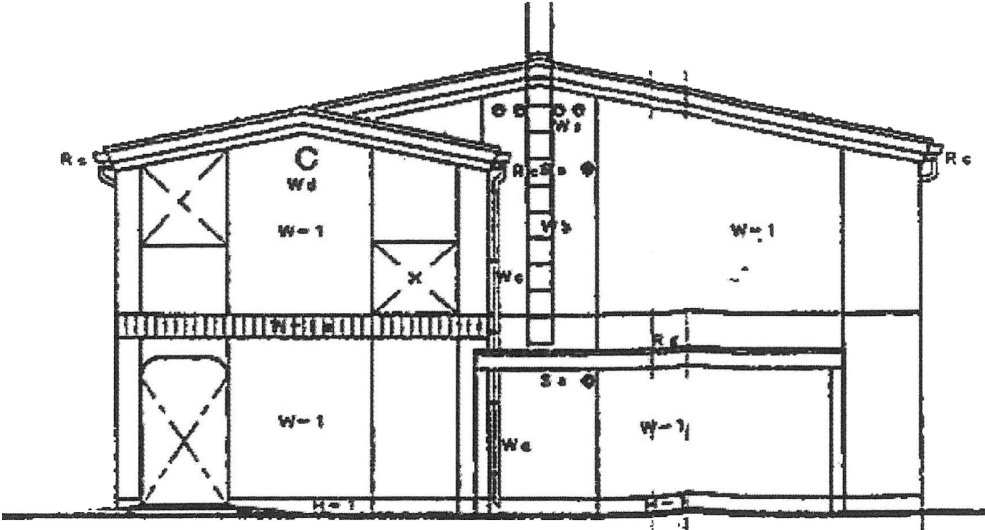


東立面図

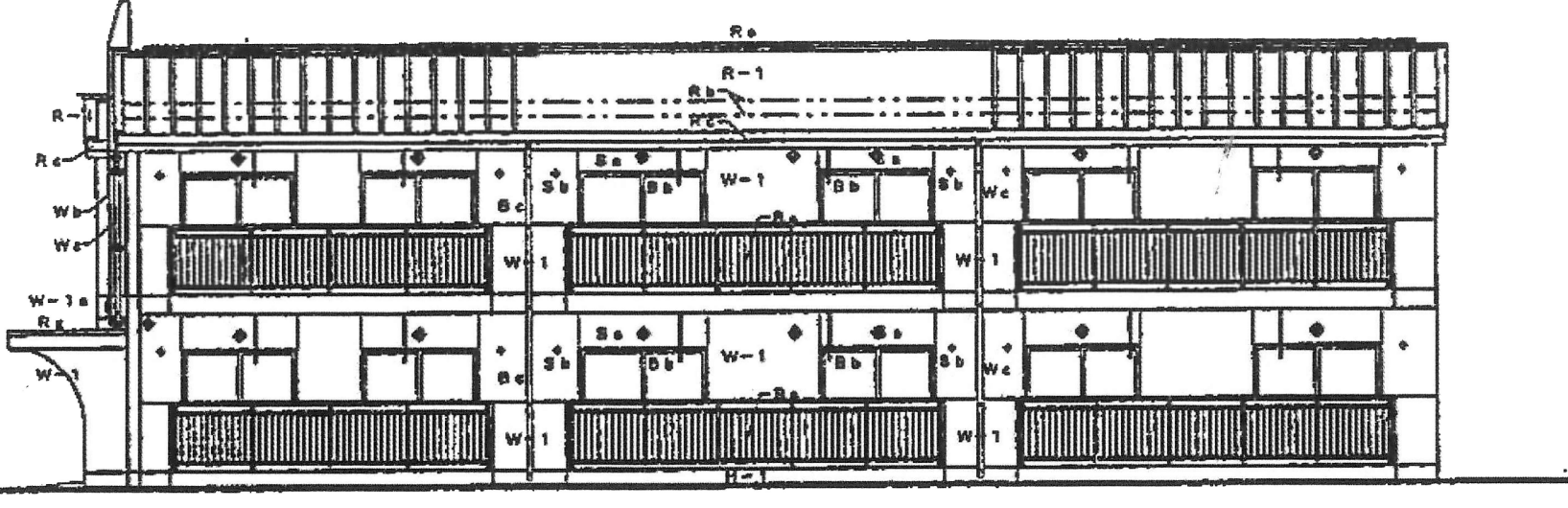


北立面図

凡 例	
	ひび割れ発生部
	欠損部
	内部鉄筋爆裂部
	塗膜剥離部
	写真 No.

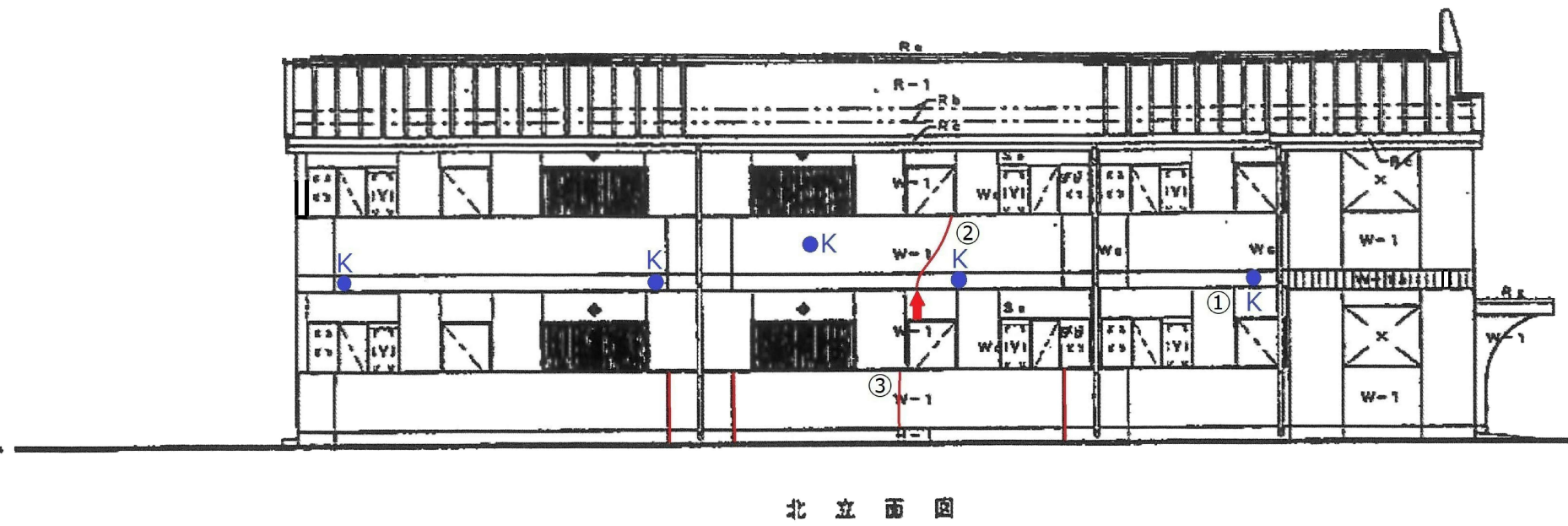
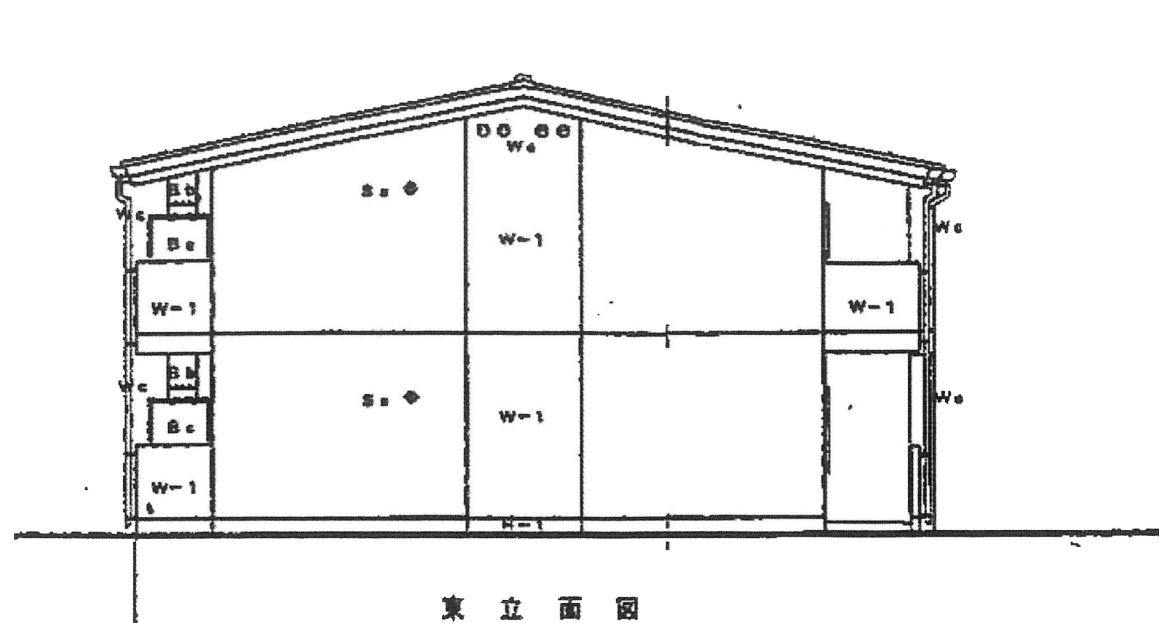


西立面図

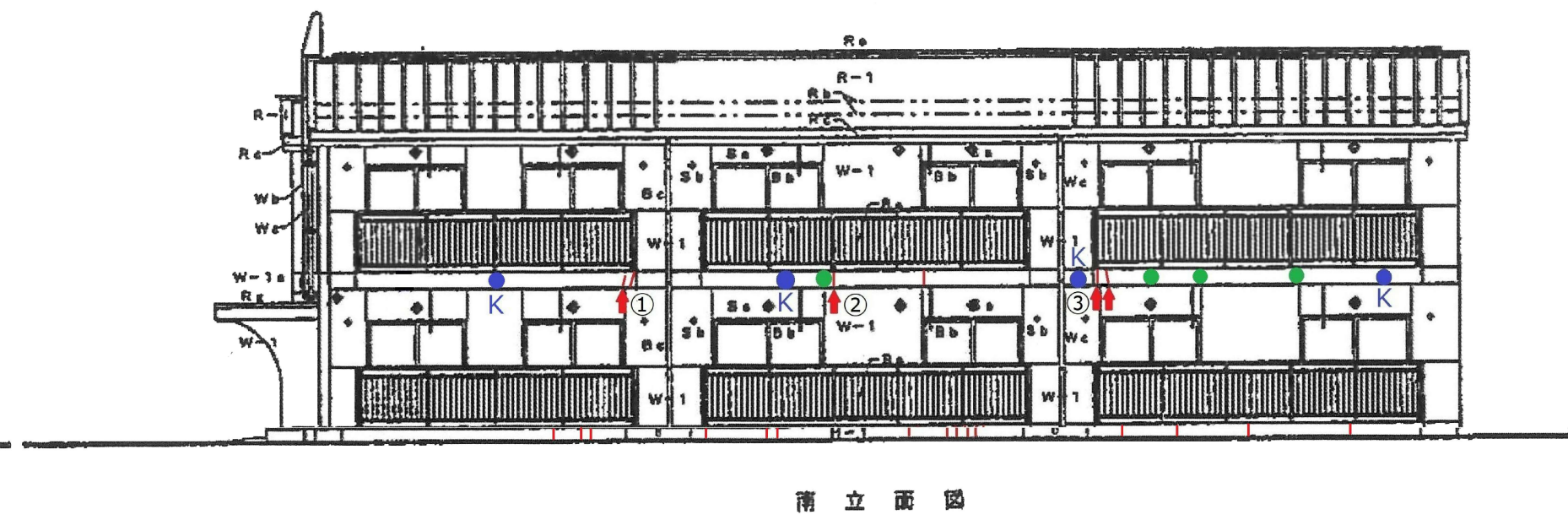
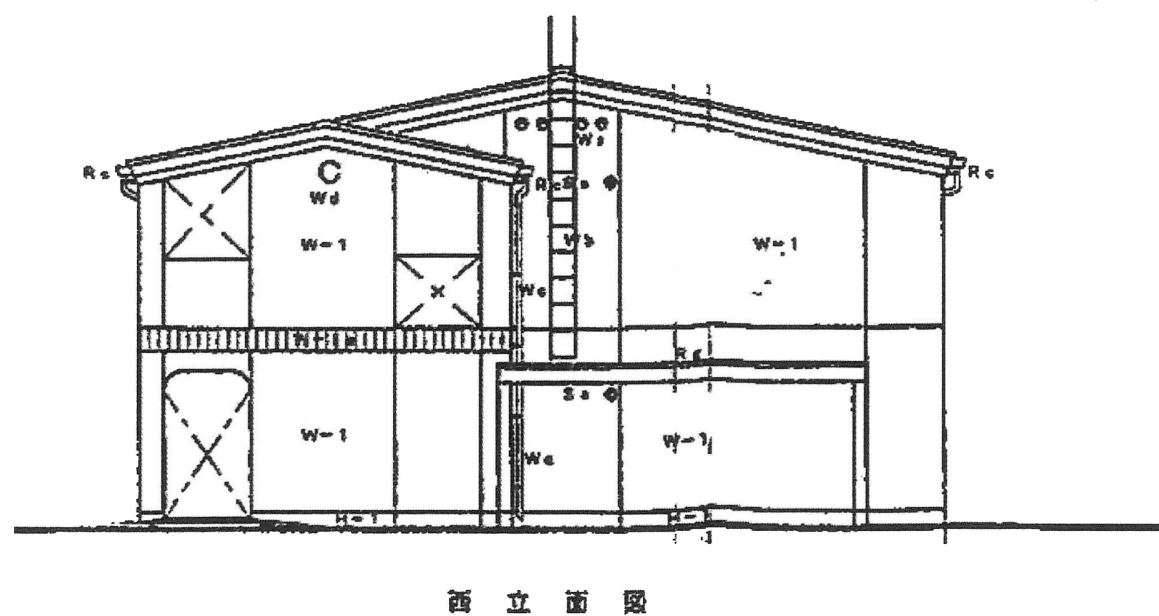


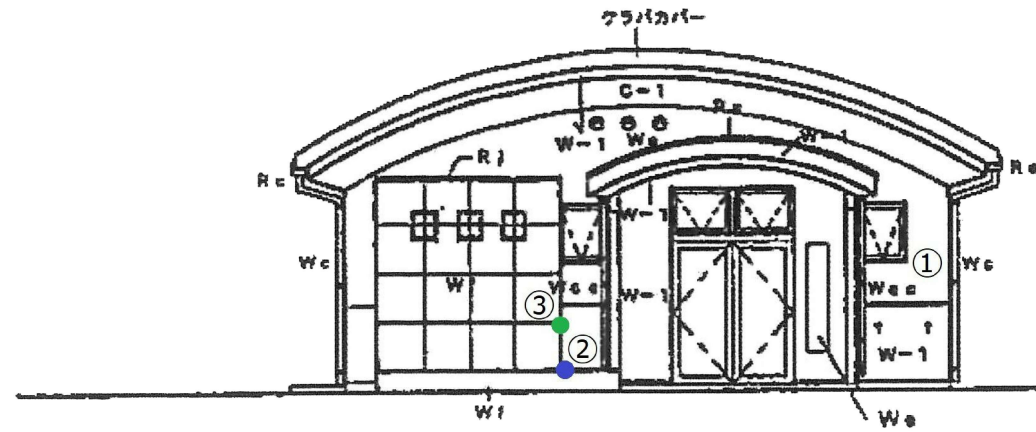
南立面図



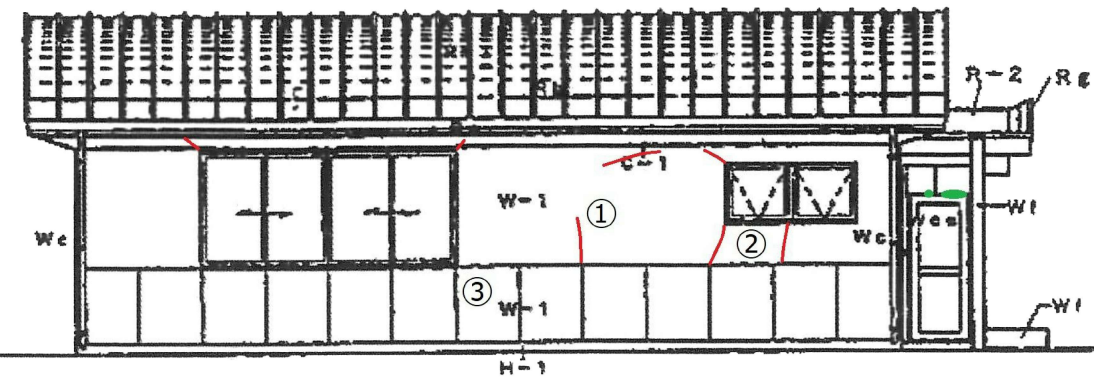


凡 例	
	ひび割れ発生部
	欠損部
	内部鉄筋爆裂部
	塗膜剥離部
①	写真 No.



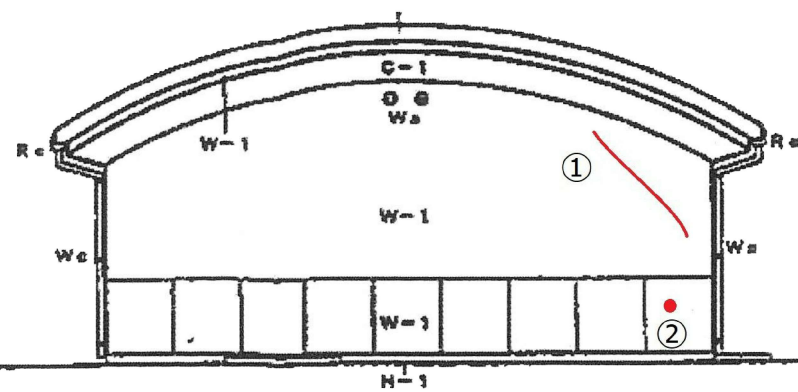


東立面図 1:100

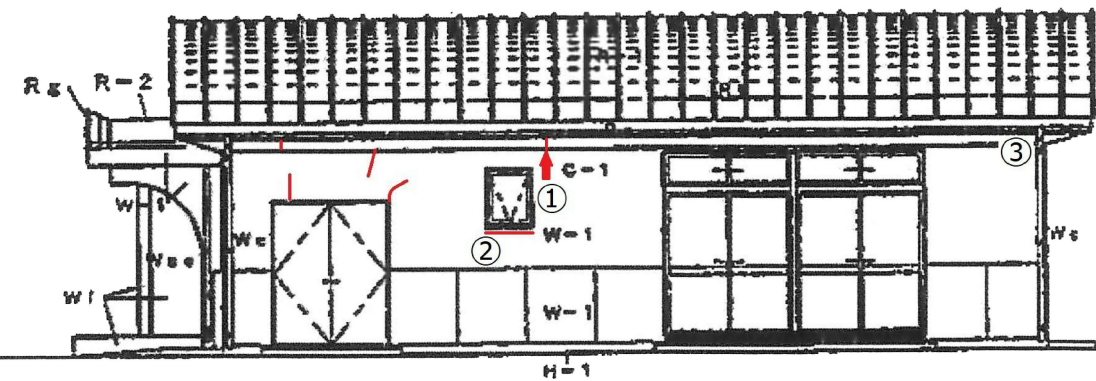


南立面図 1:100

凡 例	
	ひび割れ発生部
	欠損部
	内部鉄筋爆裂部
	塗膜剥離部
	写真 No.

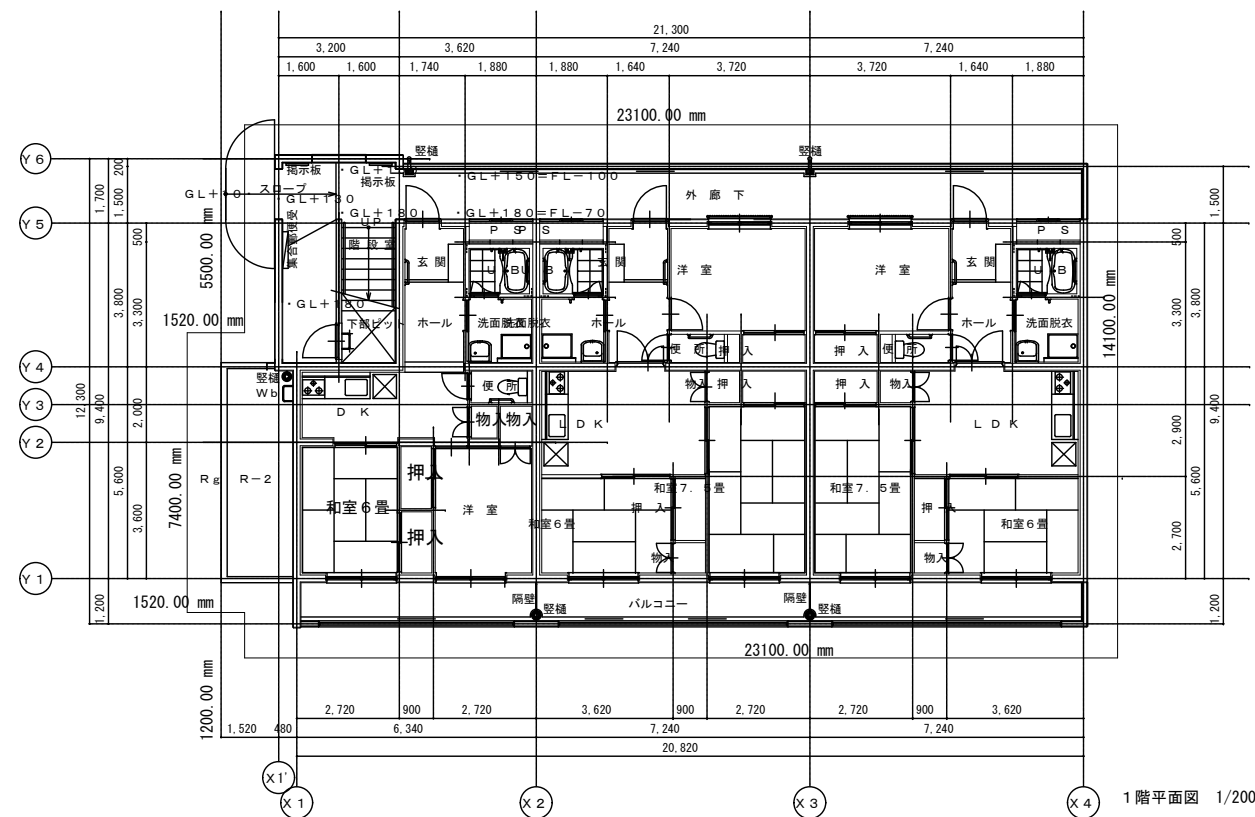
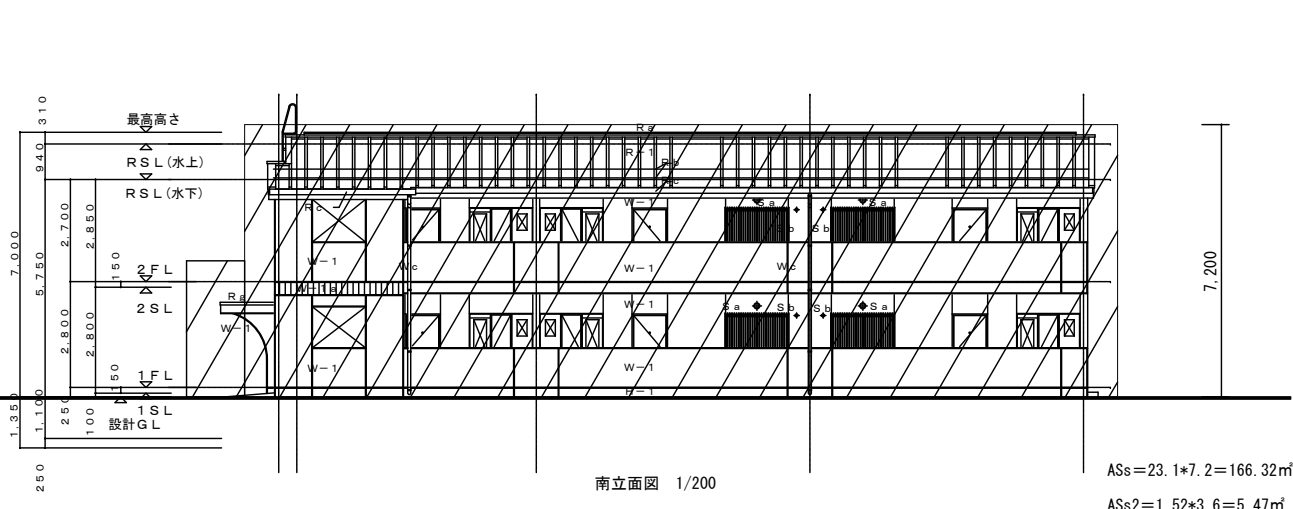
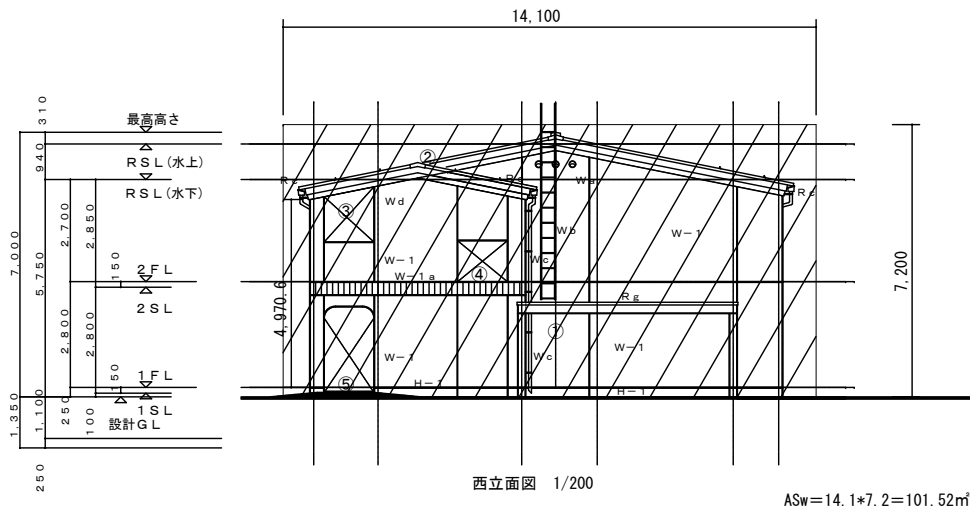
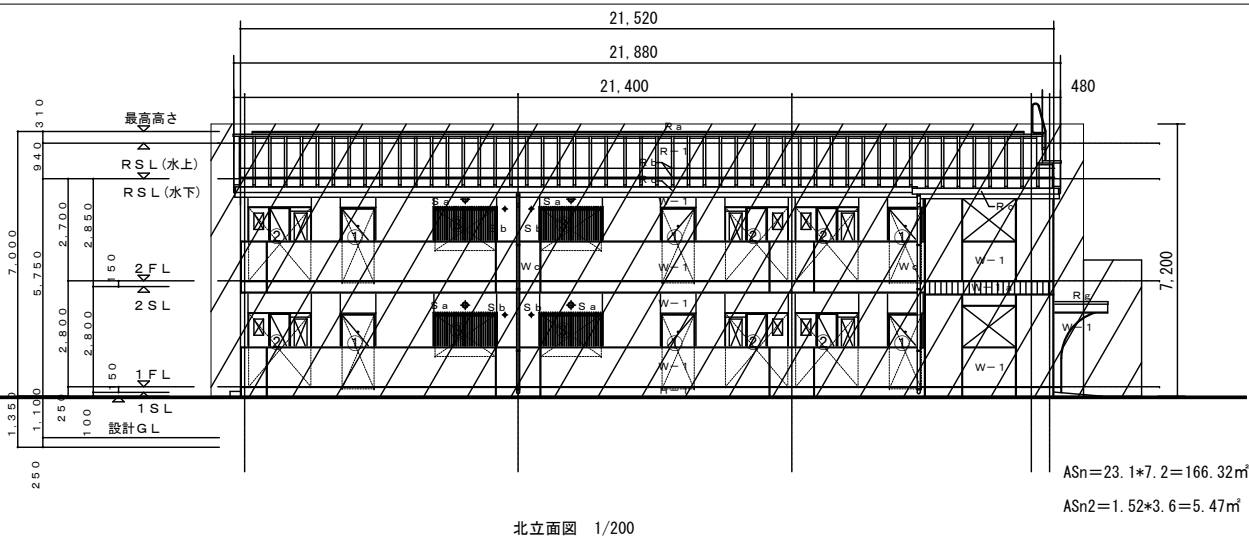
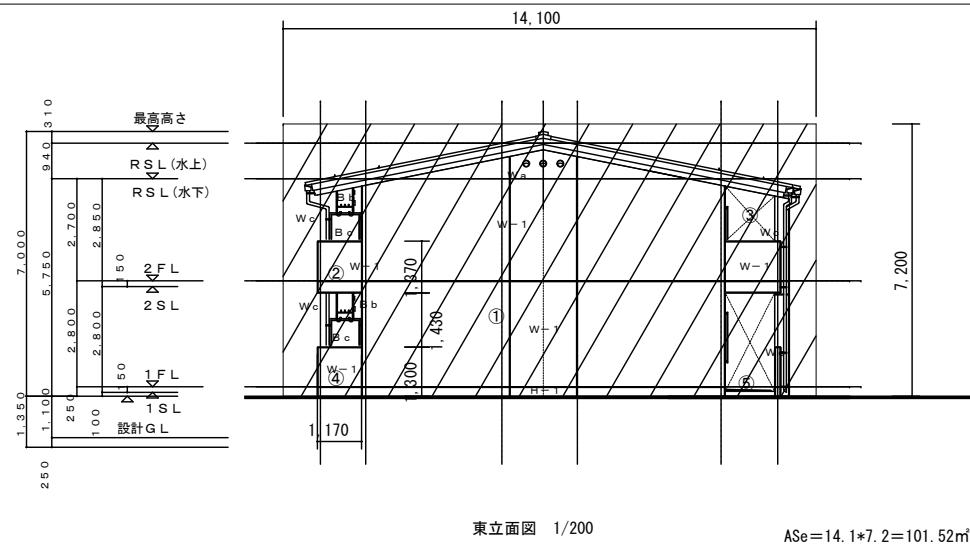


西立面図 1:100



北立面図 1:100





令和5年度 市営住宅追分団地 C棟・集会所外壁・屋根改修工事



足場養生図 (C棟)



DATA



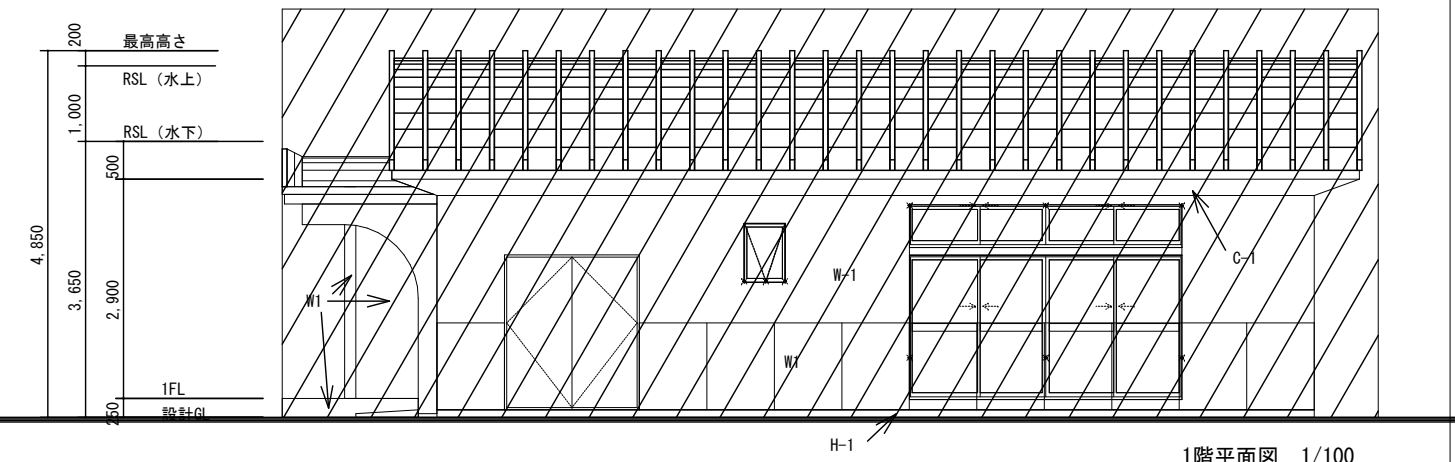
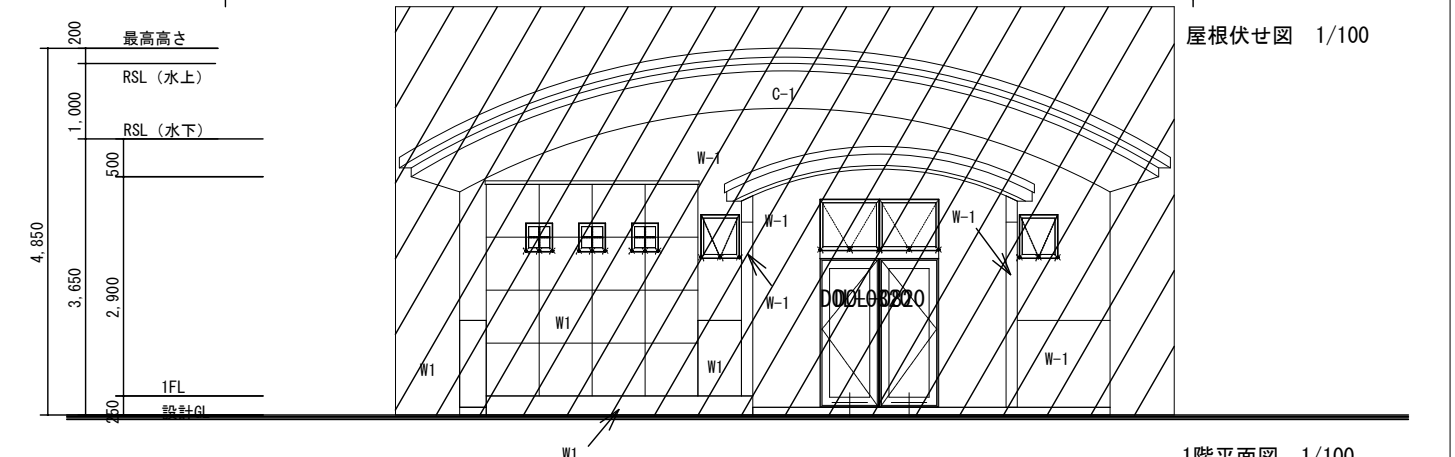
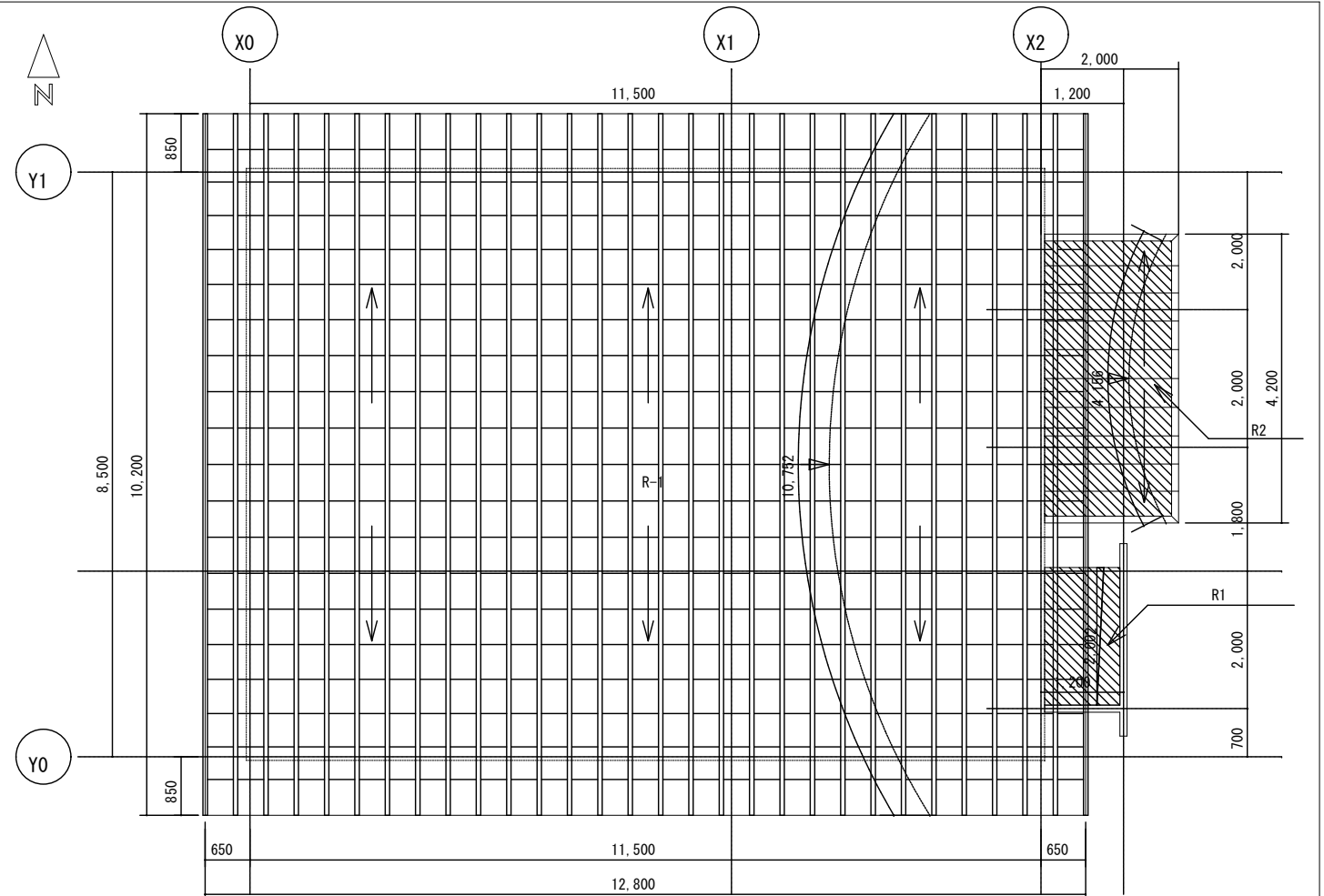
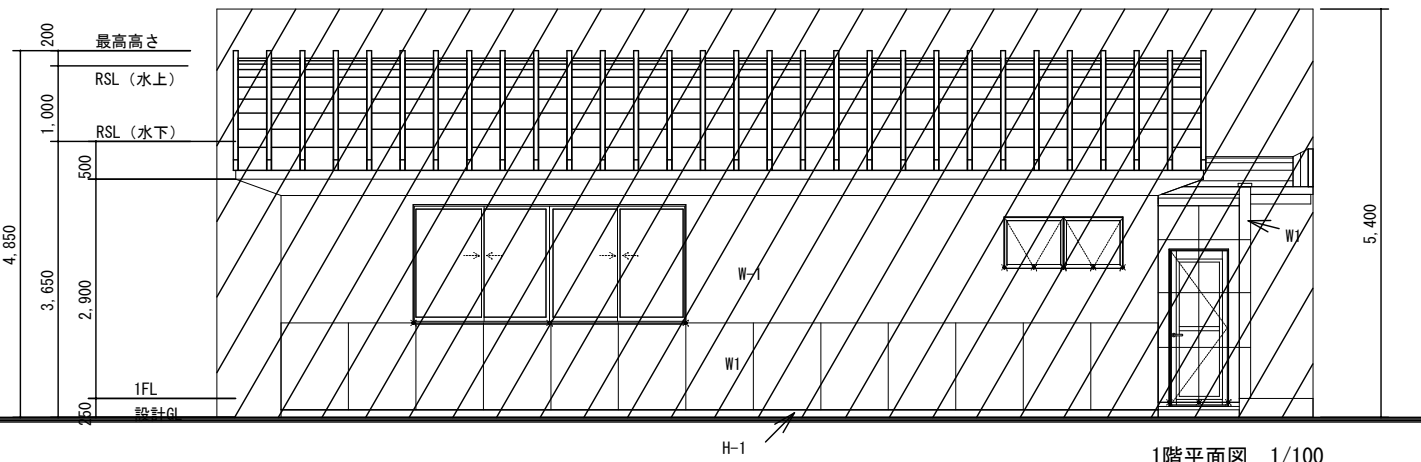
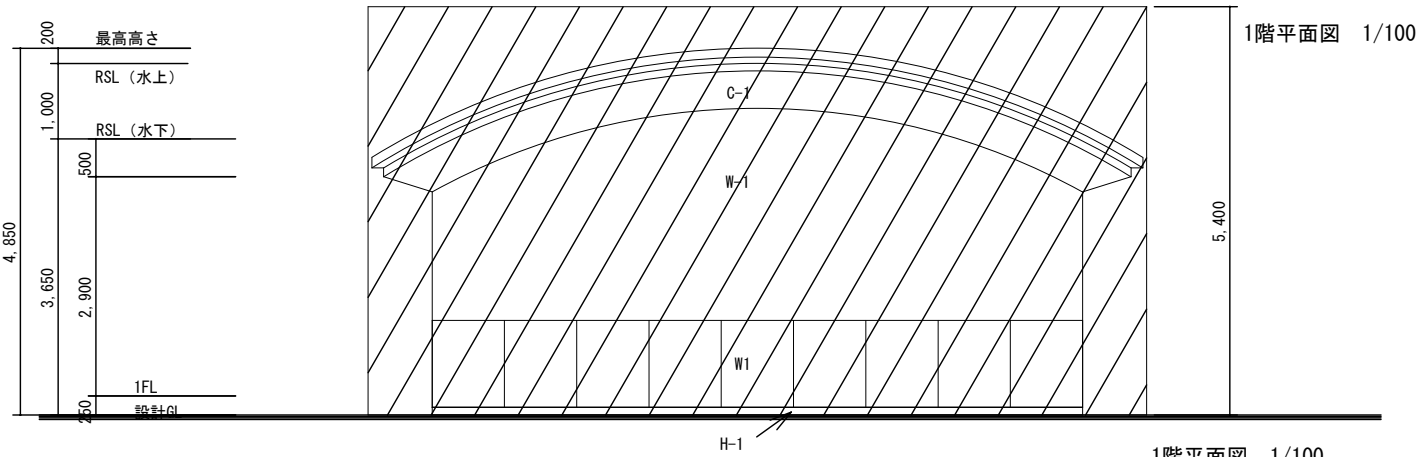
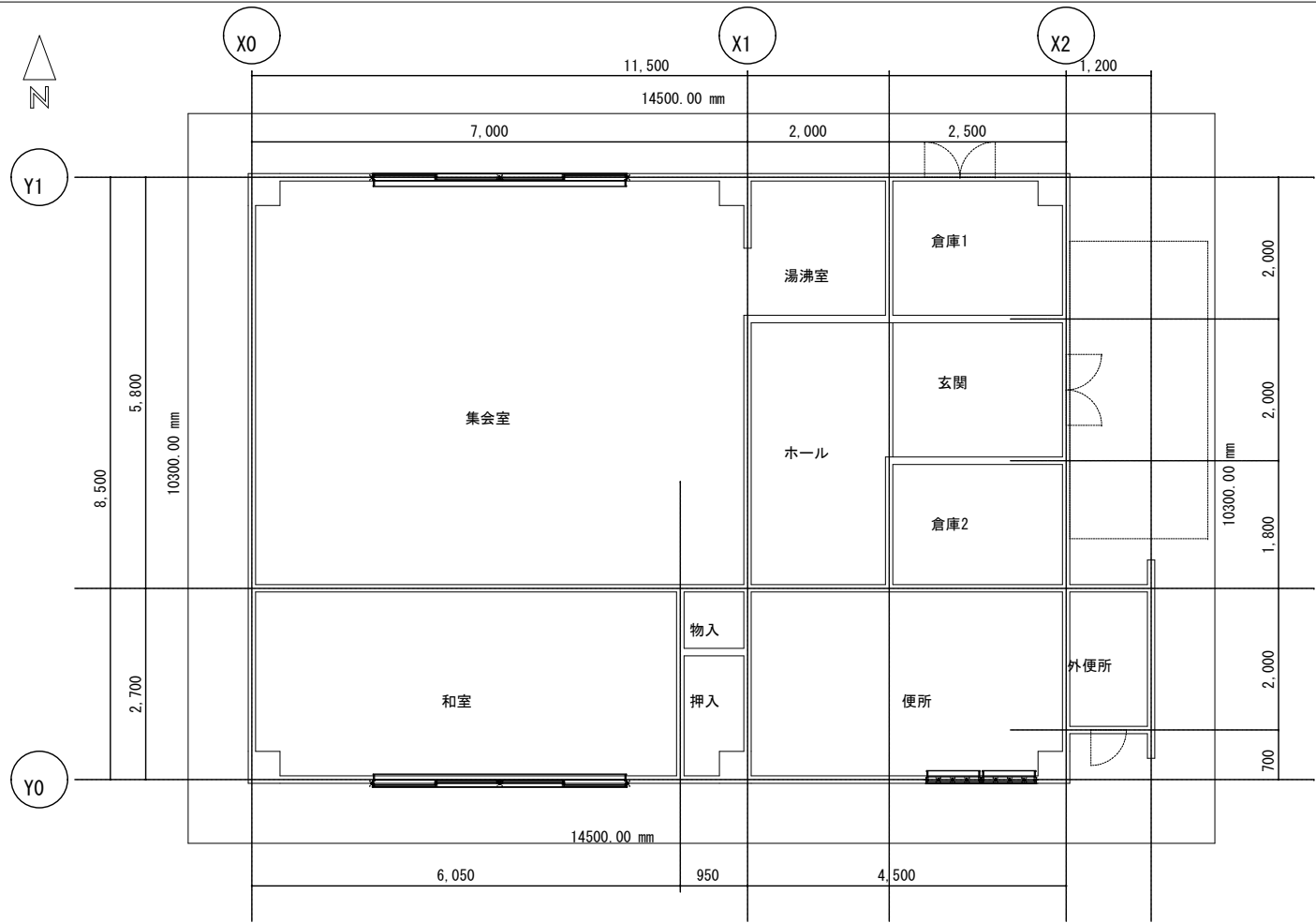
SCALE

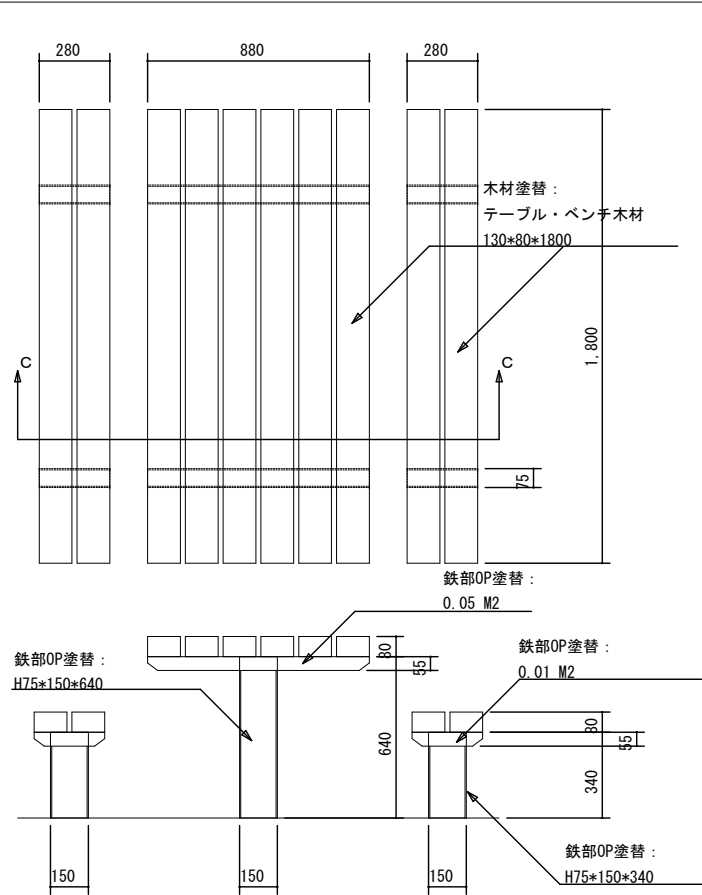
1/200



DW NO.

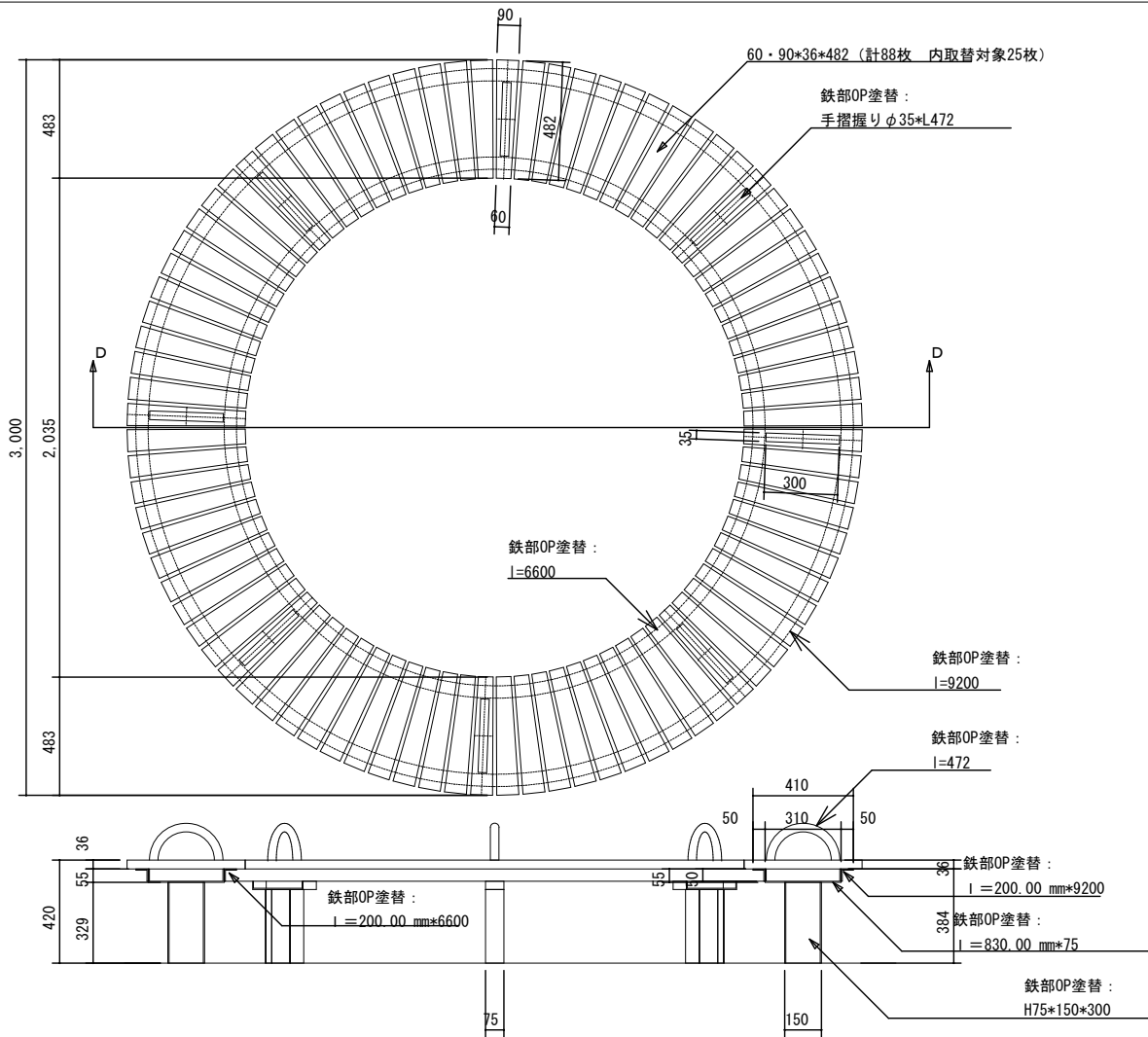
A-22





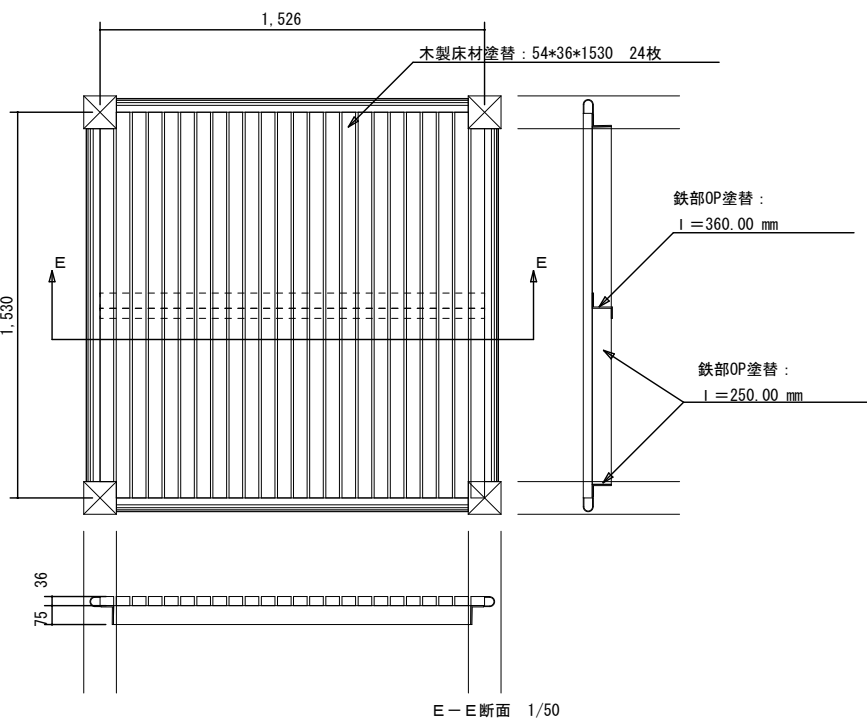
C-C断面 1/50

①木製ベンチ塗装工事 ベンチ\*2+テーブル 1/30



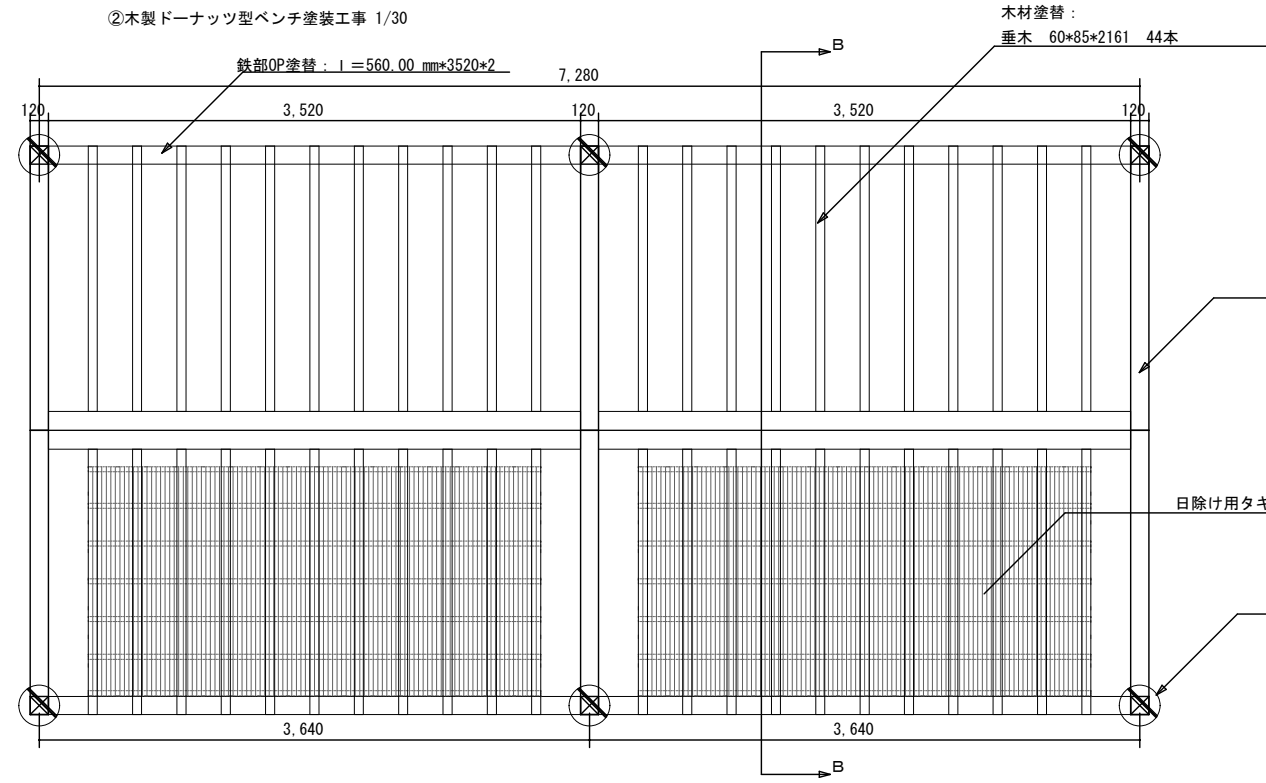
D-D断面 1/50

②木製ドーナツ型ベンチ塗装工事 1/30



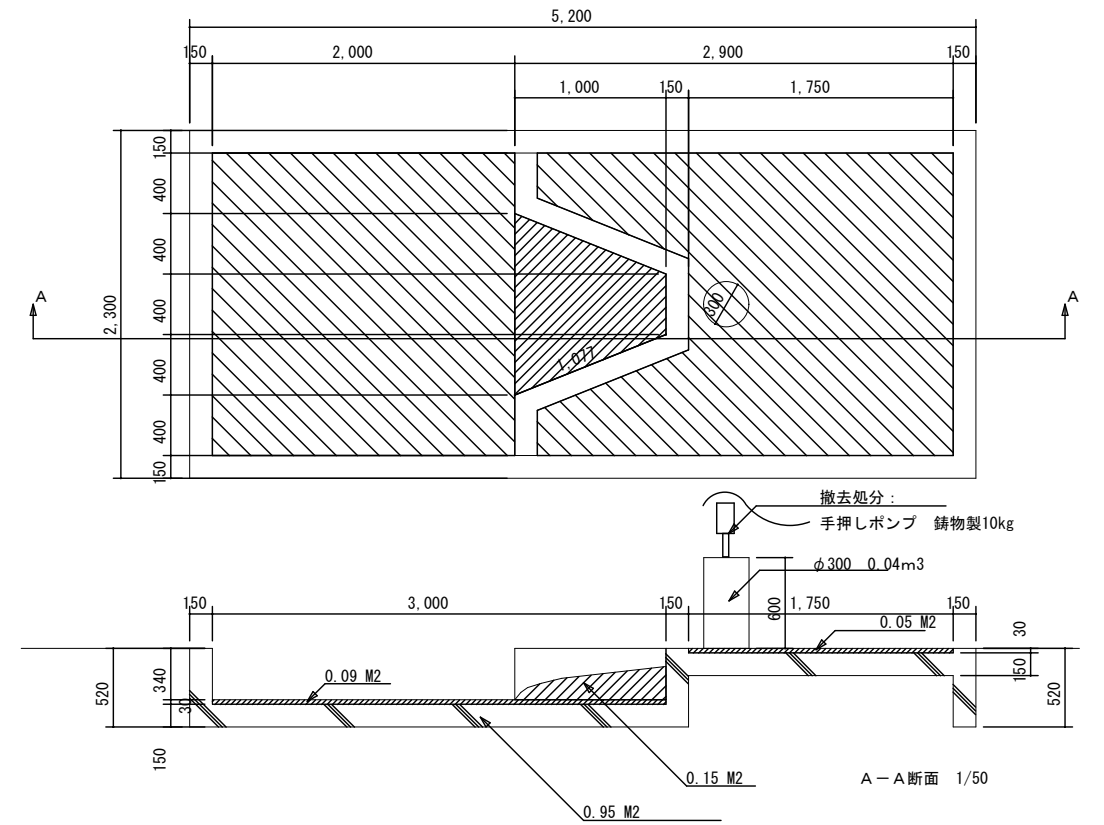
E-E断面 1/50

④スチール製小バーゴラ木製床塗装工事 1/30

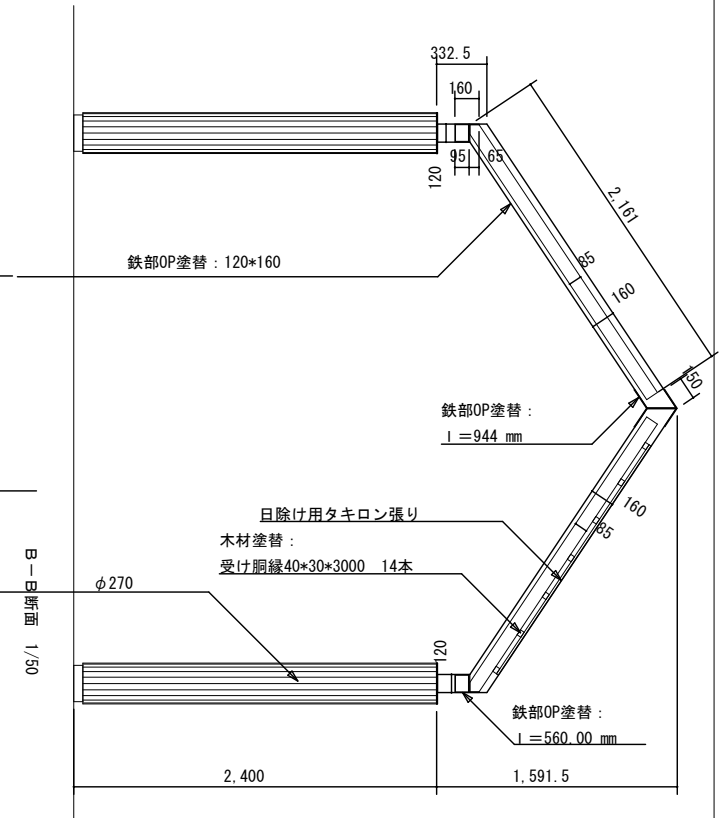


⑤休憩用バーゴラ木部及びRC円柱塗装工事

日除け用波板ポリカ取替共 屋根伏せ図 1/50



③水場解体撤去芝張り工事 1/50



※ I = mmは糸尺の長さ



PR NAME

令和5年度 市営住宅追分団地 C棟・集会所外壁・屋根改修工事



DW NAME

公園内劣化部等改修図



DATA

20221109



SCALE

1/30  
1/50



DW NO.

A-24



# 電 気 設 備 工 事

## I. 工 事 概 要 令和5年度 市営住宅追分団地 C棟・集会所外壁・屋根改修工事

### 1. 工 事 場 所

### 2. 建 物 概 要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
安曇野市営住宅追分団地 C棟	RC造	2			
安曇野市営住宅追分団地 集会所	RC造	1			

### 3. 工 事 種 目 (○印のついたものを適用する。)

工 事 種 目	項 目	建 物 別 及 び 屋 外		
電 灯 設 備		○	-	-
動 力 設 備	幹線、分岐	-	-	-
電 熱 設 備	幹線、分岐	-	-	-
雷 保 護 設 備		-	-	-
受 変 電 設 備		-	-	-
静 止 形 電 源 設 備	直流電源装置	-	-	-
発 電 設 備		-	-	-
構内情報通信網設備	LAN用配管	-	-	-
構 内 交 換 設 備	電話設備	-	-	-
情 報 表 示 設 備	時計設備	-	-	-
映 像 ・ 音 響 設 備		-	-	-
拡 声 設 備		-	-	-
誘 導 支 援 設 備	インターホン・トイレ呼出し設備	-	-	-
テレビ共同受信設備		-	-	-
監 視 カ メ ラ 設 備		-	-	-
駐 車 場 管 制 設 備		-	-	-
防犯・入退室管理設備	予備配管	-	-	-
自 動 火 災 報 知 設 備		-	-	-
自 動 閉 鎖 設 備		-	-	-
非 常 警 報 設 備	非常放送装置	-	-	-
ガ ス 漏 れ 警 報 設 備		-	-	-
中央監視制御設備		-	-	-
構 内 配 電 線 路		-	-	-
構 内 通 信 線 路		-	-	-
昇 降 機 設 備		-	-	-

### 4. 図 面 目 録

番号	図 面 名 称	番号	図 面 名 称
1	別紙図面リスト参照	21	
2		22	
3		23	
4		24	
5		25	
6		26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

## II 工 事 仕 様

### 1. 共 通 仕 様

- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。)、 「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。 )及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(最新版)」(以下、「標準図」という。 )による。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

### 2. 特 記 仕 様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
①機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
②機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。
③化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はフタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
	ホルムアルデヒドの放散量 該 当 す る 建 築 材 料
	規 制 対 象 外
	①JIS及びJASの F☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
	第 三 種
	①JIS及びJASの F☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISの E O規格品 ④旧JASの F O O規格品
4 電気保安技術者	電気事業法に定める自家用電気工作に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
5 電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
⑥実施工程表及び施工計画書	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。
⑦使用材料発注先調書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。
⑧発生材の処理	(1)引渡しを要するもの ○無 ・有 ( ) (2)引渡しを要するもの以外 ○構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物 ・無 ・有 ( ) (4)再利用又は再資源化を図るもの ・無 ・有 (・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類 )
9 監督員事務所	○設けない ・設ける (規模： ) ・備品 ( )
10 工事用仮設物	すべて該負者の負担とする。 構内に作ることが ・できる ・できない ○別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 ・内部仮設足場等 (・架台足場 ・移動式足場 ・移動式室内足場 ・ ) ・外部仮設足場等 (・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ) ・防護シート ( )
12 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は該負者の負担とする。
⑨工 事 写 真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。
⑩しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。
15 再 使 用 機 器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。
⑪耐 震 施 工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2005版(国土交通省国土技術強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量 [ k g f ] に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。

項 目	特 記 事 項																																																											
	設計用標準水平地震度																																																											
	<table><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="2">上層階、</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td rowspan="2">屋上及び塔屋</td><td>水槽類(※1)</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">中 間 階</td><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td rowspan="2">地下・1階</td><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table>	設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	屋上及び塔屋	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	中 間 階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	地下・1階	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			特定の施設		一般の施設																																																						
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																							
上層階、	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																							
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																							
屋上及び塔屋	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0																																																							
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																							
中 間 階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																							
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																							
	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																							
地下・1階	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																							
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																							
	(※1) 水槽類にはオイルタンク等を含む。																																																											
	◎重要機器の定義は次による。																																																											
	・受変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置																																																											
	・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ・																																																											
	◎上層階の定義は次による。																																																											
	2 ～ 6階建の場合は最上層、7 ～ 9階建の場合は上層2階、																																																											
	10 ～ 12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。																																																											
	(2)設計用鉛直地震力																																																											
	設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。																																																											
17 あと施工アンカー	(1)重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)8章の2.8.4及び11節による。																																																											
	(2)上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。																																																											
	(引抜き試験を ・ 実施する ・ 実施しない )																																																											
18 防火区画等の貫通処理	電線等は、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。																																																											
19 電線・ケーブル	(1) EM-EFF は紫外線による劣化を抑制する性能を持たせ、「イグニ」イグニ EM-EFF」と表記されたものを使用する。																																																											
	(2) EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。																																																											
20 予 備 配 管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。																																																											
21 呼 び 線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。																																																											
22 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。																																																											
	・屋 外 ・屋 内 ( )																																																											
23 埋 め 戻 し 土	・種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種																																																											
	・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める																																																											
24 建設発生土の処理	・構外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し																																																											
25 ケーブル埋設票	(1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。																																																											
	・鉄製 ・コンクリート製																																																											
	(2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。																																																											
	(3) 配管理設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上敷設する。																																																											
26 プルボックス	(1) 露出するプルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。																																																											
	(2) 露出するプルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。																																																											
27 フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ・金属製 ・樹脂製																																																											
28 プレートの用途表示	プルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略稱をつける。																																																											
29 配 線 器 具	タンブラスイッチは適用形とする。																																																											
	壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は横式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。																																																											
30 フロアコンセント	・直付(ビス止め)型上下式( ・銅合金製 ・アルミ製) とする																																																											
	・直付(ビス止め)型垂直上下式(銅合金製) とする																																																											
⑪機器への接続	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。																																																											
⑫照度測定	(1) 非常用照明的照度測定は設置後速やかに行い、監督職員に報告する。																																																											
	(2) 学校施設における室内照度測定(測定教室： 箇所、測定黒板前： 箇所)																																																											
	※教室の照度は、1教室当たり机上上面9ヵ所、黒板垂直面9ヵ所で測定する																																																											
33 壁 類	(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。																																																											
	(2) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。																																																											
34 グリーン購入の推進	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目																																																											
	<資材> ・照明制御システム ・変圧器 ・( )																																																											
	<建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器																																																											
35 他工事又は他工種との取り扱い	工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。																																																											
36 その他及び電子納品	保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。 (長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)																																																											

### 3. ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)

- ブロックハンドホール(寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)
- コンクリート相互間などは、エポキシ樹脂接着剤により接着する。
  - ブロックの仕様は国土交通省仕様に至るものとする。

・	ハンドホール No.ー	1,500×1,500×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,740以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1,200×1,200×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,700以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1,000×1,000×1,400D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,600以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1,000×1,000×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,300以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	1,000×1,000×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	900×900×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,260以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.ー	900×900×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既製足場付)
・	ハンドホール No.ー	600×600×680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既製足場付)
・	ハンドホール No.ー	450×450×680D 蓋 WPM-45B (Eマーク入)	※縦裁帯等車両の通行の恐れがない場所。 収容ケーブルが少ない場所に限る

### 4. 接 地 極

下表による。ただし、これによりがない場合は監督員との協議による。

・	A 種 接 地	銅板1,5t×900×900 リード端子付 堀削埋戻し中心深さ2m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設棒(貴銅製又はステンレス製)
・	B 種 接 地	銅板1,5t×600×600 リード端子付 堀削埋戻し中心深さ2m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設棒(貴銅製又はステンレス製)
・	C 種 接 地	銅板1,5t×300×300 リード端子付 堀削埋戻し中心深さ1.5m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設棒(貴銅製又はステンレス製)
・	D 種 接 地	接地棒(10φ×1,500)	リード端子付 打ち込み式埋設棒(貴銅製又はステンレス製)

### 5. 機 器 取 付 高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがない場合には監督員との協議による。

	名 称	測 点	取付高(mm)		名 称	測 点	取付高(mm)
共 通	取 引 用 計 器	地上～上端	2,000	時 計	壁 掛 形 観 時 計	床面～中心	1,500
	引 込 開 閉 器	床面～上端	1,800		子 時 計	(上端1,900以下)	(天井高)×0.9
電 灯	電 線 盤	床面～中心	1,500	表 示	壁掛形スピーカー	"	(天井高)×0.9
	分 電 盤	床面～中心	1,500		アンテナター	"	1,300
	タンブラスイッチ	"	1,300		表 示 盤	床面～中心	(天井高)×0.9
	" (身障者用)	"	1,100		壁 付 発 信 器	"	1,300
	コンセント(一般)	"	300		ベ ル	"	(天井高)×0.9
	" (和室)	"	150		プ ザ ー	"	(天井高)×0.9
	" (便所等)	"	500		押 ボ タ ン	"	1,300
	" (台上)	台上～中心	150		" (身障者用押釦)	"	900
	ブラケット(一般)	床面～中心	2,100		身 障 者 用 表 示 灯	"	2,000
	" (踊廊)	床面～中心	2,500		復 帰 ボ タ ン	"	1,800
動 力	" (縦上)	縦上～中心	150	イ ン タ ー ホ ン	壁付インターホン	床面～中心	1,500
	避難口誘導灯	床面～上端	1,500以上		" (身障者用)	"	1,100
	廊下通路誘導灯	床面～上端	1,000以下		壁付位置誘導灯	(壁付インターホンを除く)	
	壁掛形制御盤	床面～中心	1,500		"	"	
	手 元 開 閉 器	" (一般)	"		300		
	操 作 ス イ ャ ッ	" (和室)	"		150		
	・押ボタン	"	1,300		テ レ ビ 共 同 受 信 機	機 器 取 容 箱	床面～中心
	室内端子盤	床面～下端	300		ア ウ ト レ ッ ト	"	(天井高)×0.9
	(廊下・室内)	" (一般)	"		"	"	300
	中間端子盤	床面～中心	1,500		" (和室)	"	150
電 話	(EPS・電気室)	"	"	火 災 報 知	受 信 機	床面～操作部	800～1,500
	集合保安器箱	"	(天井高)×0.9		副 受 信 機	"	800～1,500
	壁付アウトレットボックス(一般)	"	300		機 器 取 容 箱	床面～中心	800～1,500
	" (和室)	"	150		発 信 器	"	800～1,500
	"	"	"		消 火 栓 表 示 灯	"	(天井高)×0.8

(別表) しゅん工時提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

個 別 提 出 物	一 括 提 出 物
1 完成図 ・ 原図 (A1版 ケース入り) ・ 隣画 (A1 2つ折り製本 1部) ・ マイクロフィルム (アバチュアカード貼付 台紙は黄色) ・ CADデータ	5 機器完成図 6 工事写真 7 完成写真 8 工事記録 (打合せ簿、工事日誌、協議書) 9 機材の試験成績書 10 施工の試験成績書 11 社内試験成績書 12 発生材処理報告書 (廃棄物処理実施書・運搬及び処理の委託契約書の写し・マニフェストの写し、フロー図)
2 設計図 ・ マイクロフィルム (アバチュアカード貼付 台紙は青色)	13 納入品一覧表
3 引渡書 ・ 予備品 ・ ハンドホールフック、ジャッキ	14 官公署手続、検査書(管理者用正本、写し)
4 納入品 ・ 壁類の鍵	15 保全に関する資料(取扱い説明書も含む)

工 事 名	令和5年度 市営住宅追分団地 C棟・集会所外壁・屋根改修工事	図面名称	電気設備工事 特記仕様書	年月日	・ ・	図面番号	E-01
-------	--------------------------------	------	--------------	-----	-----	------	------

i Dシリーズ非常灯 防湿型・防雨型 20形 Dスタイル W150

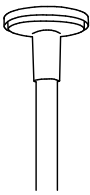
パナソニック 直付XWG201AGNJLE9



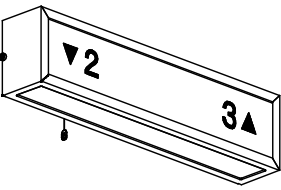
非常灯タイプ、800lm (FL20形VU+00D71灯器具相当)  
常時：非常用ライトバー点灯、非常時：非常灯本体組込LED（一般力型）点灯  
電圧：100～242V対応、蓄電池：ニッケル水素電池  
非常灯評定番号：L A L E - 0 2 0  
非常用LEDレンズ：ガラス、常用ライトバー：ポリカーボネート（乳白）+アクリルコーティング  
光源寿命（階段灯専用ライトバー）40000時間、IP23防湿、点検スイッチ付  
自己充電モニタ（緑）付、リモコン：FSK90910K（別売）

LED街路灯 水銀灯100形相当

パナソニック モールライトXY7571LE9



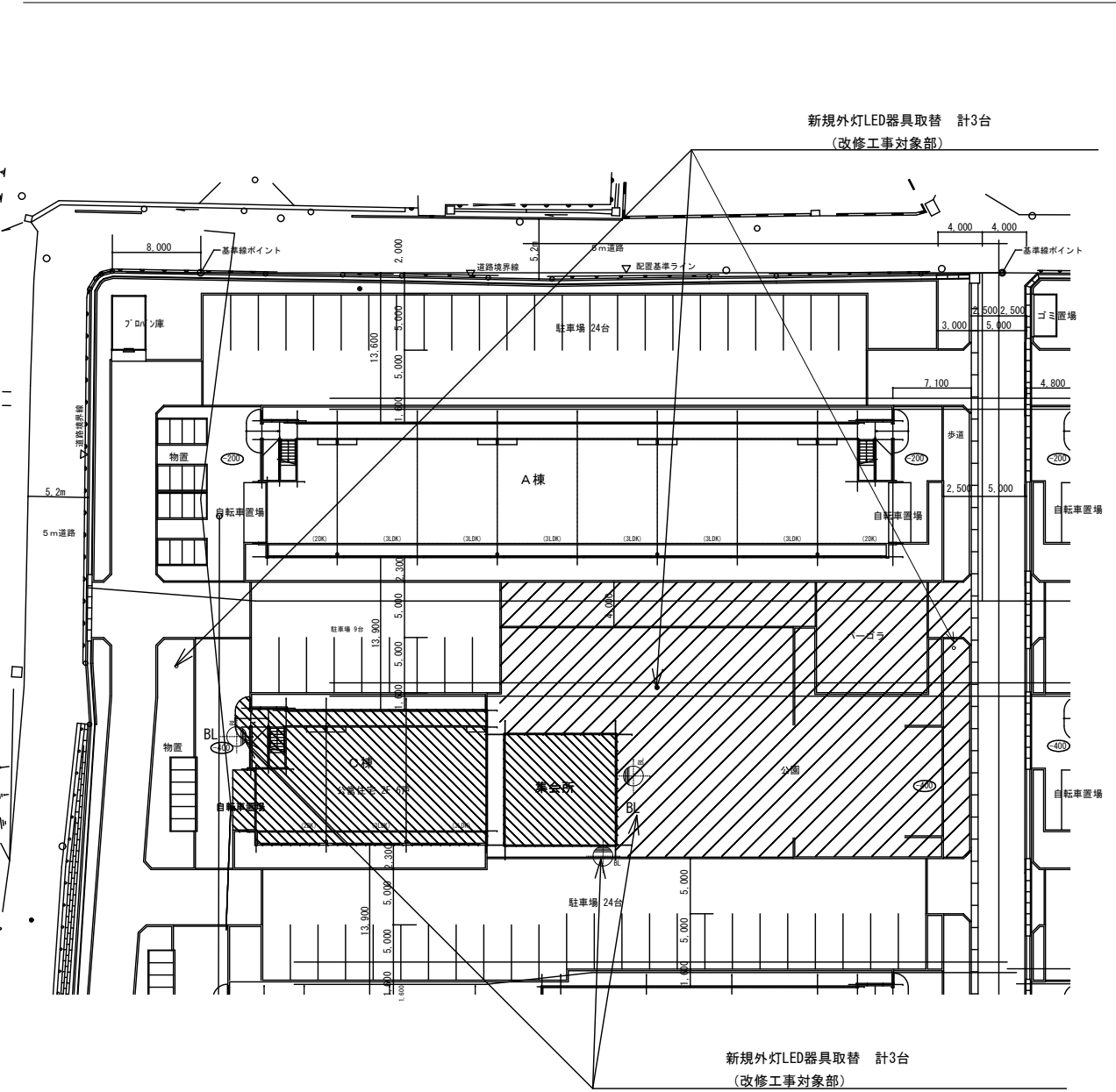
LDL20 階段通路誘導灯BT付 三菱 EL-LF-VH2161



蓄電池内蔵形・階段通路誘導灯 LED光源  
蓄電池内蔵形・階段通路誘導灯 LED光源  
本体：鋼板・白色塗装  
反射板：鋼板・白色塗装  
光束：940lm 消費電力：13.6W 消費効率：69.1lm/W  
耐熱℃：絶縁電線 NI-耐蓄電池

電球色、3000K、Ra85  
器具光束1585lm、消費電力21W、電圧100～242V  
本体：アルミダイカスト（オフブラック）  
天板：鋼板（オフブラック）、グローブ：アクリル  
光源寿命40000時間（光束維持率75%）  
落下防止ワイヤー付、耐雷サージ：15KV  
上方光束比0～5%以下

新規外灯LED器具取替 計3台  
(改修工事対象部)



新規外灯LED器具取替 計3台  
(改修工事対象部)

廊下灯LED非常灯専用型 取替

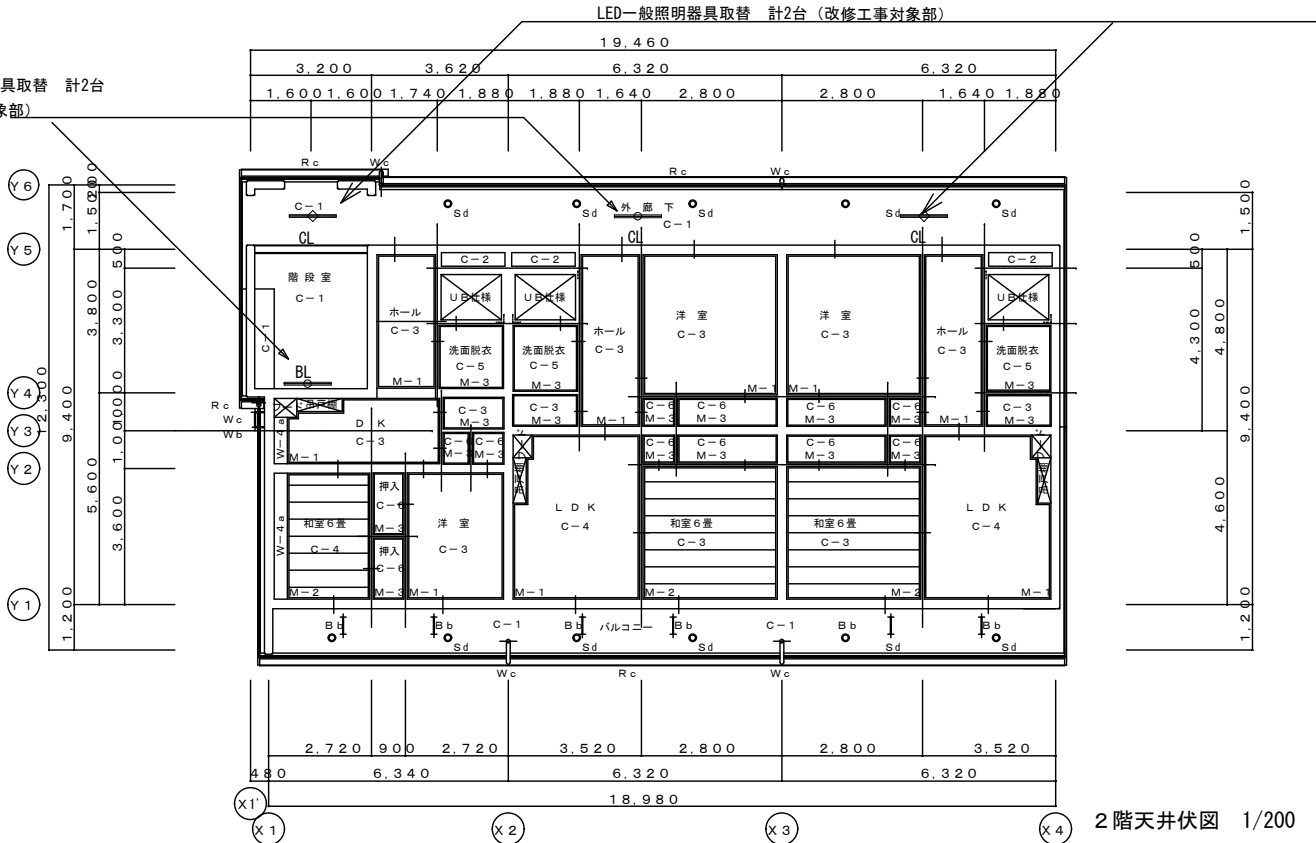
CL 既存外廊下軒天照明→新規LED軒天照明（本体1F・2F外廊下 計2台：XWG201AGNC 同等）

BL 既存階段ブラケット照明→新規LEDブラケット照明（本体階段踊り場 計1台：EL-LF-VH2161+階数表示板 同等）

廊下灯LED器具 取替

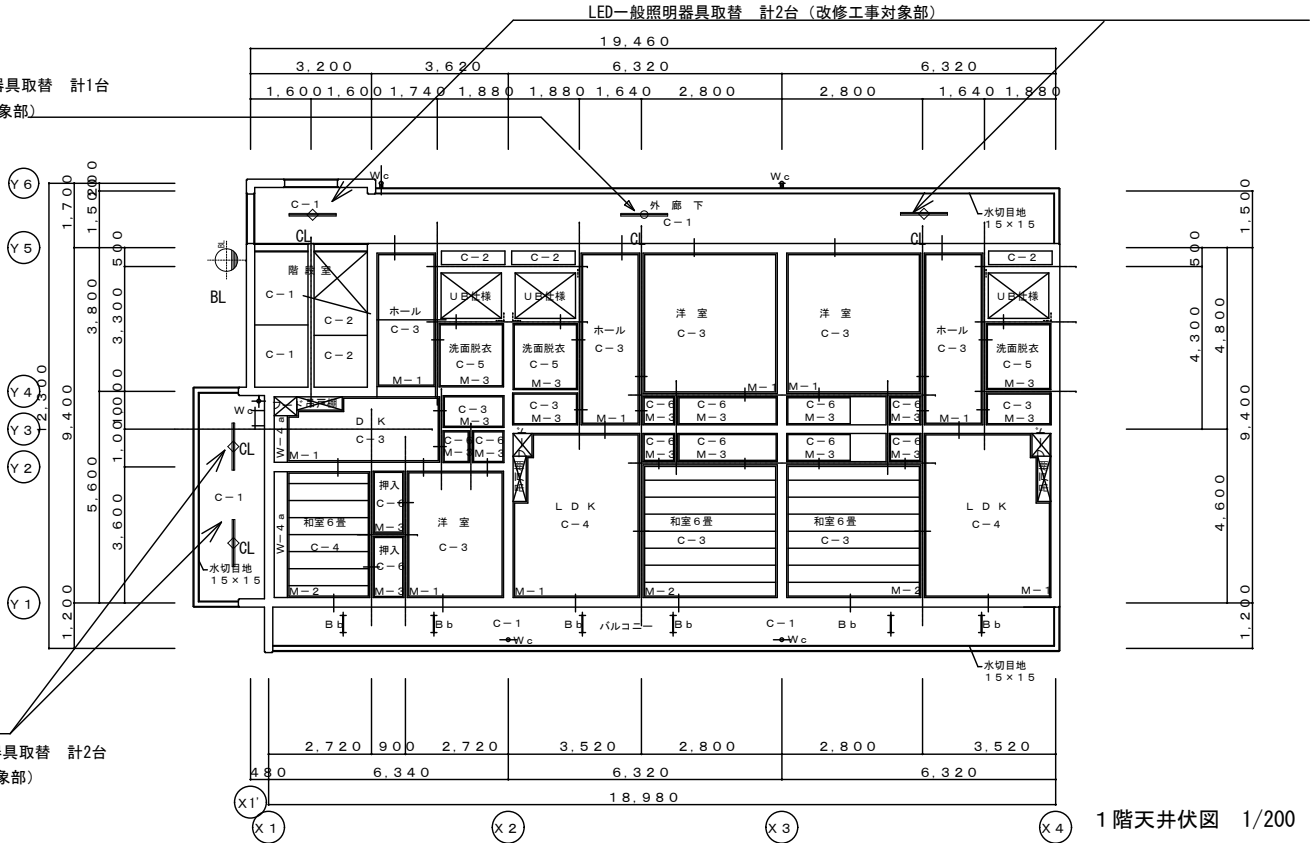
CL 既存外廊下軒天照明→新規LED軒天照明（本体1F・2F外廊下 計4台+自転車置き場 計2台：XLW212AELZ LE9 同等）

LED非常照明器具取替 計2台  
(改修工事対象部)



2階天井伏図 1/200

LED非常照明器具取替 計1台  
(改修工事対象部)



1階天井伏図 1/200

PR NAME 令和5年度 市営住宅追分団地 C棟・集会所外壁・屋根改修工事

DW NAME 電気照明器具取替位置図（改修工事対象部）

DATA SCALE 1/100 DW NO. E-02